

アラントス内閣ニシテ其信任ヲ濫用スルコアルモ之レヲ等閑視シ之
 レヲ措テ顧ミザルコアラントス若クハ内閣ノ虛妄ナル託言ニ欺騙セ
 ラレシトス若クハ正實ニ己レノ任ヲ悉サントカムル人ニ助力ヲ與ヘ
 ザラントス又外交ト内治トニ論ナク利己ナル政略輕浮短慮ナル政略
 近視ナル暗昧ナル邪僻ナル政略等ヲ好遇スルコアラントス又善良ナ
 ル法律ヲ廢止シ若シクハ不良ナル法律ヲ制定シ新弊害ヲ誘入シ若ク
 ハ舊弊害ニ固執スルコアラントス否之レニ止マラズシテ公平無私ノ
 處置ガ一般ノ感情ニ適セサル場合ニハ謬見邪思ノ誤ル處トナリ法律
 ニ反スルノ所爲アルモ之レヲ容忍シ又ハ之レヲ措テ顧ミザルガ如キ
 一恐ラクハ之レアラントス以上述べアル弊害ハ實ニ代表ノ方法其當ヲ
 得ズ代議士會ガ智識ノ適當ナル分量ヲ有セザルヨリ起ル者ナリ
 余ハ進テ次ニ代議士會ニ於テ社會ノ公益ト反對ナル不正ノ利益ヲ計

ルノ所爲勢力ヲ得ルガ爲メニ發生ス可キ諸種ノ弊害ヲ述ベントス
 君主政及ヒ貴族政ニ固有ナル弊害ハ多ク以上ノ原因ニ歸ストハ人ノ
 皆認ムル所ニシテ君主ノ利益及ヒ貴族全軀并ニ其各個ノ利益ハ蓋シ
 社會ノ公益ニ反對シタル所爲ニ由リテ進捗セラル、者ナリ若クハ爾
 カアル可シトハ君主或ハ貴族等ノ思考セル所ナリ一例ヲ擧ゲテ之レ
 ナ日ハソ政府ノ利益ハ重稅ヲ課スルニアルモ社會ノ利益ハ善良ナル
 施政ニ必要ナル費用ヲ欠カザル限リハ成可ク少シク課稅セラルニ
 アルナリ王及ヒ貴族ノ利益トスル所ハ人民ノ上ニ無限ノ權力ヲ有シ
 且ツ之レヲ執行スルニアリ人民ヲ強弁テ全ク主治者ノ意向ニ一致セ
 シムルニアルモ人民ノ利益トスル所ハ政府ノ適當ナル目的ヲ達スル
 ニ相應シタル丈ノ制御ノミヲ受クルニアルナリ王又ハ貴族ノ利益若
 シクハ爾カ思ハル、所ノ者ハ自己ヲ非議スルノ權ヲ許サザルニ在リ

人民ノ利益ハ各官吏及ヒ各種ノ政策ニ就テ非議ス可キ充分ナル自由ヲ有スルニアリ貴族政又ハ貴族王政ノ權力者ノ利益トスル所ハ萬種ノ不正ナル特權ヲ占取シ又ハ人民ヲ害シテ己ノ利ヲ或ハ人民ヲ其足下ニ蹂躪スルニアリ又人民ガ政府ニ不滿ヲ抱クコトアルニ當テヤ政府ノ利トスル所ハ人民ヲシテ智識教育ノ程度低カラシメ人民ノ間ニ紛紜ヲ誘起シ之ニ加フルニ其富有トナルヲ妨グ以テ彼ノ「カー」ヲシルリセリ」ノ有名ナル政經ニ云ヘル「肥大能ク人ヲ蹴ル」ノ禍ナカラシムルニ在リ之レ皆人民ノ反抵ヲ來スノ恐アルコトアラザル以上純粹ニ利己的ノ見解ニ於テ王又ハ貴族ノ利益トスル所ナリ且ツヤ王又ハ貴族ノ權力強大ニシテ社會ノ説ヲ壓スルニ足ル場合ニ於テハ其不正ノ利益ヲ計ルヨリ生ズル弊害以上ニ止マラザルコトアリ而シテカ、ル所行ノカ、ル位置ニ伴ハザランコトハ到底望ム可カラザル者トス

以上ノ弊害ハ君主政又ハ貴族政ノ場合ニ於テハ云フ迄モナク顯著ナル事實ナリ然レモ人或ハ妄リニ假定シテ曰ハク此種ノ弊害ハ民主政ノ場合ニハ存在スルコトナシト然レモ通常世人カ思考セル如ク民主政ヲ以テ多數ノ支配ナリト觀察セシニハ權力ヲ握ル人々ガ黨派的又ハ種族的利害ノ爲メニ制セラル、ト必然在リ得ベキノ事柄ナリトス即チ公平不偏ニ一般ノ利益ヲ計ル時ハ甲ノ政策ヲ取ラザル可ラザルコト當リ却テ乙ノ政畧ヲ取ルガ如キト是レナシト云フヲ得ザルナリ試ミニ人民ノ多數白人種ニシテ少數黑人種ナルカ又ハ多數黑人種ニシテ少數白人ナリト假定セヨ多數ハ果シテ少數ヲ處スルニ公平ヲ以テス可キカ更ニ假定セヨ多數舊教徒ニシテ少數新教徒ナルカ又ハ多數新教徒ニシテ少數舊教徒ナリト而シテ此場合ニテ果シテ前者ト同一ノ患ナキヲ得ベキカ又假定セヨ多數英人ニシテ少數愛人ナルカ又ハ多

數愛人ニシテ少數英人ナリト而シテ此場合ニ於テ果シテ前者ト同一ナル禍ナキヲ得ベキカ其他如何ナル邦國ニアリテモ必ズ多數ノ貧者ト及ビ之レニ對シテ富者ト稱ス可キ少數アリ而シテ此二種族ハ多クノ問題ニ於テ表面上全ク反對ノ利益ヲ有スルナリ今吾人ハ多數黨ガ充分智識アリテ財産ノ安固ヲ危フスルハ自己ノ利益ニアラザルヲ知リ又專斷ノ奪掠ハ財産ノ安固ヲ亂ル者ナルヲモ了知スト假定ス可シ然レモ尙ホ此等ノ多數黨ハ所謂有基財産ナル者及大所得ニ向テ不公平ナル課稅ヲナシ又ハ此等ヲシテ祖稅ノ全額ヲ負擔セシメ之レニ加フルニ一度之ヲ定ムルノ後容赦ナク其課稅額ヲ増加シテ得ル所ノ者ヲ以テ勞力社會ノ利益トナル可キ方法ニ消費スルガ如キ大害ナキヲ得ベキカ其他法律ニ由テ賃銀ヲ引揚ゲント欲スルガ如キ勞力市場ニ競争ヲ制限スルガ如キ機械又ハ其他現在ノ勞力ヲシテ不用ナラ

シムルノ傾向アル万般ノ改良ニ課稅シ又ハ之レニ制限ヲ置クガ如キ及ビ外國ノ産業ニ對シテ内地ノ生産者ヲ保護スルノ策ヲ取ルガ如キ之レ皆ナ政權ヲ握ル所ノ多數ガ勞役者タルノ場合ニ存スル種族的利害ノ感情ヨリ自然發生ス可キ結果ナリトス
 人或ハ曰フ以上述べタル事件ハ何レモ多數社會真正ノ利益ニハアラザルナリト余ハ之ニ答フタルニ若シ人類ノ行爲ニシテ常ニ其真正ノ利益ノミニ由テ決セラレタルナランニハ君主制モ貴族制モ決シテ斯ノ如キ惡政府ニテハアラザリシナルベシト一語ヲ以テセント欲スルナリ夫レ王又ハ在上貴族ニシテ活潑富有明敏高尙ナル人民ノ上ニ公平無偏ノ政治ヲ施クモノハ極メテ幸福ナル地位ヲ占メ實ニ羨望スルニ堪ヘタルモノナルベシト一ハ極テ強固ナル議論ヲ以テ之ヲ證スルヲ得ベク又之ヲ證シタル人モ少カラザルトニアラズヤ然レモ自己

ノ利益ニ關シテ此高尙ナル見解ヲ取リタル君主トテハ只希レニ出ル
 ニ過キズ貴族ニ至テハ斯ノ如キ意見ヲ抱キタルノ例曾テ之アルヲ見
 ザルナリ果シテ然ラバ吾人ハ如何ソ此高尙ナル思想ヲ有セソトテ勞
 力者ニ期スルヲ得ベキ凡ソ人ノ其行爲ヲ決スル所以ノ者ハ實際ノ利
 益ニアラズシテ想像ノ利益ニ在リサレバ王又ハ貴族ハ特別ノ場合ヲ
 除ケバ自己ノ直接皮想ノ利益ヲ棄テ、其真正終局ノ利益ヲ取リタル
 トナキニ獨リ多數黨ノミハ能ク之ヲナスベシト假定スルガ如キ議論
 アラバ其議論ハ此一事ノミニテ十分其誤謬タルヲ知ルヲ得ベキナリ
 抑以上述ベタル有害ナル諸政策及其他ノ弊害アル方法モ下等勞力者
 ノ全躰ニ取り直接利益タルニハ相違ナク而シテ此等ノ諸政策ハ利己ノ
 點ヨリ現存勞力者ノ一生涯ニ就テ之ヲ見レバ全クソノ利益タル場合
 モ或ハ之レアラソ何トナレバ此等政策ノ終局結果タル勤勉及ビ活潑

ノ氣象ヲ乏シクシ又テ貯蓄心ヲ減ズルニ在ルベキモ一生涯ノ年月間
 ニハ下等勞力者ニ影響ヲ與フルト殆ソド之ナキ有様ナレバナリ實ニ
 人事ニ於ケル最モ不幸ナル變革モ或ハ其直接ノ結果ニ關シテハ有益
 ナルヲ見ル彼羅馬帝ガ專制ノ政ヲ立テタルハ其始メ三四十年間ニ就
 テ之ヲ言ヘバ一大利益タリシニ相違ナシ此帝政ハ内亂ヲシテ跡ヲ絶
 タシメ太守及ビ知事等ノ苛政ヲ除キタリ此帝政ハ人生ノ快樂ヲ來ダ
 スベキ諸事ヲ獎勵シ又政治以外ノ智育ヲ發達セシメタリ此時代ニア
 リテハ文學ノ大家輩出シテ以テ其盛世ヲ修飾セリ此等大家タル實ハ
 皆ナ前時期ニ於テ發育養成セラレタル者ナレトモ淺見ナル讀史家ハ之
 ヲ知ラズ只管眩惑シテ其文藝ヲ嘆賞セリ實ニ此時ニ當テハ數代貯蓄
 シ來リタル財富ト數百年自由ノ天地ニ於テ發生シタル氣力ト活潑心
 トハ此奴隸生涯ノ第一時期ヲ利シタルナリ然レモ此政治ノ行ハル、

ヤ從來ノ文明開化ハ知ラズ識ラズノ間ニ消亡シ其終極ニ至テハ嘗テ全世界ヲ征服シ之ヲ其掌裡ニ握リタル大帝國モ全ク武力ヲ失ヒテ蠻族ノ蹂躪占略スル所トナルニ至レルナリ時幸ニシテ耶蘇教ノ來ルアリ新奇ノ激動ヲ與ヘ以テ美術文學ノ泯滅ヲ助ケ人類ヲシテ永劫野蠻ノ地位ニ沈淪セシムルニ至ルナキヲ得タリ

凡ソ一國一民若クハ一己ノ行爲ヲ決スル者ハ其利益ナリト云フト雖モ不偏不黨ノ局外者ガ見テ以テ其人ノ利益トスル事項ハ實際ニ關係アルコト最少キ者ナリ「コルリッ」曰ク人ハ意向ヲ造レモ意向ハ人ヲ造ラズト抑モ人ガ何ヲナシ又何ヲナサザルヲ以テ其利益トナスヤハ其外部ノ境遇ニ由ルヨリモ寧ロ其人ガ如何ナル氣質ノ人ナルヤニ由テ定マル者トス夫レ各人ノ利益ニハ自ラ二種ノ別アリ一ハソノ注意スル所ノ利益ニシテ一ハソノ注意セザル所ノ利益ナリ例之バ各人ニハ

利己的ノ利益ト然ラザル利益トアリ而シテ利己的ノ人ハ私利ニ注意シ然ラザルモノヲ顧ミザルノ習慣ヲ養成スル者ナリ各人ニハ自ラ目前ノ利益ト遠遠ノ利益トアリ而シテ先見ナキ人ハ目前ノ利益ヲ注意スレモ遠遠ノ利益ハ全ク其注意セザル所ナリ今正當ニ考察ヲナスハ遠遠ノ利益ハ他ニ比シテ一層重要ノ者ナリトスルモ若シ其人ノ心狀ニシテ其思想ト希望トヲシテ全ク他ニ轉ゼシムルガ如クナラソカ以上ノ事實ハ殆ンド毫末ノ影響モ之レナキナリ妻ヲ鞭チ兒ヲ虐待スルガ如キノ人ニ向ヒ汝若シ汝ノ妻兒ヲ愛遇セバ定メテ一層幸福ナラント勸ムルモ必ラズ無益ノ舉ナルベシ此人ニシテ若シ之ヲナスヲ得ル人物ナラバ固ヨリ一層幸福ナルベシト雖モ彼レハ實ニ然ラズ焉ゾ能ク之ヲ樂ムヲ得ンヤ彼ヨリ之ヲ見レバ妻子虐遇ノ欲望ヲ達シ其猛惡ナル氣質ヲ擅ニスルノ愉快タル却テ妻子ノ快樂愛情ニ起因スル愉

快ヨリ大ナルナリ、サレバ一家和合ノ樂ヲ受クルノ隣人ハ彼レヨリモ一層幸福ナルベシト雖モ彼レニ向テ之ヲ説クモ徒ラニ其惡意ヲ強クシ其發怒心ヲ甚フスルニ過ギザルベシ其他他人ヲ思ヒ其國ヲ思ヒ又ハ人類一般ノ幸福ヲ思フノ人ハ然ラザルノ人ニ比シテ概シテ一層幸福ナルモノナリ然レモ自己ノ安逸ト其財貨トヲ思フノ外一念ナキノ人ニ對シ此道理ヲ説クモ果シテ如何ナル益アラザヤ彼レハ他人ヲ思ハント欲スルモ之ヲ爲ス能ハザルナリ故ニ曰ク是レ猶地上ニ匍匐スル彼ノ蠢々タル昆蟲ニ向テ汝若シ鷲鳥ヲラバ一層快樂ナラント説クニ異ナラスト

サテ前述シタル二個ノ惡情乃チ私利ヲ重シテ公益ヲ顧ミザルヲ及ヒ永遠間接ノ利益ヲ棄テ、直接ノ利益ヲ求ムルノ情タル權力ノ所有ニ於テ特ニ發達養成ニ至ルモノナルヲハ世人ノ一般ニ認ムル事實ナリ

一個人又ハ一種族が自己ノ手中ニ權力ヲ握ルニ於テヤ之レト同時ニ此等人士ノ眼中一層一人若クハ一族人ノ利益ヲ思フヲ深キニ至ルモノナリ他人が自己ヲ崇拜スルヲ見ルヤ自己亦自己ヲ崇拜シ自己ヲ以テ他人ニ百倍セル價值ヲ有スト思フニ至ルモノナリ而シテ之レト同時ニ彼等ハ結果ノ如何ニ拘ハラズ容易ニ自己ノ欲スル事柄ヲナスヲ得ルヲ以テ知ラズ識ラズ將來ノ利害ヲ講究スルノ習慣ヲ減ズルニ至ルモノナリ權力ハ人ヲシテ腐敗セシムトハ一般ノ經驗ニ基ツケル一般ノ傳説ナルガ之レ即チ以上ノ事ヲ意味セルナリ、サレバ一私人タル時ノ行爲ヲ見テ王位ニ登リ專制權ヲ握ルルニモ之レト同一ノ行爲ヲナスベシト推考スルモノアラバ人其愚ヲ笑ハントス專制君主ノ場合ニ於テヤ君主ノ邪念ハ一身ノ情況ト四邊ノ臣民トニ依リ制限ヲ蒙ルルヲナク却テ慫慂ニ遇ハントス此事タル平民又ハ其他ノモノガ主權

者トナレル場合ニ於テモ異ルヲナク彼等ハ一層強大ナル權力ヲ其頭上ニ戴ケル間ハ謙讓シテ道理ニ從フベキモ自ラ最強權ヲ占ムルノ場合ニハ全ク其趣キヲ變ズベキヲ疑ヒテ容レズ

凡ソ政府ナルモノハ人類ノ現情若クハ人類ガ少時ニシテ達シ得ベキ文明ノ程度ニ適セザルベカラズカ、ル文明ノ程度ニ於テ人民ノ思想唯ダ私利ニ傾クモノトセバ其行爲タル大抵一目瞭然タル利益ト其現在ノ情況ニ影響スル利益ニ依リテ左右セラントス人類ノ一昧ヲシテ遼遠不分明ナル利益ヲ思ハシムルニ至ル者ハ只他人ニ對スル不偏ナル意思殊ニ後世子孫ヲ思フノ念邦家ヲ思ヒ人類一般ヲ思フノ念アルニ依ルノミ其同感ノ情ヨリ起ルモ又ハ良心ニ感ズル所アリテ然ルニモセヨ故ニ一個ノ條件トシテ此等高尙ナル意見ガ普通人類ノ行爲ヲ指揮スルノ意向ヲラントテ要スルガ如キ政體ハ決シテ正當ナル者

ト云フヲ得ザルナリ勿論代議政體ヲ行フニ適シタル社會ノ公民ニハ不偏不黨ナル公共心モ幾分カ存在スベシト期スルヲ得ルモ其存在スルヲ多分ニシテ且充分ナル智能辨別力ノ之ニ伴フアリ以テ能ク種族的ノ利害ヲ以テ一般ノ利益ニ適スル公平ナル方策トスルノ謬見ヲ脱スルヲ得ベシトスルハ實ニ笑フニ堪ヘタル意見ト云フベシ知ラズヤ社會ノ利益ナリトテ提出セラレタル不正ノ行爲ニ向ツテ之ヲ辨護スル爲メ幾多詭論ノ主張セラレ、アルヲ又知ラズヤ平生愚ナラズ又邪惡ナラザル名士ニシテ國債ヲ廢棄スルヲ以テ公道ニ背カストスルモノ少カラザルコト更ニ見ヨ充分ノ才識ヲ有シ又大ナル政治上ノ勢力ヲ有スル人々ニシテ有基財産即チ貯蓄ノ結果ヲシテ全ク租稅ノ重荷ヲ負擔セシメ常ニ其所得ヲ浪費シ盡シタル徒輩ニハ其行爲誠ニ他ノ模範タルニ足レリトテ之ヲ賞スル爲メ租稅免除ノ特權ヲ與フル

「誠ニ公平ノ至リナリト思考スル者甚ダ多キヲ又タ見ズヤ彼ノ各科ノ學藝ノ如キモ無智無識ノ徒ヲシテ満足セシメンガ爲メ之レガ無用ナルヲ證セント欲セバ容易ニ之ヲナシ得ルヲテ、全ク愚ナラズ全ク鈍ナラザル人ニシテ科學的ニ言語ヲ研究スルヲ以テ無用ナリトシ古代文學ヲ以テ無用ナリトシ博覽洽聞ハ無益ナリ論理學哲學モ無用ナリ詩歌美術ハ取ルニ足ラズ經濟學ハ有害ナルノミト思考セル者多キニアラズヤ彼ノ歴史ノ如キモ有爲ノ士之ヲ以テ無用ナリ有害ナリト揚言シタリ、サレバ人類ノ生存ニ必要ナル物品又ハ人類ノ五感ヲ喜バシムル物質ヲ生産スルニ直接ノ効要アル外界事物ノ經驗的智識ヲ除キ其他ノモノ、如キハ若シ人民ヲシテ之ヲ排斥セシムベキ多少ノ煽動アルニ於テハ其利益忽チ人ノ無視スル所トナラントス以上述べ來リタル所ヨリ之ヲ見レバ多數ノ人民ニ比シテ一層智識アル人士ト

雖モ自己ノ皮想的利益ニ反スルモノヲ精密ニ感得シ且ツ正當ニ之ヲ料知シ以テ其權力ヲ得タル場合ニ發生シ來ルベキ無數ノ謬見ヲ排斥スルヲ得ベシト思考スルハ決シテ其當ヲ得タルモノト曰フヲ得ザルナリ

此故ニ民主政體ノ一大危難ハ猶他ノ政體ノ危難ノ如ク權力ヲ有スル人々ガ私利ヲ計ルニ在リ即チ種族的立法ノ危難ナリ換言スレバ全體ノ人民ニ永遠ノ損害ヲ及スニモ拘ラズ有力種族ノ直接ノ利益ヲ計ル政治ノ危難ナリ而シテ代議政體ノ最良ナル組織ヲ決スルニ當リ考察ヲ要スル一大問題ハ實ニ如何ニシテ此弊害ニ對シ有効ナル防障ヲ設クルヲ得ベキカノ一事ニゾアル

今政治上所謂一種族ナル語ヲ以テ同一ノ不良ナル利益ヲ有スル一體ノ人々乃チ同一種類ノ惡處置ヲ以テ其直接皮想的ノ利益ナリトスル

代議政體

人々ノ集合ナリトスルキハ希圖スベキ目的ハ如何ナル種族ニモ政府ニ於テ獨リ偏重ノ勢力ヲ振フヲ得セシメザルニアルナリ近時ノ社會中人種言語又ハナシヨナリテ異ニスル者雜居シテ互ニ相容レザル場合ハ暫ク置キ然ラザル場合ニハ其社會ハ大體ニ於テ二大部ニ分ル、モノト考察スルヲ得ベシ此二部ノ人々タル各相異ナル二種ノ利害ヲ有スル者ニシテ吾人ハ今簡單ナル語ヲ用非テ一方ヲ勞力者ト呼ビ他ヲ雇主ト呼バン但シ此雇主中ニハ既ニ退隱シタル資本家及相續財產ノ所有者ヲ含ムノミナラズ又高キ俸給ヲ受クル勞役者例ハ醫師者代言人等ノ如キモノヲ包括スルナリ其故ハ此等ノ人々ハ其教育及其生活ノ點ニ於テ自ラ富者ト合同スルニ至リ又其希望スル所モ富者ノ仲間ニ入ラントスルニアレバナリ又勞力者ノ方ニハ小雇主ノ多數ヲモ含ムモノトス是レ其利害慣習及教育ヨリ自ラ勞役者ト同一ナル

代議政體ノ弱處ト危害

希望嗜好及目的ヲ有スレバナリ斯ク組成セラレタル社會ノ有様ニアリテ理想上完全ナル代議ノ組織ハ必ズ左ノ如クナラザルベカラズ乃チ一方ニハ勞力者及ビ其仲間アリ他方ニハ雇主及其仲間アリテ而シテ此二種族ハ代議制度ノ組織ニ於テ其勢力相平均シ各々國會ニ於テ殆ンド同一ノ投票數ヲ有セザルベカラズサテ此ノ如クナレバ此等二黨派ノ間議論ノ相違アル場合アルニ當リ各種族ノ多數ハ重モニ其種族的利益ヲ主張スト假定スルモ猶兩種族中孰レニモ道理正義及公益ヲ重ンズルヲ私利ニ優ル所ノ少數人士アルベキニ依リ此少數人士ハ自黨ノ多數ニシテ不正ナル要求ヲ主張スル際他ノ黨派ト合夥シテ之ヲ破ラントスサレバ組織零ボ宜シキヲ得タル社會ニアリテ公利公道ガ大概遂ニ其目的ヲ達スルヲ得ル所以ノモノハ實ニ人類ノ私利トスル所大概常ニ二派ニ分ル、ニ由ル即チ不正ナル所行ヲ悦ブ人々モ

アリ又善良ナル所行ヲ樂ム人々モアリテ而シテ其高尙ナル思想ヲ有セル人々ハ極メテ少數ニシテ自力甚ダ薄弱ナレハ充分討議ヲ盡クシテ爭論辨難ノ后ニハ大ニ勢力ヲ得テ己レト議論ヲ同フスル人々ヲシテ全勝ヲ得セシムルニ足ルモノナリ代議政體ノ組織ヤ斯ル状態ヲ維持スルニ適セルモノナラサルベカラズ何レノ黨派の利害モ之ヲシテ眞理正義ト他ノ黨派の利害ノ結合トニ打テ勝ツヲ得ル程ニ強盛ナラシムベカラズ蓋シ其組織タル常ニ一身上ノ利益ヲシテ其勢ヒ相均シカラシメ彼ノ高尙ナル意志ヲ有シ廣遠ナル利害ニ依テ事ヲ行フノ人々ヲ味方ニ引入ンサレバ到底成功シ難シト思ハシムルモノナルヲ要スルナリ

第七章 眞僞ノ民主政體ヲ論シ全體代表ト多數代表トヲ説ク
代議政體ノ弊害ニ二種アルコトハ既ニ之ヲ論シタリ乃チ其一ハ代議士會ト代議士會ヲ箝制スベキ公議輿論トニ存スル智識ノ程度低劣ナルコトニシテ其二ハ議會ノ多數同一階級ノ人々ニシテ其階級ノ利害ニ由テ立法ヲ左右スルコト是レナリ今ヤ吾人ハ進テ此等ノ二大弊害ヲ除去シ又ハ少クトモ人力ノ能フ丈ク之ヲ減却スルコトハ民主政體固有ノ利益ヲ害セズシテ如何ナル點マデ爲シ得ベキヤヲ考察セントス
通例世人ガ此目的ヲ達セントスルニハ多少制限アル撰擧法ニ依テ代表ニ關スル民主的性質ヲ界限スルノ手段ヲ取レリ然レモ之レニ就テハ先ツ思慮ヲ要スル一事アリテ苟クモ能ク此事ニ注意スルニ於テハ斯ル制限ヲ必要トスルニ至ル所ノ事情ニ變化ヲ生スルアラントス
凡ソ一階級ノ人々多數ヲ爲セル邦國ニ於テヤ全然平等ナル民主政體

モ固ヨリ或ル弊害ヲ免ル、一能ハサルモノナレモ今日存在セル諸民
 主政體ノ如キ平等ヲ失シ却テ常ニ不公平ニシテ勢力強キ階級ノ利益
 ナ爲スノ狀アルヲ以テ此等ノ弊害ヤ益大ナルニ至ル元來民主政體ナル
 名稱ノ下ニハ大差アル思念ノ相混スルヲ常トス乃チ民主政體ノ純正
 ナル定義ハ同様ニ代表セラレタル全國人民ノ政府ナリト雖モ今日世
 人ノ普通ニ思考スル處ハ國民ノ多數ノミ獨リ代表セラレタル政府ニ
 シテ從來各國ニ實行セラル、民主政體ナルモノ亦之レニ外ナラズ而
 シテ前者ハ即チ是レ全國人民ノ平等ニ相違ナキモ後者ニ至リテハ全
 國人民ノ平等ニ非ラズ只實際國務ニ關シテ發言ノ權ヲ有スル多數人
 民ノミノ利益トナル處ノ偏頗政體タルニ過ギズ之レ實ニ今日ノ投票
 制度ノ如ク全ク少數人民ノ撰擧權ヲ剝奪スルモノ、免ルベカラサル
 ノ結果タリ

此點ニ關シテハ思想ノ混雜モ亦大ナリト雖モ之ヲ明白ニスルハ甚ダ
 容易ノ事ニシテ通常人ヲシテ此事柄ノ真相ヲ理解セシムルニハ最モ
 簡單ナル説明ニテ足レルナラント思フモノアルベシ但シ習慣ノ勢力
 ナルモノナカリセバ或ハ爾カアルベシト雖モ只之レアルガ爲メニ極
 メテ單純ナル思想モ新奇ナル者ナラシムルハ人ノ胸中ニ入り難キヲ敢
 テ他ノ一層錯雜セル思想ニ讓ラザルモノトスサテ少數ハ多數ニ服セ
 サル可ラズトハ世人ノ從來慣熟シタル思想ナレバ更ラニ一層ノ考慮
 ナ煩ハスノ必要ナシト思ヒ少數ヲシテ多數ト同一ノ權力ヲ有セシム
 ルコト全ク少數ノ權力ヲ減シ去ルコトノ間自ラ中庸ノ方法アルコト
 如キハ曾テ世人ノ考ヘ到ラサル處ナリトス夫レ實際討議辨論スル一
 ノ代議士會ニアツテハ少數ハ固ヨリ多數ノ壓スル所トナラザルヲ得
 ズ而シテ平等ナル民主政ニ在テ人民ノ多數ハ其代議士ニヨリテ少數

黨及其代議士ヲ壓倒スベシ(選舉者自己ノ意見ニ固執スル場合ニハ其
 意向ハ必ラズ代議士會ノ意見ヲ決ス可レバナリ)然リト雖モ之ガ爲メ
 少數ハ全ク一人ノ代議士ヲモ有セシテ可ナリトノ理アルベキカ換
 言スレバ多數ハ少數ニ勝ツベキヲ以テ多數ハ獨リ悉ク投票ヲ有スベ
 シ少數黨ハ一票ヲモ有ス可ラズトノ道理アルカ少數ノ意見ハ之ヲ吐
 露セシム可ラズトノ必要アルカ嗚呼習慣ト舊來ノ因襲トニ依ルニ非
 ノバ何物カ能ク道理ヲ知り智能ヲ有スル人類ヲシテ此等ノ不正ニ首
 肯セシムルヲ得ンヤ真正ニ平等ナル民主政ニアツテハ各黨派ハ皆同
 一ノ比例ヲ以テ代表セラレトス即チ多數ノ選舉者ハ常ニ多數ノ代
 議士ヲ有シ又少數ノ選舉者ハ常ニ少數ノ代議士ヲ有セントス人員比
 例ノ上ニテ少數黨ノ代議士ヲ出ス亦多數黨ト等シカラントス苟ク
 モ然ラザランカ是レ平等ナル政府ニハ非ルナリ只不平等ト特權トノ

政府ニシテ一部ノ人民他ヲ制御スル者ナラン耳換言スレバ幾多ノ人
 民ハ代表制度ニ於テ其當ニ有スベキ勢力ヲ有スル能ハサルナリ是レ
 豈ニ公平ナル政治ニ反セル者ニ非ズヤ殊ニ平等ヲ基礎トスト云ヘル
 民主政ノ原則ニ反セル者ニ非ズヤ然リ而シテ此方法ノ不正ニシテ且
 ツ民主政ノ原則ニ悖戾スルコトハ之ガ害ヲ受クル者少數黨ニ止ルトノ
 理由ヲ以テ重大ナラズト云フヲ得ズ何トナレバ社會ノ一人ガ他ノ一
 人ト同一ノ權利ヲ有スル能ハサル場合ニハ選舉權平等ナリト云フヲ
 得サレバナリ且ツ實際ニ於テハ其弊害ヲ蒙ルモノ皆ニ少數黨ノミ
 ニ止ラズ即チ斯ル組織ノ民主政ハ常ニ政府ノ權力ヲ多數黨ニ與フル
 コトナル其皮相的ノ目的ヲモ達スルコト能ハズ結果大ニ之レト異ナリテ
 此政體ハ多數黨中ノ多數ニ全權ヲ與フベク而シテ此多數中ノ多數ナ
 ルモノハ蓋シ全體中ノ少數ニ過キサルベク又往々然リトス凡ソ萬般

ノ原則ノ眞偽ヲ知ラント欲セバ極端ノ場合ニ就テ驗スルヲ最有効ナ
 リトス今夫レ平等ナル普通選舉ノ行ハル、一國ニ於テ各選舉區ニ撰
 舉ノ競争アリ其結局皆小多數ニヨリテ決セラレタリトセシ此ノ如クシ
 テ成立シタル國會ハ人民ノ小多數ヲ代表スルニ過キサルベク而シテ
 此國會ハ又其小多數ヲ以テ立法ヲナシ重要ナル議案ヲ採否スルナリ
 果シテ然ラバ此等ノ議案ハ能ク人民多數ノ希望ニ一致スルヲ保スベ
 キカ見ヨ殆メド半數ノ選舉者ハ選舉場ニ於テ失敗シタルヲ以テ此決
 議ニ就テハ毫末ノ勢力ヲモ有セサルニ非ズヤ而シテ彼等ハ此等議案
 ヲ通過シタル議員ニ反對シテ其投票ヲ爲シタル者ナレバ其人々ハ悉
 ク皆此議案ニ反對ナルヤモ知ル可ラズ假令然ラサルモ其多數ハ思フ
 ニ必ラズ反對ナルベク又々殘餘ノ選舉者中ニテモ其殆メド半數ハ又
 此議案ニ反對シタル議員ヲ撰ミタルナリ夫レ然リ故ニ此等ノ決議ヲ

ル其國ノ制度ニヨリ上位ヲ得ルニ至レル一種族中ニ就テ之ヲ見レバ
 其多數ノ意ニ適スベキモ國民全體ニ關シテハ只其少數ノ意向ニノミ
 適スル者ニ過キサルコト或ハ之レアラントス是ヲ以テ若シ民主政ノ主
 意ニシテ果シテ多數ヲシテ主權ヲ有セシムルニ在リトセバ之ヲ確然
 ナラシムルノ方法唯ダ各個人ヲシテ等シク同一ノ勢力ヲ有セシムル
 ニ在ルベク如何ナル少數ニテモ故意ニ又ハ制度ノ作用ニヨリテ知ラ
 ズ識ラズ其權利ヲ奪ハル、コトアラントスハ其結果タル權力ヲ人民ノ多
 數ニ與ヘズシテ却テ之ヲ一ノ少數黨ニ與フルニ至ルモノナリ
 以上ノ議論ニ對シテ反對者ノ爲スベキ答辨ハ唯ダ之ノミ曰ク地方異
 ルニ從ヒ勢力アル意見各相異ルヲ以テ或ル場所ニ於テ少數ナル意見
 モ他ノ地方ニ於テハ却テ多數ヲ有スベク結局全體ニ於テハ諸選舉區
 ニ存在スル各種ノ意見何レモ其勢力ニ相應セル發言權ヲ代議院ニ有

スベシト此事ヤ撰舉區ノ現狀ニ照シテ之ヲ云ヘバ略眞正ナリト云フ
 ヲ得ベク果シテ然ラザラソニハ議院ト國中一般ノ感情トノ不調和ハ
 目前ニ現ハルベキ筈ナリトス然リト雖モ若シ現在ノ撰舉區域ニシテ
 一層擴張セラレタラソニハ其議論ハ最早眞正ナラサルニ至ルベシ况
 ソヤ撰舉者ト一般人民ト同一物ナルニ至ラバ尙更ノ事ナリトス試ミ
 ニ其理由ヲ述ノ即チ其場合ニ於テハ何レノ撰舉區ニアツテモ多數ヲ
 占ムル者ハ必ラズ勞力者ナルベク而シテ若シ勞力者ト他ノ諸種族ト
 ガ利害ヲ異ニスル問題ノ起リ居ランニハ勞力者ノミ代表セラレテ其
 他ノ種族ハ何レノ地方ニ於テモ代表セラレ、トヲ得サルベシ夫レ代
 表者ヲ得ント希望熱中スル夥多ノ撰舉者ガ代議院ニ自己ノ投票シタ
 ル代議士ヲ有スル能ハズト云フノ大害ハ今日ニテモ存在スルニ非ズ
 ヤ高等ナル教育ヲ受ケ且ツ公共心ニ富メル名士ノ多數ガ現住スル諸

撰舉區即チ大都府ノ撰舉區ノ如キ今日ト雖モ全ク代表セラレザルカ
 又ハ充分善ク代表セラレ、トナキ部分實ニ小ナラズ即チ黨派問題
 ニ關シテ地方ノ多數ト異レル意見ヲ有スル撰舉者ハ全ク代表セラレ
 、トナシ否之レト同意見ヲ有スル人々ト雖モ其多數ハ思ヒ通り代表セ
 ラレ、ト能ハスシテ自己ノ政黨中最モ多數ノ贊成者ヲ有スル人物ナ
 レバ假令其人ノ意見ハ他ノ點ニ於テハ自己ノ説ト異ルトモソノ人物
 ヲ甘受シテ之レニ満足セザルヲ得ザルナリ去レバ斯クノ如キ有様ハ
 小數黨ガ毫末モ投票權ヲ有セザル場合ヨリモ幾多ノ點ニ於テ一層不
 都合ナリト云ハサルベカラズ蓋シ少數黨ニシテ投票權ナカラソカ少
 クトモ多數黨ハ其眞面目ヲ代表スル好人物ヲ以テ議員ヲラシムルコ
 アルベキモ今ヤ反對黨ノ闖入ヲ恐ル、ヲ以テ其黨論ヲ分裂セシメサ
 ルノ必要アルニ由リ多數黨員ハ自然始メテ身ヲ政海ニ出シタル人ニ

アラサレバ則チ各地方ニ於ケル自黨ノ先輩ガ推薦シタル人々ヲ投票スルニ至ル而シテ此等ノ先輩ハ假リニ一身上ノ利益ノ爲ニ其選擇ヲ任クルガ如キ偏頗ノ處置ヲナサズトスルモ彼等ハ自黨ノ全力ヲ結合セシガ爲メ黨員中何人ニモ手強ク排撃セラレザル如キ候補者ヲ提出セサル能ハズ即チ卓拔他ニ異ナルガ如キコナク其黨論ノ外ニハ毫モ持論ヲ有セザル人物ヲ推選スルノ必要アリ合衆國大統領選舉ノ場合ハ其著シキ例證ナリトス選舉ノ此場合ニ於テハ最強ノ政黨モ敢テ其黨中第一流ノ人物ヲ推シテ候補者トナスコトナシ是レ他ナシ此ノ如キ名士ハ既ニ政海ニ馳騁スルコト久シキヲ以テ其黨中一部分ノ人々ハ之ヲ好愛セズ從テ是迄名聲聞エサル人物ノ如ク其黨ノ全投票ヲ集ムルニ適セサレバナリ事態既ニ此ノ如シサレバ最強ノ政黨ノ爲メニ選舉セラル、人物ト雖モ其實ハ只其黨派ヲシテ反對黨ヨリ多數ナラシム

ベキ少數人士ノ希望ヲ表スルニ過ギズ換言スレバソノ黨派ニシテ或ル一小派ノ贊助ヲ假ルニ非レバ成功シ難キ場合ニハコノ一小派ハ實ニ候補者ノ選擇ニ對シテ許否ノ大權ヲ有スルモノトス茲ニ一小派アリ自說ヲ固執シ頑然トシテ動かサルコト他ヨリモ甚シキハ此一小派ハ他ヲ強テ其指名シタル人物ヲ採取セシムルヲ得ルナリ而シテ此頑然タル固執ハ不幸ニモ公利ヨリモ私利ヲ主張スル人々ノ間ニ於テ一層有リ勝チノ事ナリトス概シテ之ヲ云ハバ多數黨ノ選擇ハ其黨派中最モ怯懦ニ最モ小量ニ又最モ偏僻ナル人々ノ說若クハ其種族的利害ノミニ固執スル人々ノ見ニヨリテ定マルナリ然リ而シテ少數ノ選舉權ナル者ハ其本來ノ目的ヲ達スル爲ニハ無用ニテアリ乍ラ遂ニ多數ヲ強テ其黨中最モ怯懦ナルカ及ハ最モ陋惡ナル部分ノ望メル候補者ヲ甘受セシムルノ用ヲナスニ至ル

數多ノ人々ハ以上述ヘタル諸弊害ヲ認識スルモ猶以テ自由制度ヲ購
 フニ必要ナル價格ナリト思考セリ然レモ是決シテ怪ムニ足ラス實ニ
 近時ニ至ル迄自由ヲ愛スル諸士ノ議論皆斯クノ如クナリシナリ然ル
 ニ此等弊害ヲ以テ救治ス可カラサルモノトナシ之ヲ看過スルノ習慣
 ハ其由來スル所甚ク久シキガ爲メ幾多ノ人々ハ其力救助シ得ヘキモ
 尙ホ進シテ之ガ救助ニ努力セザルカ如シ夫レ救助ノ念ヲ絶ツヤ一歩
 進シテ其病ヲ忘ルニ至ルヨリ往々ニシテ見ル所ナレバ從テ之ヲ救治
 スルノ策ヲ提出スル者アレバ之ヲ見ルヨリ恰モ救治策ヲ提出スルニ非
 スシテ一ツノ害惡ヲ創成スル者ノ如ク思フニ至ル今人民ハ既ニ此等
 ノ弊害ニ慣レタリ故ニ之ニ付テ訴フル者アル時ハ假令之ヲ惡シト思
 ハザルモ無理ナル議論ナリト思フナリ然レモ此等ノ弊害ハ假令ヒ避
 ケ得ベキモノモセヨ又然ラザルニモセヨ之ヲ以テ意トナサザルノ論者

又タハ此等ノ弊害ヲ除去スルヲ得可キ計畫ヲ見テ喜ハサルノ人々ハ
 近視眼ナル自由論者ト云ハサルヲ得ズサテ小數ヲシテ實際毫モ權利
 ヲ有セシメザルハ自由主義ヨリ生スル必至ノ結果ニ非ザルコトハ極
 メテ明白ナル道理ナリ否ナ此ノ事タル民主政治ヲ離ル、一最モ遠ク
 却テ民主政治ノ第一義タル人數ニ應シテ代表セシムルト云フコト至
 ク正反對ニ立ツモノナリ民主政ノ主眼タル少數人ヲシテ適當ナル代
 表ヲ得セシムルニ在リ若シ之レナクシバ眞正ナル民主制ハ有リ得ベ
 カラス只民主制ノ皮相アルニ止ラシノミ
 以上考察シタル議論ノ道理ヲ幾分カ感覺シタル人々ハ種々ノ方法ヲ
 提出シ以テ多少此弊害ヲ減少セント計レリロイド、ジョン、ラッセルハ其
 提出シタル撰擧法改革案中ニ於テ三名ノ議員ヲ撰出スベキ撰擧區ノ
 各撰擧者ハ只二人ノミヲ投票スルヲ得ベシトノ一個條ヲ挿入セリ他

ノ人々ハ又各撰學者ニ只一票ノミヲ與フベシトノ説ヲナセリ此等二
 法ノ内何レニ由ルモ地方ノ撰學者中三分ノ一ニ當ルカ又ハ之ヨリ多
 キ少數黨ハ能ク三人ノ議員中一人ヲ撰出スルヲ得ベキナリ(若シ其黨
 派ニシテ一層多分ヲ得ント企テザラソハ)又「ジョームス、ガース、マルシ
 ヤル」氏ス巧妙ナル論文中ニ述ベタル如ク撰學者各三票ヲ有シ而シテ
 此三票ハ盡ク同一ノ候補者ニ與フルヲ得ベシトナサバ上ト同一ナ
 ル結果ハ一層善ク達セラル、ニ至ラン但シ此等ノ方法タル之レナキ
 ニ比スレバ固ヨリ遙カニ勝レリト雖モ猶姑息ノ策タルヲ免ゾズシテ
 其目的ヲ達スルヲ甚ダ不完全ナルナリ何トナレバ三分ノ一以下ナル
 各地ノ少數ト其數如何ニ多キモ數個ノ撰學區ニ跨レル一切ノ少數黨
 ハ皆テ代議士ヲ出スヲ能ハザルベクニバナリ抑モ此等ノ方法タル何
 レモ皆正當ナル原則ヲ認識シ其一層完全ナル適用ノ先導ヲ爲セルモ

ヲナシテ之ヲ實行シタルコトニモ之ヲ著ハ痛惜スベキヲ至リナリトス
 度タル撰學區タル買手有セル撰學者少ニ隊ヲシテ其國中何レノ黨ニ
 性表ルヲ問ハズ互ニ結合シテ二人ノ代議士ヲ撰出スルヲ得セシム
 ル者ニ非ザル真正ニ平等ナル代議法トハ稱フベカラズ代表ノ法ヲ
 事ニ此等如ク完全ナル程度ニ至ラシムルハ從來行フ可クサルノ事
 也見ルベシ也蓋シ「ジョームス、ガース、マルシヤル」氏ナル人傑出テ議院條例ノ草案ト
 題スル論文中ニ於テ之ヲ實行スベキ方法ヲ書シ以テ其行フベキヲ證
 シテ其實ニ此方法ハ無類ノ價值ヲ有シ以上論述セル目的ニ關シ政治
 上ノ一大原則ヲシテ稍々完全ニ行ハレシムルヲ同時ニ亦テ緊要ノ度
 之レニ劣ラサル幾多ノ他ノ目的ヲモ達シ得ルモノトス
 此方法ニ依ルルハ先ツ議院議席ノ數ヲ以テ投票者ノ數ヲ除シ平均ヲ
 取ルノ普通方法ニ由テ代表ノ單位乃チ一人ノ議員ヲ有スルヲ得ベキ

選舉者ノ一跡ヲ定メ而シテ此一跡ヲ得タル候補者ハ選舉者ガ幾多ノ
 選舉區ニ散在スルトモ必ズ當選ヲ得ル者トシ投票ハ現時ノ如ク地方
 々々ニ行ハルベキモ各選舉者ハ國中何レノ部分ニ住スルヲ問ハズ
 如何ナル候補者ニモ投票スルノ自由アルニ依リ其地方ノ候補者ヲ選
 舉スルヤ好マザル選舉者ハ國內ノ諸名士中自己ノ尤モ好ム人物ノ
 當選ヲ助クルヲ得ルモノトス此ノ如クスレバ他ノ方法ニテハ實際選
 舉權チキ少數黨ニモ能ク選舉權チ有セシムルヲ得ベキナリ蓋シ共
 地方ノ候補者ニ投票スルヲ欲モサル人々ノミナラズ其候補者ノ一人
 投票者ヲ失敗シタル人々ニモ尙ホ他ノ場所ニテ代議士ヲ選出スル
 事得ベシナルヲ甚ダ肝要ナルニ依リ選舉者ニ向テ自己ノ最モ好ム人
 物以外ニ他ノ人名ヲモ記載シテ投票紙ヲ差出スルヲ許スノ方法ヲ設ケ
 テリ勿論其投票ハ只一人ノ候補者ニ對シテ効力チ有スルニ過ギズト

選舉者第一人物若シ定規ノ人員ヲ得ザルガ爲メ選出ニ至ラザル場
 合ニモ第二人物或ハ當選スルニ至ルヲアルナリサレバ選舉者ハ自
 己好愛ノ厚薄ヲ進退多寡ノ人候ヲ列記シ若シ首位ニ近キ人名モ
 未定規ノ人數ヲ得ル能ハザルニ及バ其投票チクモ既ニ定規ノ人數ヲ
 得ル場合ニハ該投票更ニ他ノ候補者ノ爲メニ用ヒラレテ得ベ
 キ蓋シ一候補者如何ニ多ク選出ヲ得ルモ其中定規定數以上
 當選モ議院定數以外トナリテ先ん人投票ニ其投票紙上ニ候補者
 記載スル候補者ノ爲メニ之ヲ計算スルニ代議院議員ハ全數ヲ得
 ル爲メニモ及ビ人望スル候補者ヲシテ多分ノ投票ヲ占有セシムルノ
 弊害ヲ妨グル爲メニモ必要ナリトス一候補者ノ總投票中何レノ部分
 ヲ以テ其當選ニ用非何レノ部分ヲ以テ他人ノ用ニ充ツベキカヲ決ス
 ル爲メニハ種々ノ方法アレドモ茲ニハ之ニ論及セザルベシ但シ其候

補者ヨリハ非ラサレバ代表セラル、ヲ得サルベキ人々ノ投票ノ如
 キ、無論之ヲ其人ノ當選ニ用ユベク而シテ其他ノ投票ニ至テハ一層
 良好ナル方法ヲキ以上ハ拙稿ノ法コソ道理ニ適ヘル使法ナルベク
 投票紙ハ皆中央局ニ之ヲ送達シ同局ニ之ヲ計算シ各候補者ニ與ヘ
 シ、第一位者第三位及其他ノ投票數ヲ決定シ定數ヲ得ル
 者ハ之ヲ當選セシメ、其手續ハ第一第二位ノ投票者ハ第一
 第一位ノ投票者、第三位ノ投票者ハ第二第二位ノ投票者、其
 他者ハ之ヲ準ズ、投票紙及其他計算ニ關スル諸要品ハ之ヲ公庫ニ
 藏シ、選舉ニ關係セシムルハ皆往テ觀ルヲ得セシメ而シテ若シ定數
 ヲ得タル人々ニシテ當選セサル者如キハ其候補者ナシテ容
 易ニ之ヲ證明スルヲ得ルベクシ、且、其仕組ノ一層詳細ナル
 以上述べタル所ハ此方策ノ主要ナル條款ナリ、其仕組ノ一層詳細ナル

事項ニ至テハ余ハ千八百五十九年出版ヘキ「氏」代議士選舉法論及
 千八百六十年ノ出版ニ係ル「氏」改革案簡約及説明ト題セリ、ハ
 「氏」論文中「氏」者ノ論文ニ之ヲ讓ラサルヲ得ズ、
 「氏」論文中「氏」者ノ相違ニモ事ヲ繁雜ニ失スルノ恐レ
 及ビ二三箇條ヲ擧略シテ極メテ簡明ノ者ニシ、
 然レ、極メテ簡明ニ表示シタル者ナシトス、讀者若シ以上ノ諸書ヲ念
 讀ク、則チ「氏」ハ此方策ノ能ク實際ニ行ハレ得ルベク、且、其利益ノ
 他ヲ出難キキヲ感スル、一層強キニ至ルベキナリ、實ニ「氏」方
 案ノ利益無極ナリ、且、極メテ多ク政府ノ理論及實務ニ關スル大
 改良中其最明ニ居ル者ト謂フベシ、
 今其利益ヲ擧ク、第一「氏」此方法ハ選舉者中ノ各分派ヲシテ其數ニ
 應ジテ代議士ヲ出スルベク、且、得即チ官ニ二大黨派ト特別ナル地

方は存在する二三の勢力が少数黨トシテミナラズ全國に存スル少數
 黨トシテ平等ノ原則ニ從ヒ一代表士ヲ有スルニ足ル丈クノ人數ヲ有
 スル者總テ皆代表モラルベキヲ得ベキナリ第二ニ此方法ニ由ルルハ
 如何ナル選舉者モ今日ト如ク自己ヲ選舉スル人物ニ由リテ名義上
 對テ代表モラルベキト云フカ如ク選舉ハ之ヲカナルベシ即チ國會ノ各議
 員ハ總テ意見ヲ同ク爲スル一團ト選舉者亦代表トシテ今日選舉ノ時
 期定メ奉從ハ豫メ又幾三千人若シテ五千ニ勢等ト選舉者ト然レバ
 及而シテ此等ト選舉者ハ皆何レモ全國の名士中ヨリ特ニ其人ヲ選
 出ルカハ現時ト如ク選舉者ガ其地方ニテ候補者タル二三老朽人
 士中ヨリ就テ選擇スルニ得ルニ過ラサル場合トシテ其趣ヲ異ニシテ
 選舉者ト如ク對テ選舉者及代表士間ノ關係ハ極メテ鞏固ニシ
 テ各選舉人ハ其代表士ト同心同氣ニ其代表士地亦其選舉人トシ

其同心ナルベキナリ各選舉者ガ一候補者ヲ投票スルハ其人物ヲ以テ
 全國ト候補者中最善ク自己ノ意志ヲ表示スル者ナリト認メタルカ又
 ハ其才能及氣象最も敬重スベク自己ノ爲メニ思慮スルコトヲ托スルニ
 足ルト考テ故ナリ是ヲ以テ其議員ハ今日ト如ク都府ト瓦石ト代
 表トシテ人民ヲ代表スルニ二三ノ長老若クハ寺區ノ豪族ノミヲ代
 表トシテ選舉者自體ヲ代表スベシ然レモ今日ノ地方々々代表ス
 ル仕組中保存シテ可ナルノ點タケハ矢張り保存セラレテ得ベシ即チ
 國會ハ國民ノ爲メニスル者ナレバ純粹ニ地方ノミニ關スル事務ハ
 成ルベク關係セサルヲ可トスト雖モ若シ之ニ關係スル場合ニアツテ
 特ニ重要ナル各地方ノ利害ニ注意スベキ爲メ選任セラレタル議員
 タルベキヲ望ムシテ而シテ此方案ニ據ルモ尙此種ノ議員アルヲ得ベ
 シ一地方ニシテ一議員ヲ出スベキ選舉者ノ定數ヲ有セル者ナラニ

其多數人ハ通例其地方人士ノ一人ニ依テ代表セラレシテ欲スベ
 キ乃其地方ニ住シ能ク地方ノ事情ニ通シ且其他人ノ點ニ於テモ代
 議士トシテ更ニ不可ナキ人物アラバ彼等ハ其人ニ由テ代表セラレ
 ズルヲ欲スベシ然レバ其地方ノ人物ヲ當選セシムルヲ能ハサル爲メ
 眼ヲ他ノ地方ニ放テテ自己等ノ投票ノ外ニ更ニ他ノ投票ヲ得ベキ
 見込有ル人物ヲ投票スルモ其ハ只少數黨ノミニ止ル者トス
 國民代表ノ議決中此方法ハ代議士ヲ以テ智識上ノ資能ヲ有セシムル
 手最モ適當ナルモ其ハ現時ニ在テハ才能ト性質ト人ト有テ人
 物ハ下院ニ出テ其利益障礙ヲ去ルニ勢ヒアルト一般ノ認識ス
 ル處ニ於テ當選者得ル者人々ハ只其地方ニ於テ勢力ヲ有スル人物
 及テ非常ニ金錢ヲ浪費セテ選舉ニ從事スル人物ヲ若シクハ其地方
 ニ住スル二三ノ商人及テ代理人ノ招聘ニヨリ團體ノ俱樂部ヨリ其黨

源於始終依頼スル人物トシテ改進保守ニ黨ノ一ヨリ派遣セラレ
 人物ニ在ルハ然ルニモヤト氏ノ方法ニ由ルハ其地方ノ候補者ヲ
 好テ其地人ハ全國候補者ノ名簿中ニアル名士中ヨリ自己ト同説ヲ
 好ム人物ヲ選ビ之レニ投票スルヲ得是ヲ以テ世ニ美名ヲ博シタル
 人々ハ假令地方ニ勢力ナキモ又政黨ニ屈從セサルモ尙能ク當選ヲ得
 ルニ機會アルベク且斯ル希望アルヲ以テ斯ル名士モ又續々候補者ト
 シテ現レ出ツルニ至ルベシ獨立ナル志想ヲ有スル有爲ノ人物ノ今日
 ノ選舉區ニテハ何レノ地ニモ多數ヲ占ムルノ望ナキ者モ其著書又ハ
 公益ノ爲メニ致シタル盡力ニ由リ殆ンド何レノ地方ニ於テモ之ヲ知
 ル之ヲ贊スル幾多人々ナキ處トテハ之レナキ程ニ至リ而シテ各地
 ニ投票皆其選舉ニ計算セラル、ヲ得ル時ハ彼等モ又定數ヲ有シ當選
 セズルヲ得ベシ故ニ曰ク國會ヲシテ必然國中第一流ノ人物ヲ有セ

シムルニ至ルハ此方法ニ若クモノナシト
 然リ而シテ此選舉法ガ下院ノ智能上ノ標準ヲ高ムルハ當ニ少數ノ投
 票ノミニ依ルコトハアラズシテ多數黨モ亦才能勝レタル議員ヲ得ント
 求メザルヲ得ザルニ至ル是ニ於テカ多數黨ヲ組織スル人々ハ最早其
 地方ノ首領ガ推撰シタル人物ヲ投票スルニアラサレバ投票全ク無効
 ナリト云フガ如キコトナク又此等首領ノ指名シタル候補者ハ少數黨ノ
 候補者ノミナラズ猶國內有名ノ人物ニシテ候補者ヲラシコト欲スル
 人々ノ競争ニ遭遇セサルヲ得ズ之ヲ以テ此場合ニ於テハ口ニ其黨ノ
 暗號ヲ唱ヘ三四千磅ヲ懐ニシテ現出スル人物ヲ選舉者ニ勸メントス
 レモ亦得ズカカラズ多數黨ノ人々ハ適當ナル候補者ヲ得シコト熱中
 シ若シ之ヲ得サルハ其投票ヲ他ノ地方ニ向クルヲ以テ少數黨却テ
 勝チ占ムルニ至ルベキナリサレバ多數黨ガ其黨中極メテ些少ナル部

第一屆憲法ガ如キコトハ全ク跡ヲ絶ツニ至ル故ニ地方ノ豪族中第一
 級人物ガ撰擧ヲラシテ候補者ニ選バセシメ且シヤ若シ名聲其地方製
 外ニモ亦知ラレタル人物ナルハ其地方ノ勢力ガ他ノ地方ヨリ輻然
 ニ來シテ投票ニ由テ強固トナル機會アルベキヲ以テ自ラ其人ヲ撰
 ブニ至ルベシ要スルニ各撰擧區ハ最良ナル候補者ヲ得ント競争スヘ
 ク而シテ其地方ノ情况ヲ詳悉シ且シ地方ト關係アル人物中ヨリ其他
 ノ點ニ於テモ最モ勝レタル人物ヲ撰バント互ニ相競フベキナリ
 代議政體ノ自然ノ傾向ハ猶近世開化ノ傾向ノ如ク一般ヲシテ凡庸ナ
 ラシムルニアル者ニシテ而シテ撰擧權擴張シ特權減スルハ政府ノ
 大權教育ノ程度一層低キ種族ノ手ニ落ツルガ故ニ此傾向ハ益増進ス
 ルモノトス抑モ高等ノ智識アリ氣象アルモノハ必ズ壓倒セラルハニ
 モセヨ其意見ヲ述フルト否トニ由リ實際大ナル相違ヲ生スルナリ代

表權ヲ全歸ニ與ハズシテ唯之ヲ地方ノ多數黨ノミニ與フル彼ノ虛偽
 ナル民主制アリテ教育アル少數黨ハ代議士會ニ於テ毫モ其機關ヲ
 有セザルベシ之ヲ實地ニ例スルニ此有害ナル模型ニヨリテ組織セラ
 レタル米國ノ民主制ニアリテハ高等ノ教育ヲ受ケタル人々ハ自己ノ
 意見ト判斷トヲ犧牲トナシ智識劣等ト人々ノ卑屈ナル代辨者タル
 ナ甘シクナルヲオサスルヨリハ代議院又ハ州會ノ議員ハ當選セラル、
 人機會ナキヲ確然タルヲ以テ其候補者トナルモノモ之レナキ程ノ有
 様ナリ若シ此共和國ヲ創立セタル明敏ニシテ公平無私ナル人々ガ幸
 ナリトハキト氏ノ方議ノ如キ其弊ヲ知リテオラシメハ其聯邦議會及
 州會ハ雖モ有名ナル人物ノ多數ヲ收攬スルヲ得民主制モ其一太非
 難ヲ強ク其最中忍ルベキ一大弊害ヲ送ル、之得ルベキナルベシ實ニ此
 弊害ヲ對シテハ、ヘキト氏ノ個人代表ノ方法ハ適劑ト云フモ決シテ過

言ニテラズ乃チ各選舉區ニ散在スル教育アル少數黨ハ相結合シ其人
 數ニ補應シテ國中第一流ノ人物ヲ擧出スルハ彼等ハ斯ル名士ヲ擧出
 セシメテ彼等ノ意思極メテ強カシムルハ、何トナシハ若シ黨ヲ作ルハ
 其少數ノ勢力ヲシテ其大ナル影響ヲ生ゼシムルヲ能ハサシメテ
 シバ多數黨ノ代議士ハ此方法ノ作用ニ由テ其資能大ニ上進スルベシ
 ミナシテ又空院ヲ自己ノ手中ニ有セサルカ爲メ大ニ改良スル所アル
 ベシ彼等ハ實ニ他ヲ壓スルヲ得ベシ然レバ彼等ハ他黨ノ面前ニテ辨
 論ヲ投票シ又他黨ヲ批評ヲ受ケサルヲ得ズ今或ル爭議起リトモ
 彼等ハ不拔シテ道理ヲ有スル少數黨ヲ議論ニ遭遇セサルヲ得サルベシ
 彼等ハ已ニ同意ヲ表セル人々ニ向テ談論スル人物ノ如ク單ニ自己ノ
 議論ハ正確ナリト假定スルヲ得ズシテ自説ノ誤レルヲ認ムルニ
 至ルヲ及往ルニシテ之レナルハ、彼等ハ一般ニ正當ナル企望ヲ有ス

ベキヲ以テ日々相會合シ且ツ相辨論スル人々ノ心情ヲ見テ知ラズ識
 テス自己ノ心意ヲ高ムルニ至ルベシ一般ノ懽心ヲ得ザル主義ヲ主張
 本論者モ自己同喚味ノ人々ノミガ閱讀スル書籍雜誌等ニソノ議論
 ヲ提出スルヲ止ラズ相反對スル黨派モ互ニ顔ヲ合ヒ手ヲ交ヘテ一堂
 大庭是ニ於テカ投票ノ數ニ依リテ勝ヲ制シテシ議論ハ投票ノ價値
 ヲ考スル場合ニモ亦ス勝ヲ制スベキヤ否ヲ知ルヲ得ントス蓋シ英才
 ニシテ人民ノ面前ニ其器量ヲ表ハスノ方便アル場合ニ於テ一般多數
 徒往々此優傑ヲ判別スルヲ得ベシモノナレバ若シ斯ル人物ヲシテ
 分モ其譽俱ニ示テテ其能ハ其能トスル之レ其人物ヲ掩蔽スル制度
 獨ニ其譽俱ニ罪ヲト云テ其能ヲ得テ古代ノ民主制度ニ於テハ有爲ノ
 人物ヲ掩蔽スルハ其能ヲ得テ一モ之レヲスルヲ其能ヲ彼ノ能ト云テ

ハ其人物ノ用ニル所ニ任セ彼レ公務ニ關シテ助言スル處アラント欲
 スレバ何人ノ承諾モ經ズシテ之ヲナスヲ得タルナリ然レモ今日ノ代
 議制度ニテアリテハ然ラズ最モ此代議制度ヲ好愛スルノ徒ト雖モ「セ
 ストク」又ハ「アモ」ス「ノ」如キ俊傑ガ終生成ハ議席ヲ得ル能ハ
 サレテモ之レアラント疑念ヲ抱カザルヲ得ズ去リ乍ラ代議士會ニ
 於テ假ヘ少數ナリトモ國中第一流ノ人物必ズ出席スルニ於テヤ其他
 ノモノハ皆凡庸ノ人々ナリトスルモ此等先覺者ノ勢力ハ知ラズ識ラ
 ス討論ノ際ニ影響ヲ及ボスベキナリ(此等ノ人々ハ多クノ點ニ於テ一
 般ノ議論及感情ニ反對ナルニモセヨ)而シテ余ハ斯ル名士ヲシテ確然
 議會ニ出席セシムルヲ「ヘヤ」氏ノ法ノ如キモノ他ニ存スルヲ思考ス
 ル能ハズ

凡ソ一ノ政府ニシテ退歩衰頹ノ運ニ陥ラザラント欲セバ必ズ之レナ

カレベカチナルニシテ勢力アリ現在ノ民主政ニアリテハ全ク之レニ備
 フル所以ノ方法ナシト雖モ「ヘヤー」氏ノ方案ニ依レバ代議士會中ノ此少
 數及此一大作用ヲ遂クシテ適當ナル機關トナルベキ者ニシテ此作
 用ハ之ヲ反抗ノ作用ト云フコトヲ得ル今之ヲ説明セシニ何レノ政府
 ニテモ必ズ此種ニシテ強クナルニシテ勢力アリテ此最強ナル勢力ハ絶ハ
 ス其國ニ於テ唯此一權方トナラシトスルノ傾向アルモノナリ幾分
 ハ故意ニ依リ又幾分ハ知ラズ識ラズノ間ニ於テ此勢力ハ常ニ萬事ヲ
 シテ己ノ方ニ從ハシメシテ事務ヲ面シテ自己ニ向テ抵抗ヲ試ムルノ事
 物アリ自己ノ精神トニ致モサル勢力アル間ニ決シテ満足スルコトナキ
 ナリ然レハ其勢力ニシテ一朝競争ノ諸勢力ヲ屈伏シ萬事ヲシテ自己
 ノ模型ニ鑄入スルヲ得タルハ其國ノ進歩改良ハ全ク止ミ衰亡ノ勢
 也此ニ於テカ始メテ夫レ人事ノ改良ハ數多ク要素ノ結果タルニ外ナ

ラズ而シテ此等ノ諸要素ヲ包括スル權カトテハ曾テ之レアラズシテ
 尤モ有益ナル權カト雖モ只其二三要件ヲ包有スルニ過キザル者ナレ
 バ若シ進歩ノ永續セシムコトヲ欲セバ更ニ他ノ淵原ヨリ自餘ノ要件ヲ得
 ズルベカラズセシメバ何レノ社會ト雖モ其社會ニ於ル最強ノ權カト或
 他ノ權カトガ相競争シ居レル間ニ除クバ永ク進歩ヲ保續スル例シ
 ナシ乃チ僧侶ト王公トノ相争ヒタル場合武士ト産業種族トノ相争ヒ
 タル場合帝王ト人民トノ相争ヒタル場合若クハ在來ノ宗教ト宗教改
 革黨トノ相争ヒタル場合トテ除クバ進歩ノ永ク續キタルコトハ之レナ
 キナリ若シ何レカ一方ガ十分ニ勝テ得テ紛争終局ヲ告グ而シテ新々
 ニ争論ノ生スルナキハ滯滯因循ノ有機先ツ來リ退歩衰亡ノ運之レ
 ニ伴フベシ彼ノ多數黨ノ專權ヲ占ムルカ如キハ他ノ場合ニ比シ不正
 ノ度モ少ク有害ノ度モ亦輕キモノナリト雖モ此專權モ亦前述シタル

所ト同一種類ナル危難ヲ有スルモノニシテ且其危難ノ生スルコト一層
 確然タルモノトス何トナレバ政府ガ一人又ハ數人ノ手中ニ存スル
 ハ多數ハ常ニ競争ノ勢力トシテ存在スベク其勢力ヤ假令之ヲ制馭ス
 ル程強カラサルモ其意向ト感情トハ主權者ニ反對セル人々ノ助ケト
 ナルベキモ多數ニシテ實ニ最強ナル場合ニハ之レニ不同意ナル意見
 ト之レガ爲メニ損害ヲ受ケタル利益トハ依頼シ得ベキ程充分強大ナ
 ル一人又ハ數人ヲ見出ス能ハザレバナリサレバ民主制ノ一大困難タ
 ル從來最上權ノ傾向ニ抵抗セシト欲スルモノヲ保助スルニ足ルベキ
 一大勢力ヲ備フル方法ヲキノ一點ニアルガ如ク思ハレタリ實ニ斯ル
 勢力ノ之レナカリシニ依リて代議ノ社會及近代ノ社會モ只其二三ヲ除
 クノ外ハ皆チ一種ノ勢力ノミカチ專ニセシ爲メ或ハ瓦解ノ厄ニ陥リ
 或ハ滯滯因循ノ有様トナレリ乃チ徐々トシテ退歩スルノ有様トハナ

リタルナリ
 個人代表ノ方法ハ最モ完全ニ能ク此一大欠點ヲ補フニ適セル者ナリ
 夫レ多數人民ノ氣質ヲ補ヒ其欠點ヲ矯正スベキ望アルモノハ只教育
 ヲ受ケタル少數アルノミ而シテ民主制ヲ組織スル尋常ノ方法ニテハ此
 少數ハ一ノ機關ヲモ有セズト雖モ「ヘヤ」氏ノ方案ニヨレバ能ク之ヲ
 有スルヲ得乃チ少數黨ノ一團ヨリ國會ニ撰出シタル代議士ハ最モ完
 全ナル方法ニ於テ其機關トナルモノナリ若シ教育アル種族ガ獨リ分
 離シテ一ノ團體ヲナスガ如キ「アラバ」寂寥トシテ毫モ勢力ヲ有セサル
 ニアラサルヨリハ一般ノ猜忌スル所トナリ世人ノ爲メニ嫌惡セラル
 ヲ處トナルヲ免カル、能ハザルベシ然リト雖モ若シ此等種族中ノ第
 一流ノ人物ガ他ノ議員ト同一ノ權利ニ由テ代議院ノ一部ヲナス場合
 ニハ其出席ハ何人ニモ憎惡ノ念ヲ生セシムルコトナカルベク却テ重要

ナル問題ニ關シ自己ノ意見ヲ述ベ又公務ニ關シ力ヲ致スニ當リ極メ
 ナ好都合ナル地位ニアルベク其人ハ其才能ニヨリ實際ノ政務ニ關シ
 其數上ノ勢力ヨリモ或ハ一層多分ノ力ヲ有セントス雅典人ハクレオ
 ノ及ハイパーポラスノ如キ人々ニハ重責アル公務ヲ委任セザリシト
 雖モ「ニキヤス」セラメテス「アルキビヤデス」ノ如キ才能アル名士ハ民主
 制ヨリモ寧ロ貴族制ヲ望メリト世ニ知ラレタルニモ拘ラス絶ヘズ内
 外顯要ノ地位ニ用井ラレタルナリ以上ノ如キ次第ナレバ投票ヲオス
 場合ニハ此等ノ教育アル少數人士モ只其人數ヲケニ計算セラル、ニ
 過キザレハ實際ハ其智識ト之レヨリ生スル勢力トノ爲メニ一層多ク
 ノ力ヲ有スベシ夫レ民主制ノ弱點ニ侵入スル種々ノ有害ナル勢力ヲ
 防キ民主制ヲシテ道理ト公道トノ外ニ出ズザラシムルニ之レヨリモ
 一層適當ナル方策ハ恐ラク人智ノ案出シ能ハサル處ナラシ此方法ニ

由ルルハ民主制ノ人民モ他ノ方法ニテハ得可ラザル智識氣象一層高
 等ナル先覺者ヲ得ベク此ノ如クナレバ近代ノ民主政モ亦時々「ベリク
 ルス」ノ如キ英傑ヲ有スベク又「常ニ優等ナル才識アル一昧ノ人士ヲ
 有ス」シトナス
 以上述べタル種々ノ道理ハ皆此方法ノ良好ナルヲ證スル者ニシテ且
 シ「二」トシテ極メテ重要ナラサルモノハナシ之ニ反シテ此方法ヲ非ト
 ス可キ道理ニハ果シテ如何ナル者アルカ其駁論タル只人々ガ一度新
 奇ナル事物ニ眞正ナル研究ヲ與フルニ至レバ皆破壊スベキ者ノミナ
 リ若シ夫レ平等ヲ名トシテ貧人ノ種族的專制ヲ以テ富者ノ種族的專
 制ニ易ヘシト欲スルノ人アラシニハ此ノ人々ハ此二者ヲ同地位ニ置
 クノ方策ニ不賛成ナルナラン然レモ余ハ信セサルナリ斯ル希望ガ現
 時英國ノ勞役社會ニ存セシ「テ」彼ノ合衆國ニ於テハ多數黨久シク專

制權ヲ占メタルヲ以テ彼等ハ之ヲ捨ツルヲ欲セサルコト尙一人ノ專制
君主又ハ貴族輩ノ如クナラン然レモ余ハ信ズ英國ノ人民ハ他人ノ種
族的立法ニ對シテ自己ヲ保護スルコトヲ得レバ之ヲ以テ満足シ自ラ專
制權ヲ行ハント要求スルコトハナカルベシト
皮想上ヨリヘヤト氏ノ方策ニ反對スル者ノ中二三ノ人々ハ此方策ヲ
以テ行フ可ラサル者ナリト云ヘリ然レモ此等ノ人々ハ概シテ只此方
策ヲ聞キタルニ止ルガ又ハ充分ニ此方策ヲ研究セサルモノタルニ過
キ不又他人々ハ地方ノ代表ノ性質ヲ失フベシト喋々此法ヲ非難セ
リ彼等ハ思ヘラク一國民ハ人間ヨリ成立セスシテ地理ト統計トノ産
物タル人爲上ノ區劃ヨリ成立スルモノナリ故ニ國會ハ人類ヲ表ス可
ラズ須ク都府ト州邑トヲ代表スベシト然レト雖モ何人モ都府ト州邑
トヲ無視セんと欲スルニハ非ルナリ若シ夫レ都府州邑ニ住スル人類

ニシテ代表セラレシムルニハ都府及州邑ハ既ニ代表セラレタリト云フヲ
得ベシ地方ノ感情ナル者ハ之ヲ感スルノ人士ナクシテ成立スルヲ得
ズ地方ノ利益ナル者ハ之ニ利害ヲ感スルノ人士ナクシテ存在スルヲ
得ズ故ニ此等ノ利害感情ヲ有スルノ人々ニシテ各其分ニ應シ代表セ
ラル、ヲ得タランニハ此等ノ利害感情ハ此等人士ノ他ノ利害感情ト
共ニ代表セラル、ヲ得ベキナリ抑モ余ハ地方ノ感情利害等ノミ代表
セラル、ノ價值アル者ナリトスルノ理由ヲ知ル能ハズヨククシヤイ
ア及ミッドルセックス等ノ州邑ガ其住民トハ別ニ權利ヲ有スベシト云フ
ガ如キハ言語ノ用法ヨリ生シタル謬見ノ奇妙ナル例ナリト云フベキ
ナリ

然レモ反對黨ハ概シテ英國ノ人民ハ決シテ斯ル制度ニ同意スルコトナ
カルベシト云テ此問題ヲ中斷スルナリ嗚呼英國ノ人民ハ自己ノ理解

力判斷力ニ關シ斯ル論決ヲナス者ニ對シ如何ナル思想ヲ有スベキヤ
 余ハ之ヲ論セザルベシ余ハ只ダ云ハントス余ハソノ實地ヲ見ズシテ
 英人ハ自己又他人ニ有益ナルベキ事物ニ對シ偏僻ノ念ヲ抱キテ反對
 スベシト云フノ適當ナルヲ知ラズト余ハ又思考ス若シ僻見ニシテ頑
 然成立スルカ如キコトアラバ其責ヲ負フベキモノハ自己等ガ之ヲ除カ
 シトシテ企圖ニ與ミセザルノ自實トシテ之ヲ以テ到底破ルベカラサル
 モノナリト云フモノヨソ其最タルベキナリト若シ其僻見ニ與ミセサ
 ルノ人々モ之レニ追從シ之レニ媚ビ之ヲ以テ自然ノ理法ナリト思フ
 ガ如キコトアラバ如何ナル僻見モ終ニ能ク之ヲ破ルヲ得サルベシ然レ
 此衆ヲ以テ之ヲ見レバ此場合ニ於テヤ或ル説ヲ聞知シタル人々ハ概
 シテ手強ク之ニ反對セズ只新規ナル事物ニハ常ニ存在スル不信用ノ
 念ヲ懷クニ過キサルヲ見ルサレバ重モナル障礙物ハ只新規ト云ヘル

一事ニアルナリ此者タル實ニ恐ルベキ障礙物タルニ相違ナシ何トナ
 レバ人ノ想像ハ實質ノ大變化ヲ怪シマサルニ至ルハ易ク名稱及形式
 ノ小變化ヲ怪シマサルニ至ルハ難事ナレバナリ然レモ其新規ナル思
 想ニシテ實際價值アルモノハ只歲月ヲダニ費セバ此新規ナリト云フ不
 便ハ容易ニ之ヲ除去スルヲ得ベク而シテ今日ノ如ク論議辨難盛ニシ
 テ且ツ一般ニ改良ヲ熱望スルコト甚シキ場合ニアリテハ從來數百年ヲ
 費シテ始メテ遂行シ得タル事物モ只數年ニシテ之ヲナスヲ得ベキコ
 ト往々ニシテ之レアルベシトス

第八章 選舉權ノ擴張ヲ論ズ

前章ニ於テ描出シ來リタル代議民政ハ單ニ多數ノミナラズ人民全體ヲ代表セシムルノ仕組ナリ此制度ニ於テハ多數ノ爲ニ壓倒セラル、利害及議論モ尙ホ他人ノ聞ク處トナリ從テ議論ノ性質純良ニシテ且活潑ナル者ナレバ假令少數ノ主唱スル處タルモ尙議會ニ勢力ヲ占ムルノ機會ヲ有スベキナリ夫レ公正ナルハ獨リ此政體ノミ不偏ナルハ獨リ此政體ノミ是レソ國民全體ガ國民全體ヲ統御スルノ制度ニシテ民主政體ノ真正ナル形相ナル現今世ニ用井ラレ且世人ガ民主政體ヲ論スルニ當リ標準トスル彼ノ虛偽ノ民主正體ニ在テハ宿弊大害極メテ多シト雖モ此真正ナル民主政ニ於テハ決シテ此等ノ弊害ヲ見ルコトナシ然レモ此醇乎タル民主政ニ在テモ尙ホ多數黨專制ノ主權ヲ振フヲ免レズ且此多數黨ハ全然情僻及思想ヲ同フセル同一臭味ノ人士ヨ

リ成立シ而シテ此等ノ人士タル姑ラク最下等ノ輩ト云ハサルモ兎ニ角高等ノ教育ヲ受ケタル者ニハ非ルベシ此ヲ以テ此國家組織モ尙階級立法ニ特有ナル諸弊害ヲ來スノ恐アリ勿論弊害ノ程度ニ至テハ之ヲ今日ノ所謂民主政體ノ大害ニ比シテ遙カニ輕少ナルニ相違ナシト雖モ尙ホ他ヨリ有力ナル掣肘ヲ之ヲ加フルコト能ハズ只多數黨自身ノ聰慧溫和忍耐ニ之レ頼ルノ外ナキナリ但シ此等ノ制限ニシテ果シテ充分ニ其效ヲ有スルモノナランニハ立憲政府ニ關スルノ理論毫モ困難ノ點ヲ見ズ抑モ世人ガ諸種ノ政體ヲ信任シ之ヲ呼テ善ナリトスルハ其政體ニ於テ權力者其大權ヲ濫用スル能ハスト云フ保證アルニ依ルサレバ民主政體ノ此弱點ニシテ矯正セラレ從テ最多數ノ人々ノミナラズ如何ナル階級ノ人々モ皆他ヲ壓シテ己レガ下風ニ立タシムルヲ得サルニ至リ且ツ一階級ノ利益ヲ目的トシテ行政立法ノ方針ヲ定

ムル能ハザルニ至ラサレバ未ダ最良ナル政體ノ模範トハ云フヲ得サ
 ルナリ故ニ民主政體特有ノ利益ヲ犧牲ニ供セズシテ能ク此弊害ヲ避
 クルヲ得ベキ方策ヲ考究スルハ實ニ今日ノ一大問題ナリトス
 代議政體固有ノ利便ヲ收メテ而カモ其弊害ヲ避クルノ事タル選舉ニ
 制限ヲ置キ國民ノ或ル部分ヲシテ公務ニ參セシメザルノ方法ニテハ
 決シテ其目的ヲ達スルヲ得ザルナリ蓋シ社會ノ最下級ニ位スル人々
 ナシテ自國ノ大事ニ與カルヲ得セシメナバ此等ノ人々モ亦其智識感
 情ヲ開發スルニ至ルモノニシテ是レ實ニ代議制度ノ利益中最大ナル
 モノ、一ナリトス此事ハ余ガ既ニ充分論述シタル所ナルモ今又此ニ
 之ヲ再言スル所以ノモノハ世人皆此事ヲ輕視シテ之ニ重キヲ置ク者
 甚ダ少キガ如クナレバナリ世人ハ思ヘラク勞働者流ニ參政權ヲ與フ
 レバ斯ル大結果ヲ生スベシト思考スルハ實ニ空想ナルニ過キズト然

レモ若シ人類全體ヲシテ心性ノ開發ヲ得セシムルヲ望ム可ラザレバ
 止ム苟クモ之ヲ望ミ得ヘシトスレバ之ニ達スルノ道ハ實ニ此方法ニ
 ヨリテ智力上ノ教育ヲ與フルノ外ナキヲ知ルナリ人若シ之ヲ疑ハ、
 去テ彼ノ「ドントックヒル」氏ノ大著ヲ見ヨ特ニ氏ガ米人ニ付テノ議論ヲ
 見ヨ彼ノ亞米利加ニ遊ブノ人ニシテ米人ガ何レモ皆或ル意味ニ於テ
 愛國者タリ且ツ智識教育アルノ人タルヲ見テ嘆賞セサルモノハ殆ン
 ド之レナキニ非スヤ而シテ「ドントックヒル」氏ハ實ニ此等ノ資能ト其民主
 主義ノ制度トノ間ニ極メテ親密ナル關係アルヲ示シタリ米國ニ於
 テハ諸般ノ高尚ナル思想感情嗜好等廣ク一般人民ノ間ニ普及セルヲ
 他國ニ於テ其類ヲ見ザルノミナラズ世人ガ斯ク迄達シ得ヘシトハ信
 セザル程ニ發達シタリ然レモ此米國ノ結果ヲ取テ真正ノ代議政體即
 チ平等ニ參政權ヲ與フルヲ米國ト異ラズシテ然カモ其他ノ要點ニ於

テ組織ノ方法一層完美ナル政體ヨリ生ズヘキ結果ト之ヲ此スレバ其
 差實ニ霄壤ト謂フベシ思フニ米國ニ於テハ政治界ハ最モ有益ナル校
 舎ニ相違ナクレバ此校舍タル才識拔群ナル名士ハ之レガ教師トナル
 一ナシ即チ國中ニ於ケル第一流ノ人物ハ恰モ政治上本然無資格ナル
 者ノ如ク國民代表ノ地位ニ立ツテ得ズ一般ニ公務ニ從事スルヲ得ザ
 ルナリ又米國ニ於テ平民全軀ハ權力ノ唯一ノ淵源ナルヲ以テ凡ソ國
 中ニ於テ私利的ノ大望ヲ抱クモノハ皆平民全軀ニ就テ之ヲ求ムルコ
 猶專制君主國ニ於テ人々皆爭フテ專制君主ニ歸向スルト一般ニシテ
 其諂諛追從以テ人民ノ歡心ヲ得ントカムルコト猶又專制君主ニ對スル
 ガ如クナルヲ免レズ此ヲ以テ平民ノ有スル偉大ナル權力ハ一方ニ於
 テ人民ヲ改良シ之ヲ高尚ナラシムルモ他ノ一方ニ於テ上述ノ理由ニ
 ヨリ人民ヲ腐敗低下ナラシムルコト全ク前者ト其度ヲ同フシ大ニ其利

益ヲ減殺スル者アリ抑モ米國ニ於テハ其制度全ク完美ナラス弊害又
 少カラサルコト實ニ此ノ如シト雖モ尙民主ノ制度ハ大ニ米國下等人民
 ノ心意ヲ發達進歩セシメ之ヲシテ同他位ノ人民ニ比シ大ニ勝ル處ア
 ラシムルニ非ズヤ果シテ然ラバ若シ此勢力中善良ナル部分ノミヲ保
 存シテ其不可ナル者ヲ去ルヲ得タラシムルニハ其利益實ニ如何ナルヘキ
 カ蓋シ言フテ俟タサル處ナラン然リ而シテ此事タル政治上ノ教育ヲ
 除キ其他ニハ殆ンド其心意ヲ刺激シ之ヲ發達セシムベキ勢力ヲ有セ
 ザル下等人民ノ參政權ヲ奪ハザルモ或ル程度迄ハ之ヲ行フヲ得ベキ
 ナリ抑モ政治上ノ論議ナルモノハ實ニ偉大ノ利益アルモノニシテ日
 を同一ノ事務ニ服シ又其生活ノ方法常ニ一樣ニシテ種々ノ感覺ヲ生
 スルコト種々ノ情況ニ遭遇スルコト種々ノ思想ヲ喚起スルコトナ
 キガ如キ勞力者流ヲシテ遼遠ナル原因及事件モ尙ホ其一身ノ利害ニ

著シキ影響ヲ及ホスノ理ヲ知ルニ至ラシムル者ハ實ニ此政治論議ノ賜ナリ又其日常取ル所ノ事務ノ影響ニヨリ只利害ノ念慮ヲ自己周邊ノ小範圍ニ凝集スル人士ヲ以テ同胞國民ノ爲ニ利害痛痒ヲ感セシメ又之レト休戚ヲ共ニセシメ從テ自己ハ一大社會ノ一員ナリトノ念ヲ起サシムルニ至ルモノハ實ニ政治上ノ論議ヲナシ且ツ共同シテ政治ニ從事スルニヨルモノナリ然レモ毫モ投票ノ權ヲ有セズ又之ヲ得ント勤メサル人民ハ政治上ノ論議ヲナシテ之ガ賜ヲ享クルコトナシ此等ノ無資格者ガ選舉權ヲ有スルモノニ對スル地位ハ猶法廷ニ於ケル傍聽人ト陪審官トノ地位ノ如シ政治家ハ彼等ノ投票ヲ求メサルナリ世人ハ彼等ノ恣見ヲ動かサントハ勤メサルナリ冤苦ヲ訴フルモノ論辨ヲナスモノ皆他人ニ向テ之ヲナシ毫モ彼等ヲ顧慮スルモノナシ又彼等ノ判定スル所ハ毫モ實際ニ影響ヲ及ボサス從テ彼等ハ自己ノ意見

天賦權利
ノ擴張

ヲ定ムルノ必要ナク又彼等ヲシテ其意見ヲ定ムルニ至ラシムル原因トテモ殆ソド之レナキナリ此ヲ以テ制限撰舉ヲ用ユル所ノ民主國ニ於テハ彼ノ投票發言ノ權ヲ有セザル輩及之ヲ得ルノ期望ナキ輩ハ永久政府ニ對シテ不平ノ念ヲ抱クガ又ハ國家ノ公務ヲ見ルコト全ク自己ニ關係ナキモノノ如ク之ヲ度外ニ置テ顧ミサルカ二者其ノ一ヲ出テサルベシ然リ而シテ斯ル地位ニ立ツモノガ國家ノ政治ヲ知得シ又之ニ注意スルコト如何計リナルカハ中等社會ノ婦人ガ政治ヲ知リ且之ニ注意スルコト其良人又ハ家兄ニ比シテ極メテ少々ナルヲ見テ稍其一斑ヲ推知スルヲ得ベキナリ
今暫ク以上ノ議論ヲ度外ニ置クモ其等シク利害ヲ有スル國家政務ノ處置ニ關シ自己ノ意見ガ他人ノ意見ト同等ニ數ヘラルベキノ權利ハ各人ノ須ク有スベキ所ニシテ之ヨリ一層大ナル禍害ヲ防ク爲メニ非

ルヨリハ如何ナル人ヨリ此權利ヲ奪フモ甚ダ不正ノ事タルヲ免レサ
 ルベシ苟クモ納稅兵役ノ義務ニ服シ且ツ冥々ノ間服從ノ義務ヲ有ス
 ル人民ハ法律上必ラズ之ガ理由ヲ聞クノ權利ナカル可ラズ之ガ實行
 ニ關シテハ必ズ其承諾ヲ求ムルヲ要スベク又人民ノ意見ハ之ニ至當
 ノ價值ヲ置キテ必ラズ之ヲ推計スルヲ要スルナリ即チ充分ニ發達シ
 且ツ開明ノ域ニ進ミタル邦國ニアツテハ自己ノ過誤ニ由ルニ非ザル
 以上何人ヲモ決シテ無資格者トナス可ラサルナリ若シ或部分ノ人民
 無限ノ全權ヲ占メ他ノ人々ニハ毫モ協議スル所ナク隨意ニ他ノ人々
 ノ命運ヲ決スルカ如キニアラバ此等ノ不幸ナル人々ハ自ラ知ルト否
 トニ論ナク下位ニ沈淪スルヲ免レサルベシ又人ノ心性今日ヨリ一層
 進歩スルニアルモ國事ニ參スルノ權ナキ者ハ自然此權アル者ト等シ
 ク公平ナル接遇ヲ受クルトナク選舉權ヲ有スル人々ノ利害ト希望ト

ハ主治者及實權ヲ有スル種族ニ於テ之ニ思慮注意ヲ加フルノ必要ア
 リト雖モ全ク選舉權ヲ有セサル人民ニ就テハ之ニ注意ヲ加フルト否
 ト全ク彼等ノ意向如何ニ屬スルナリ假令主治者ハ公平ナル心情ヲ有
 スルモ其注意セザル可ラサル事柄既ニ夥多ナレハ之ヲ度外ニ置クモ
 別ニ禍ヲ來スコトナキ事項ニハ其意思ヲ注クノ余地ヲ存スルコトナク從
 テ自然之ヲ拋擲スルニ至ルヲ免レザルベシ故ニ曰ク其人ノ誰タルヲ
 問ハズ其種族ノ何タルヲ論セス凡ソ國民中選舉權以外ニ驅逐セラル
 ヲモノアルノ制ハ決シテ永遠ニ善良ナルモノニ非ルナリ苟クモ成年
 ニ達シタル者ニ悉ク選舉權ヲ與フルノ制ニ非レバ決シテ完全無欠ノ
 モノト云フ可ラズト
 然レモ茲ニ確然タル道理ノアル爲メ或ル例外ヲ要スルモノアリ之レ
 上述セル原則ト相背馳セルモノニアラズシテ且ツ其物自體ニ就テ云

ハハ不良ナルガ如シト雖モ此例外ヲ要スル所以ノ情況止メバ從テ之
 レト共ニ免ルヲ得ベキモノナレバ毫モ患トナスコ足ラサルナリ余
 ハ讀書執筆ト普通ノ算術ヲ能クセサルノ人々ヲシテ選舉ニ與カラシ
 ムルヲ以テ全ク不可ナリト思考ス夫レ此等ノ初等教育ヲ得ルノ方法
 ハ假ハ選舉ト相關セサル場合ニテモ無料又ハ極メテ些少ノ入費ヲ以
 テ何人ニテモ之ヲ修メ得ベキ様ナサシムルベカラサルコトハ公義ノ命ス
 ル處ニシテ若シ實際斯ノ如クンバ一般人民ハ讀ム能ハザルノ人ニ選
 舉權ヲ與ヘント思考セザルコト猶言フ能ハサルノ小兒ニ之ヲ與ヘント
 思ハサルガ如クナルベシ此場合ニアリテ彼ヲシテ權利ヲ有セシメサ
 ルモノハ社會ニハアラズシテ其人自己ノ怠惰ナルベシ但シ社會ガ其
 義務ヲ盡サズシテ何人ニテモ此初等教育ヲ受クベキ程ニ行カサル所
 ハ稍困難ナキニアラズ然レモ此困難ハ忍バサルベカラサルノ困難ナ

リ今社會ニシテ二個ノ重大ナル義務ヲ行フヲ怠リタリトセバ其内第
 一ニ先ツ遂行セザルベカラザルモノハ二者中一層肝要ニシテ且ツ最
 モ重大ナルモノタルベシ即一般ノ教育ハ一般ノ撰舉權ニ先ツテ之ヲ
 行フヲ要ス彼ノ續續的ノ理論ニ耽リ其普通知識ヲ失フタル人々ヲ除
 ケバ何人ト雖モ自己ノ事務ヲ行フ爲メ最モ要用ニシテ又最モ尋常ナ
 ル資能ヲ有セザルカ如キ人々ニ與フルニ他人ノ上ニ振フベキノ權力
 全社會ノ上ニ行フベキノ威權ヲ以テセント主張スルモノハアラザル
 ベシ然リ而シテ此議論ハ更ラニ一層其適用ヲ廣ムルヲ得ルナリ即チ
 讀書執筆及算術ノ外更ニ他ノ事物ヲモ撰舉ノ要件トナスコ甚ダ望マ
 シキ事柄ナリ例ハ地球ノ構造其自然的及政治的區分一般歴史ノ概
 畧及自國歴史制度ノ大綱等ヲ以テ其要件トナスカ如シ然レモ此等ノ
 智識タル撰舉權ヲ適當ニ使用セント欲セバ實ニ欠クベカラサルモノ

ナレバ彼ノ北米合衆國ヲ除ケバ我英國ニテモ又ハ其地ノ國々ニテモ
 全國人民ノ容易ニ學ビ得ル處ニハアラズ且ツ人民ガ此等ノ智識ヲ學
 得シタルヤ否ヤヲ決スルニ足ルノ適當ナル方法存在セザルナリ今日
 ニ於テ此等ノ一ヲ企圖スルモ其結果ハ只偏頗詭計其他種々ノ詐偽ヲ
 來タスニ止ルベキニ依リ一官吏ノ判斷ニテ甲ニハ撰舉權ヲ與ヘ乙ヨ
 リハ之ヲ奪フガ如キ一之レアラソヨリハ寧ロ差別ナク何人ニモ皆之
 ヲ與フルカ又ハ差別ナク何人ニモ之ヲ與ヘサルノ優レルニ如カズサ
 リナガラ讀書執筆及算術ノ三者ニ關シテハ毫モ困難ヲ感セザルナリ
 登記所ニ出頭スル各人ヲシテ掛官ノ面前ニテ一文章ヲ寫サシメ比例
 式ヲ以テ一ノ計算ヲ爲サシメ且ツ一定セル規則ト充分ナル公開主義
 トニ依リ斯ル簡單ナル試験法ヲ適用スルコトハ甚ダ容易ノコトナルベシ
 左レバ如何ナル場合ニアラズモ此條件ハ必ズ普通撰舉ト相伴ハサル

ベカラズ而シテ之ヲ行フコト數年ノ后ニハ撰舉權ニ毫モ注意セサル人
 々ノ外ハ之レガ爲メ權利ヲ奪ハル、モノ一人モ之レナカルベシ又彼
 ノ之ニ不注意ナル輩ノ如キハ假ヘ投票ヲナシタリトテ真正ノ政治上
 ノ意見ヲ表スルコトナカルベキヲ以テ毫モ顧慮スルニ足ラズ
 且ツ又國稅或ハ地方稅ヲ議決スル議會ハ必ズ租稅ヲ拂フ人々ニヨリ
 テ撰舉セラレシコト肝要ナリ毫モ租稅ヲ拂ハサル人ガ自己ノ投票ニ由
 テ他人ノ財產ニ關係スルコト之ヲ浪費スルノ意向アルベク之ヲ節儉
 スルノ心毫モ之レナカルベシ故ニ財政上ノ事柄ニ付キ斯ル輩ヲシテ
 投票ノ權力ヲ有セシムルハ自由政體ノ大原則ニ背戾スルモノト言ハ
 サルヲ得ス若シ斯ノ如クシテ其結果ハ此等ノ輩ヲシテ己レ等ガ公共
 事業ト呼ブ目的ニ關シ他人ノ懷中ニ其手ヲ入ル、ニ異ラサルベシ而
 シテコト事タル合衆國ノ大都府ニ於テハ比類ナキ程苛重ナル地方稅

ヲ來タシ且ツ此等ノ租稅タル皆富有ナル人々ノ負擔ニ歸シタリキ夫
 レ代表權ハ租稅ト其區域ヲ同フス可ク租稅アル處ニハ必ス代表權ア
 ルヲ要シ租稅ナキ所ニハ決シテ代表權アル可カラズトハ之レ英國制
 度ノ理論ナリ而シテ此道理ト一般代表主義トヲ調和セント欲セハ知
 リ易キ方法ニテ最貧者迄租稅ヲ及ボス事實ニ肝要ナリトス我英國及
 ヒ其他多クノ邦國ニ在テハ如何ナル勞力者ト雖モ茶、珈琲、砂糖等ヲ買
 フカ爲メ間接稅ヲ拂ハサル者ハアラザル可シ併シナカラ此ノ方法ニ
 テ公費ノ一部ヲ支出スル一ハ人民ノ殆ント之レヲ感セサル所ナリ去
 レハ之レヲ拂フ者教育アリ且ツ沈思熟考スルノ入ニ非サレハ直接稅
 ノ場合ノ如ク公費ノ輕減ト自己ノ利益トノ同一ナル事ヲ感スル一深
 カラズ然シテ縱ヒ之レヲ感スル一直接稅ノ場合ト同一ナリトスルモ彼
 必ス思慮セシ好シ多數ノ費用ヲ提出シテ之レヲ議決セシムルモ其ノ

入費ハ自己ノ消費物品ニ於ケル稅額ヲ増シテ之レヲ支出スルガ如キ
 一無カル可シト去レバ簡單ナル人頭稅ノ方法ニヨリ丁年以上ノ人々
 ヨリ一ノ直接稅ヲ徵收スル一層其宜シキニ適ス可キナリ然ラザレ
 バ尙ホ特別ニ賦課セラレタル租稅ヲ出サソ一テ承諾シタル人物ノミ
 選舉人タルヲ許ステ可トス若シクハ一國總支出ノ多寡ニ從ヒ増減ス
 ル年々ノ租稅ヲ各選舉者ヨリ徵收スベシ此ノ如クナレハ各人皆自己
 ガ議決スル金錢ノ一部ハ自己ノ者タルヲ感シ自ラ其額ヲ輕減スルヲ
 利益トスルニ至ラン
 ツレハ借テ置キ余ハ寺區ノ救濟ヲ受クルモノニハ必ス選舉權ヲ與フ
 ベカラスト思考セリ自己ノ勞働ニ由テ其一身ヲ支フル能ハサルモノ
 ハ他人ノ金錢ニ關スル特權ヲ望ム能ハサルベシ生活ヲナス爲メニ社
 會ノ人々ニ寄食スルモノハ其他ノ點ニ於テ他人ト同一ノ權利ヲ有ス

ルヲ能ハサルベシ此貧民ハ社會ノ公務ニ對シテ一錢ヲモ出スヲナク却テ之レヨリ扶助ヲ仰クモノナリサレバ彼等ヲシテ其生活ヲ繼カシムルノ恩人タル社會ノ人々ハ獨リ此公務ヲ處置セシテ要求スルモ決シテ不可ナルヲナシ此等貧民カ更ラニ選舉權ヲ得ル場合ニハ一ノ要件トシテ年限ヲ定ムルヲ要ス例ヘバ前五年間其人ノ姓名ガ受救者トシテ寺區ノ帳簿ニ記載セラレサルヲ一要件トスルガ如シ若シクハ破産條例ノ利益ヲ受ケタルモノハ其人ガ自己ノ負債ヲ償却シタルカ又ハ少クトモ現在及從來幾多ノ歲月ノ間慈善的ノ救濟ニ依賴シ居ラサルコトヲ證明シタルマテハ選舉權ヲ有スヘカラス租稅滯納モ頑然久シキニ涉リ不注意ヨリ起リタルモノト言フヲ得サル場合ニハ其不納間ハ選舉權ヲ停止スベシ以上列舉シタル例外ハ皆其性質ニ於テ永遠ナルモノニハアラスシテ之ヲ免レント欲セハ只各人が遂行シ得

ヘキ諸條件ヲダニナセバ可ナリトス此等ノ例外アルモ通常ノ有様ニ於ケル人々ハ皆選舉權ヲ有スルヲ得ルナリ而シテ今之ヲ有スル能ハサルノ人アラバ其人ハ自己ガナスベキ義務ヲ盡サスシテ選舉權ニ對シテ充分ナル注意ヲナサバカ又ハ其人ガ卑シムベク惡ムベキ有様アルニ依ル之ヲダモ脱却スレバ能ク此權利ヲ享有スルヲ得ベキナリサレバ吾人が今論述シタル制限ノ外ニハ一ノ制限モ之レナシト假定スルキハ幾多年月ノ后終ニハ彼ノ漸次減少スル種族即チ寺區ノ救濟ヲ受クルモノヲ除ケバ人々皆選舉權ヲ有シ些少ノ例外ヲ除ケバ選舉權全ク一般ナルニ至ルヲ期スベシ抑モ斯ク選舉權ヲ擴張スルコトハ既ニ論シタルガ如ク至善至良ナル政躰ニ取リテ實ニ必要ナル事項ニ相違ナキモ今日ノ情況ニ在テ選舉者ノ大多數ハ大抵勞力者タルベシ特ニ我英國ニ在テハ其然ルヲ見ルベキニ依リ政治上ノ智識極メテ低キ

ト種族的立法ヲ生スルトノ弊害ハ猶甚ダ危険ナル度ニ存在スベシ故
 ニ余ハ今ヨリ此等ノ弊害ヲ除ク所以ノ方策ヲ研究セントス
 此等ノ弊害ヤ真正ニ之ヲ除カント欲セバ能ク防禦ヲ得ベク而シテ之
 ナラスハ人爲ノ工夫ヲ假ルヲ要セズ只人事自然ノ道理ヲ行ヘバ能ク
 之ヲナスヲ得ン夫人事ニアリテ直接ニ利害ヲ有シ且ツ他人ノ保護ノ
 下ニアラサルノ人ハ皆其事ニ關シ意見ヲ述フルノ權利アルモノニシ
 テ而シテ此權利ノ執行ガ全軀ノ安寧ヲ妨ゲサル以上之ヲ奪フハ正義
 ニ合ハザルモノナリ各人が皆發言ノ權利ヲ有スベキコト此ノ如シト雖也
 而カモ各人が同一ノ發言權ヲ有スベシトノコトハ全ク之レト異リタル
 議論ニテ二者決シテ同一ナラズトス今此ニ或ル事務ニ關シ共同ノ利
 害ヲ有スル二人アリテ互ニ其說ヲ異ニスレバ此二者ノ意見ハ精
 密ニ同一ノ價值ナルベキコト果シテ公義ノ命スル處ナルカ否ナ決シテ

然ラズ若シ德義ノ點ニ於テ同一ナルモ其内一人ハ他人ニ比シ智能ニ
 於テ勝レリトモバ若シクハ智能ハ二人相均シキモ甲ハ乙ヨリ德義ニ
 於テ優レリトモバ道德上又智識上優等ナル人物ノ意見ト判斷トハ此
 二點ニ於テ劣レルモノ、意志ヨリモ一層ノ價值アルモノナリサレバ
 若シ一國ノ制度ニシテ實際此二者ヲ同一ノ價值ナリト斷定スルガ如
 キコトアラバ此制度ハ然ラサルモノヲ以テ然リト斷定スルモノナリ蓋
 シ二者ノ内一人ハ智者ナリ有徳ノ人ナルノ理由ヲ以テ其意見ノ一層
 重ゼラレシコトヲ求ムルノ權利ヲ有ス但シ其困難ハ二者ノ中何レガ智
 徳ニ於テ優レルカヲ定ムルコトニ在リ此事タル一個人間ニアリテハ實
 ニ出來得ベカラサルモノナリトスルモノ一團軀若シクハ多人數ニ就テ
 考察スルハ十分正確ニ近キ程度ニ於テ之ヲ判斷スルヲ得ベシ抑モ
 此理論ヲ以テ一私人ノ私權ニ關スル場合ニ適用セントスルガ如キハ

毫モ理由ナキノ事タル可ク只此二人中ノ一人ノミニ關係スル私事ニ於テハ縱ヒ他ノ一人ガ如何程賢明ナリトスルモ其人ハ毫モ之レニ顧慮ナズ自己ノ判斷ニ從フノ權アリ然レモ余カ今云フ所ハ全ク之レト異ナリテ二者等シク之レニ關係アル場合ナリ即チ若シ二者中愚ナル者賢ナル者ノ指揮ニ從フコトナクシテ賢者ハ遂ニ愚者ニ讓テ其指揮ヲ受ケサル可カラサル場合ナリ嗚呼此二者中何レガ最モ双方ノ利益トナル可キヤ何レガ最モ其事件ノ好處置テナスニ適ス可キヤ若シ二人ノ中何レカ一方ガ讓與セサルヲ得サルコト不正ナリトセバ不正ノ最モ大ナル者ハ善良ナル判斷ヲシテ惡シキ判斷ニ從ハシムルニアルカ將タ惡シキ判斷ヲシテ善キ判斷ニ從ハシムルニアル乎

サテ國家ノ政務ナル者ハ實ニ前述ノ共同事業ノ如キモノニシテ只ク其差異ハ何人モ自己ノ意見ヲ全ク犧牲ニセヨト望マル、ガ如キコト之

レナキノミ各人ノ意見ハ常ニ計算ノ中ニ入レラレ但シ一層ノ價值アルベキ意見ヲ有スル人々ノ投票ノミ多分ノ數字ヲ付セラルベシ此法タル勢力ヲ得ルコト少ナキ人々ニモ決シテ思ハベキモノニハアラサルナリ試ミニ思ヘ共同ノ事業ニ於テ全ク發言權ヲ奪ル、コト共同ノ利益ヲ監理スルニ優等ナル才能アリトテ一層有力ナル發言權ヲ他人ニ與フルコトハ唯ニ相違アルノミナラズ其差異タル比較スヘカラサル程ナリトス若シ他人自己ヲ無視シテ全ク計算外ニ置クガ如キコトアラバ何人ト雖モ侮辱セラレタリト思フノ權利アリ但シ他ノ意見自己ノ意見ヨリ一層ノ敬重ヲ受クルアレバトテ之レガ爲メニ發怒スルガ如キモノハ痴愚者ニアラサルヨリハ一人モ之レナカルベシ自己ノ幾分カ關係セル事柄ニ就キ毫モ發言權ヲ有セスト云フガ如キハ何人モ甘シセザル所ナルベキモ其事業ニシテ又他人ノ幾分カ關係アルモノナ

ラソコハ且ツ其人ニシテ他人ハ己レヨリ事務ニ明カナリトノ考ヲ抱
 キタラソコハ他人ノ意見ガ大ナル勢力ヲ得ンコト固ヨリ其人ノ望ム
 所ナルベク其他諸般ノ人事ニ於テ尋常ノ順序ト相合スルモノナル
 ベキナリ但シ此ノ大ナル勢力ノ他人ニ付與セラル、ハ他人モ理解ス
 ルヲ得又何人モ其公平ナルヲ認ムルヲ得ベキ道理ニ基カントテ要ス
 ルノミ

余ハ一時ノ苟且策トシテニアラサルヨリハ財産ニ由テ多分ノ勢力ヲ
 與フベシトノ議論ヲバ全ク不可ナリト思考ス固ヨリ余ハ財産カ一種
 ノ標準タルコトヲ許ス何トナレハ多クノ邦國ニ於テ教育ノ度富ト相比
 例セザルモ概シテ之ヲ富者ハ貧者ヨリモ之ヲ有スルコト多クレ
 バナリ然レモ此標準タル極テ不完全ナルモノト云ハザルヲ得ス人ヲ
 シテ富貴ノ地位ニ登ラシムルモノハ其資能ヨリモ寧ロ偶然ノ事故ニ

依ルコト多ク多分ノ教育ヲ受タリトテ之ニ應ジテ高等ノ地位ニ登ルヲ
 必スヘカラズ去レバ此基礎ニ依テ選舉ノ特權ヲ與フルハ常ニ極メテ
 嫌惡スベキモノナリ金錢上ノ資格アルモノニ多分ノ投票權ヲ與フル
 コトハ甚ダ不條理ナルモノニシテ又タ永ク保續シ難カラントス民主制
 少クトモ英國ノ民主制ハ今日ニ在テハ卓拔英俊ナル人士ニ對シ嫉妬
 ノ念ヲ有セズト雖モ若シ單ニ金錢上ニ基キ多分ノ權利ヲ與フルガ如
 キコトアラバ自然之ヲ嫉妬スルニ至ルベク且ツ之ヲ嫉妬スルモ亦尤
 モ正當ナルコト云フベシサレバ一人ノ意見ガ他人ノ意見ヨリ重ンゼ
 ラル、コト正當トスベキ唯一ノ基礎ハ只タ其人ニ屬スル心意上ノ秀
 拔ナルノミ而シテ之ヲ決スベキ方法コソ實ニ吾人ノ欠ク所ノモノ
 ナレ若シ真正ニ國家教育ト稱スヘキモノ存在スルカ又ハ信スルニ足
 ルヘキ一般試験ノ制度存在スルアラハ教育ノ度ハ容易ニ之ヲ測量シ

得べきモ苟クモ此等ノ方便存セザル場合ニ於テ稍ヤ標準トナスベキモノハ人々ノ職業ノ性質ニ依リ勞力ヲ使用スルノ事業家ハ勞力者ニ比スレハ大抵智識優レルモノナリ何トナレハ彼ハ單ニ其手ヲ動かスニ止マラス又其頭腦ヲ用ユルモノナレバナリ又工場ノ監督者ハ尋常ノ勞力者ニ比スレハ大抵智識優レルモノナリ熟練ヲ要スル職業ニ於ケル勞力者ハ之ヲ要セザル職業ニ於ケル勞力者ニ比スレハ一層智識アルモノナリ其他銀行家商人若クハ製造家ノ知キハ小賣商人ヨリモ一層ノ智識ヲ有スベキモノナリ何トナレハ彼等ハ一層大ニ且ツ一層錯雜セル事業ヲ管理スルモノナレバナリ此等ノ場合ニ於テ其人ハ資能アルト否トヲ檢スベキモノハ其人カ唯々優等ノ職業ニ從事セリト云フノ一事ニハアラスシテ能ク之ヲ成効セタリト云フ事柄ニ在リ此ノ理由ト又人々カ投票ヲ得ント欲シテ名義上ノミーノ職業ニ從

事スルノ弊ヲ防グ爲メ一定期限假令ハ三年間其職業ニ從事シタルヲ必要トスルコト蓋シ適當ナルベシ以上ノ如キ條件ニ依リ此等ノ優等ナル職業ニ從事シタル人々ハ二個以上ノ投票權ヲ與フルコト不可ナカルベシ名義ノミナラス實際ニ高等職業學者代言人等ノ類ニ從事スル人々ハ一層高等ヲ教育ヲ受ケタルコト勿論ニシテ其職業ヲ始ムル前ニ充分ノ試験若シクハ嚴肅ナル教育ヲ要スル場合ニハ直ニ數個ノ投票權ヲ與等ノ人ニ與ヘテ可ナルベシ之レト同一ナル規則ハ又大學ノ得業生ニ適用スルヲ得ベシ又高等學校ノ課程ヲ終リタル充分ナル説明書ヲ有スルモノニモ之レヲ適用スルヲ得ベシ但シ此場合ニハ其受業ガ名義上ノ口實ニアラスシテ實際ナルコトノ適當ナル保證アルヲ要ス校友ノ學位ヲ與フル爲メ「チックスフォールド」及ビ「ケンブリッジ」大學ニテ行ヘル「ローカル」又ハ「ミッドル」クラス「試験」ノ如キ及其他ノ完全ナル

學校ニテ行ハルベキ同一種類ノ試験ヲ通過シタル人々ニモ數個ノ投票權ヲ與ヘテ不可ナルコトナルベシ勿論以上述ヘタル議論ハ其細目ノ點ニ至テハ大ニ論議ヲ要スルモノモアルベク又反對ヲ招クヤモ知ルベカラズト雖モ此ニ之ヲ豫期シテ論議ヲ費スニモ及ハザルナリ斯ル方案ヲ實際ニ行フノ時期ハ未ダ來ラズ而シテ又余ハ余ガ前ニ述ヘタル特殊ノ意見ニ拘泥シテ之ニ制束セラル、コトナキヲ望ム然レモ余ハ信ズ代議政府ノ真正ノ標準ハ此方向ニアリテ存スルコト又信ズ最良ナル方便ニヨリテ之ヲ實行スルコトハ真正ナル政治改良ノ方針ナリルヲ

人アリ若シ此原則ハ如何ナル程度マデ之ヲ實行シ得ヘキカ即チ優等ナル資能ノ理由ヲ以テ一人ニ幾個ノ投票權ヲ與フベキカト問ハ、余ハ答テ曰ハントス之レ敢テ大ナル關係ヲ有スルモノニアラズ只其區

別ノ程度タル一般ノ良心ト理解力トガ之レヲ了知甘受スベキモノナリト要スルノミト但シ前章ニ於テ完美ナル代議制度ノ一要件トシテ説述シタル原則ノ制限ヲ越エサルコトハ服膺セザル可ラズ即チ數個ノ投票權ヲ一人ニ與フルコトハ如何ナル理由ニ依ルモ其利益ヲ受クル人々ガ之レニ由テ他ノ人々ヲ壓スルヲ得ル程ニ至ラレムベカラズ夫レ教育ノ爲メニ殊遇ヲナスハ其物自跡ニ於テ公正ナルノミナラズ又教育アル者ヲシテ無教育者ノ種族的立法ヲ免レシムル爲メ一層采ルベキノ理由アルベキモノナリ然リト雖モ此方法モ教育アルモノヲシテ自己ノ爲メニ種族的立法ヲ行フコトヲ得セシムル程甚シキニ至ルベカラズ余ハ又曰ハントス最貧者ト雖モ其人ガ智識ノ點ニ於テ之ヲ受クルニ足ルコトヲ證明シ得タルキハ之レニ數個ノ投票權ヲ有スルノ特權ヲ與フルコト複數投票制ノ極メテ必要ナル部分タルベシト則チ如何ナ

ル人々モ隨意ニ出席シ得ル試験ニ由テ其人ガ數個ノ投票權ヲ受クルニ充分ナル智識才能ヲ有スルヲ證明シ得ルヲ要ス何人ニテモ道理上之ヲ受クルニ必要ナル諸條件ヲ有スルヲ證明シタルモノハ之レニ特權ヲ與ヘタリトテ如何ナル人モ不正ナリトハ思ハサルベシ但シ必ズシモ正確ナラザル假定ニ基キ之ヲ與ヘテガラ明白ナル證據ヲ示スモノニ之ヲ拒ムキハ人皆ナ之ヲ不正ナリト呼バントス

複數投票ノ制ハ區會ノ選舉及ビ救貧委員ノ選舉ニ於テ行ハルト雖モ國會議員ノ選舉ニ付テハ新奇ノ事ニ屬スサレバ急速ニ且ツ人々ガ好ノテ之ヲ採用スベキト覺束ナシ然レモ早晚此方法若クハ平等ナル普通選舉ヲ行フノ外他ニ策ナキノ時機必ズ來ルベキヲ以テ後者ヲ欲セザルノ人ハ今ニ當リテ前者ヲ考究スルモ決シテ早キニ失スト曰フベカラズ又テ前述ノ議論ハ實際ニ適用シ得ベキモノニアラズトスル

モ原則上最良ナル者ヲ示メスニ有益ナルベク且ツ不完全ナガラ此目的ヲ達スベキ種々ノ間接ナル手段ニ就テ判斷ヲ導ビク處アルベキナリ一人ニシテ同一ノ選舉場ニ二個ノ投票ヲ提出セサルモ尙他ノ方法ニヨリ二票ヲ有スルヲ得ベシ乃チ二個ノ選舉區ニ於テ各一個ツヅノ投票ヲナスヲ得ベシ然リ而シテ此例外ノ特權ハ今日ニアリテハ智識ノ秀拔ヨリモ寧ロ財産ノ富有ニヨリ之レヲ與フト雖モ余ハ此方法ノ存在スル場合ニハ之ヲ廢スルヲ欲セズ何トナレバ教育ヲ驗スルノ一層真正ナル方法ガ採用セラル、マデハ斯ル不完全ナル方法トテモ之ヲ廢スルハ甚ダ不得策ナレバナリ抑モ此特權ヲ一層擴張シテ教育ノ多少ト一層直接ナル關係ヲ有セシムル方法モ亦之ヲ見出スニ難カラズ大ニ選舉ノ財産上ノ制限ヲ低クスベキ將來ノ改革案ニ於テハ大學校卒業生、高等學校卒業ノ人々、高等職業ヲ營ムモノ及ヒ其他ノモノニ

特別ニ投票權ヲ與ヘ且ツ自己ノ欲スル撰舉區ニ其投票ヲナスノ權ヲ
 附與スルコト蓋シ可ナルベシ而シテ此等ノ人々ヲシテ一個ノ公民トシ
 テ自己ノ住スル地方ニテ投票ヲナスノ權ヲ有セシムルコトハ勿論ナリ
 トス
 教育ノ度最モ低キ種族ノ勢力ニ對スルニ充分ナル優等ノ勢力ヲ教育
 アルモノニ與ワル復數投票ノ方法ガ工夫セラレ且ツ輿論ガ之ヲ行フ
 テ欲スルニ至ルマデハ充分ナル普通撰舉ノ方法ヲ行フテ利益ヲ取メ
 シト欲スルモ之レト共ニ却テ多分ナル弊害ヲ來タヌヲ免レザルベシ
 尤モ或ル特別ノ撰舉區ニ於テハ撰舉ヲ制限ヲ全廢シ又他ノ場所ニ於
 テハ現在ノ撰舉制限法ヲ維持スルカ又ハ變更ヲ加フル場合ニハ之レ
 ヲ伴隨シテ撰舉區ヲ合併スルトセンカ一方ニテハ代議士ハ主トシテ
 勞役者ノ撰出スル處タルベク一方ニ於テハ然ラヌシテ國會ニ他黨ノ

議員ヲ出スベシ之レ實ニ有リ得ベキコトガラニシテ且吾人が今日有
 様ヨリ真正ニ良好ナル代議政體ニ進歩スルニ當リ通過スベキ階段ノ
 一ナルベシ斯ル姑息策ニヨルキハ代議制度ノ不規則ナルコトハ依然ト
 シテ變セザルノミナラス却テ益増加スベシ然レモ此事タル未ダ以テ
 此方法ヲ駁スルノ充分ナル理由トハナスニ足ラズ何トナレバ若シ一
 國ニシテ整然タル方法ニテ正當ナル目的ニ從フコト能ハザル場合ニハ
 不規則ナル姑息策ナリトテ彼ノ規則正シキモ有害ナル目的ニ適セル
 制度ニ比シ大ニ優レリトシテ之レニ満足セザルベカラサレバナリ一
 層重大ナル駁論ハ則チ此方法ハ「ヘヤ」氏ノ方案ニ必要ナル各地方ノ
 撰舉區ヲ同一軌トスルノ組織ニ適セザルコトニカリ蓋シ此方法ニヨル
 所ハ撰舉者ハ皆自己ノ名姓ガ記入セラレタル一二撰舉區ノ内ニ閉鎖
 セラレ從テ其人ニシテ此等地方ノ候補者ヲ代議士トナスヲ欲セズン

ハ全ク代表セラル、ヲ得サルベシ
 余ハ彼ノ投票權ヲ有シナガラ多數ニ壓セラレテ其投票ノ全ク無効ト
 ナル人々ヲ救フヲ以テ極メテ肝要ナル事ト思考ス而シテ余ハ又「ヘヤ
 」氏ノ原則ニ由テ小數黨ノ其數ニ比例シテ代表セラルベキ平等ナル
 普通選舉ノ結果モ敢テ失望スベキ者ニ非ザルヲ願フモノナリ然レモ
 平等普通選舉ニ關スル最上ノ希望ニシテ實際在リ得ベキコト、スル
 モ尙ホ余ハ複數投票ノ制ヲ主張セザルヲ得ス彼ノ社會ノ一部ヲシテ
 投票ヲ有セシメザルガ如キハ只一層大ナル獎害ヲ防クニ必要ナル間
 ノミ許認シ得ベキモノナレモ此複數投票ノ制ノ如キハ全ク之レト異
 ナ其物自體ニ於テ善良ナルモノナリ之レニ反シテ平等投票ノ制ハ其
 物自體ニ於テ決シテ善良ナルモノニハアラス余ハ之ヲ以テ只比較上
 善ナリト云フノミ即チ偶然ノ事情ニ基ケル不平等ノ特權ヨリハ弊害

少シト云フニアルノミヨシテ此制スル原則ニ於テ不可ナルモノナリ
 何トナレハ不良ナル標準ヲ是認シ選舉者ノ心中ニ惡結果ヲ及ボスモ
 ノナレハナリ夫レ一國ノ制度ガ無智無識ノモノヲ以テ智識アルモノ
 ト同等ノ政治上ノ權力ヲ有スベシト宣言スルハ有益ナラズシテ却テ
 有害ナリ一國ノ制度ナルモノハ之レニ關係セル萬般ノ事項ヲ正當ニ
 評判シテ之レヲ國民ニ示スヲ要ス而シテ國民ヲシテ何人モ或ル勢力
 ヲ有スレモ有徳有識ノ士ハ他人ヨリモ多分ノ勢力ヲ有スベキモノナ
 リト思考セシムルニ必要ナルヲ以テ國家ハ此道理ヲ公言シ國家ノ制
 度ヲシテ之ヲ躰セシムルヲ要ス此等ノ事件ハ實ニ一國制度ノ精神ヲ
 ナスモノナリ而シテ此制度ノ精神ナルモノハ普通ノ學者特ニ英國ノ
 學者ハ之ヲ輕視シテ其勢力アルヲ思ハスト雖モ元來制度ナルモノハ
 其精神ニヨリ一國ノ性質ヲ形成スルモノナレバ其影響ハ制度ノ各條

項ヨリモ遙カニ大ナルモシトス米國ノ制度ハ何人モ(白人ナレバ)他人ト同一ノ權利アリトシ考ヘテ米人中ニ浸染セシメタリ而シテ此認見ハ米人ノ氣質中ニ層不都合ナル諸欠點ヲ生シタル原因ニシテ二者ノ間密接ノ關係アリトハ人ノ信スル處ナリサレバ如何ナル國ノ制度ニテモ斯ル意見ヲ可認スルカ如キコアラバ其弊害鮮少ナラストナス何トナレバ斯ル信仰ハ道德上及智力上ノ發達ニ有害ナルコト極メテ甚クシカレバナリ

然リテ雖モ人或ハ曰ハシ智識アルモノニモ無智ナルモノニモ同等ナル勢力ヲ與ウルノ制度ハ進歩ヲ助成スル何トナレバ智識アルモノニ常ニ無智ナルモノニ其意見ヲ訴ヘサルヲ得ズ從テ無智ナル輩モ其心意上ノ能力ヲ練習スルコトヲ得ク又智識アルモノシカ彼等ノ判斷ヲシテ明カナラシメ彼等ノ謬見ト偏僻心トヲ除去スル爲メ盡力セザルヲ

得ザルヲ以テ此等ノ事情ハ皆彼等ノ智識ヲ進ムルノ強大ナル刺激トナルベクシバナリト夫レ智識卑下ナル輩ヲシテ或ル權力ヲ有セシムルヤ此最も好マシキ結果之レニ伴フベキコト余モ亦タ是認スル處ニシテ己ニ充分ニ之ヲ論述セリ然レバ彼等ニシテ全力ヲ有スルヤ之レト反對ナル影響ヲ生ズルコト理論並ビニ實際ノ證明スル處トス乃チ其人ノ君主タリ貴族タリ若シクハ平民タルヲ問ハス萬事ニ關シテ全權ヲ有スルモノハ最早道理ヲ武器ヲ用ユルノ必要ヲ感セズ彼等ハ自己ノ意志ヲシテ勢力ヲ有セシムルヲ得ベシ而シテ其欲ナキ權力者ハ普通自己ノ意見ヲ以テ満足シ其説ヲ變スルヲ欲セズ其説ヲ以テ不長ナリト論スル人々ノ意見ヲ聞クヲ欲セサルナリサレバ智識ノ發達ニ最も強大ナル刺激ヲ與フルノ地位ハ權力ヲ行フノ地位ニアラズシテ權力ニ上ラントスルノ地位ニアルナリ換言スレバ最良最高ノ資能

之發達セシムルノ地位ハ其力能ク道理ヲ行ハレシムルニ足レドモ
 道理ニ反シテ自説ヲ行フニ足ラサル人々ノ地位ニアルナリ即チ吾人
 其説述シタル原則ニ從ヒ貧者富者智者無智者及ヒ其他國中ノ諸種族
 皆有不平ノ地位ハ前述シタル最好ノ地位ニ外ナラズ而シテ此原
 則ニ優等者ノ心意主ノ能力ヲ有スル人々ニ多分ノ勢力ヲ與フルノ原
 則トシテ結合スルルハ政治組織ハ此錯雜セル人事ニ於テ行ヒ得ベキ比
 較上最良完備ノ形狀ニ達スルヲ得ベキナリ
 前ニ述ベタル等差アル普通選舉ノ議論ニ於テハ余ハ男性女性ノ區別
 ニ就テ毫毛論スル處ナカシキ余ハ元來此區別ヲ以テ猶ホ身長ノ相違
 又ハ髮色ノ相違ノ政治上ノ權利ニ關シテハ全ク不用ナルガ如キモノ
 ナリト思考ス總テノ人類ハ皆善良ナル政治ニ對シテ同一ナル利害ヲ
 有テ政治ニ如何ニ依リテハ何人モ其幸福ニ影響ヲ蒙ルモノナレバ從

ク自己ノ利益ヲ保護スル爲メ何人モ皆等シク政治ニ關シテ發言ノ權
 アルヲ要ス若シ果シテ三者ノ間ニ差異アリトセバ女子ハ男子ヨリモ
 一層之ヲ要スルナリ何トナレバ其身軀ノ組織之ヲ男子ニ比シテ軟弱
 ナルヲ以テ女子ハ保護ノ爲メ法律及社會ニ依頼スルコト一層大ナレバ
 ナリ實ニ人類ハ已ニ久シキ以前ニ於テ女子ハ選舉權ヲ有スベカラズ
 本ノ結論ヲ與シタルニ足ルベキ唯一ノ前提ヲ放棄シタリ何人ト雖モ今
 日ニ於テ女子ハ奴隸ノ境遇ニアルベシトノ議論ヲ主張セサルナ
 リ何人ト雖モ女子ハ一ノ思想一ノ希望一ノ職業ヲダモ有スベカラズ只
 宜シク其良人其父若シクハ其兄弟ヲ爲メニ家内ニアリテ勞役ニ服ス
 べきモノナリトハ主張セザルナリ知ラズヤ獨接ノ女子ハ既ニ男子ト
 同シク財產ヲ所有シ又金錢上若シクハ業務上ノ事ニ就テ利益ヲ有ス
 ルヲ許スレバ則チ女子面シテ有夫ノ女子ニ許ス亦殆ンド差支ナキ

ナリ世人ハ皆謂ハク女子モ亦事理ヲ推考シ之ヲ筆シテ世ニ公ケニ
 シ又教師トナルモ不可アルナシト嗚呼以上ノ諸事ニシテ既ニ不可
 ナキ以上ハ政治上之ヲシテ無資格ナラシムルノ議論ハ毫モ由ルベキ
 道理ヲ有セズ社會ガ各人ニ對シテ其適當ナル事業ノ何ナルカヲ定メ
 且ク其企圖スルヲ得ベキ事業ヲ決スルノ權利ハ近世社會ノ思想ハ極
 メテ之ヲ排斥ス若シ近世政治學及經濟學ノ原則ガ萬事ニ適用シテ誤
 ラサルモノトセンカ此等ノ原則ハ實ニ以上ノ如キ事柄ハ各人自ラ之
 ヲ決スルヲ得テ始メテ正當ナルベキヲ證シ又事業ヲ撰ムノ自由完
 全ナル場合ニハ人々ノ氣質自ラ異ルニ從ヒ其大多數ハ自己ノ最モ適
 當ナル職業ニ從事スベク例外ナル生涯ハ例外ナル人ノミ之ヲ行フベ
 キヲ證スルナリサレバ近世社會改良ノ傾向ニシテ不可ナルモノナ
 ラシニハ乃チ己ニ若シ果シテ然ラズトセバ此傾向ハ十分之ヲ擴充シ

テ人々ノ或ル正當ナル職業ニ就クヲ禁スルノ主義ヲ全廢スルヲ至當
 ナルベシ
 然レモ女子ガ選舉權ヲ有セザルベカラザル理由ヲ證明スル爲メニハ
 斯クマデ論究スルヲモ要セザルナリ女子ガ家内ノ業務ノミヲナシ一
 家ノ威權ニ屈從スベキ從屬的種族タルベシトノ議論ハ元ヨリ不可ナ
 ルモノナレモ今之ヲ以テ假リニ可ナリトスルモ女子ハ他ノ威權ノ濫
 用ヲ防ク爲メ選舉權ヲ保護シ必要トスルヲ一毫モ少ク度ヲ減セザル
 ナリ男子モ猶女子ト等シク自ラ支配スル爲メニ政權ヲ要スルモノニ
 ハアラズシテ只他人ヨク惡シキ支配ヲ受ケザル爲メニ之ヲ要ス思フ
 ニ男子ノ多數ハ終生農夫又ハ工夫ニテ終ランノミ然レモ選舉權ヲ濫
 用セザル限リ彼等ガ其權ヲ求ムルヲ以テ理由ナシト云フヲ得ズ然
 リ而シテ女子ガ選舉權ヲ善用スベシトハ何人モ思考セザル處ニアラ

ズヤ之ヲ非難スルノ最モ甚シキモノモ只彼等ガ其親姻男子ノ求メニ
 應シ之レカ屬隸トナリテ投票スベシト云フニ過キズ然レモ吾人ハ謂
 ヘタク若シ果シテ此ノ如クナラバ斯ノ如クトシテ可ナリ今女子ニシ
 テ自己ノ思想ヲ發揮セシムハ大ナル利益之レアラソ假ハ然ラサルモ
 一害ナシ人歩行スルヲ願ハザルモ之レガ足械ヲ除クハ其人ニ取テ一
 大利益ニアラズヤト若シ從來法律ニ依リ人類ノ大事ニ關シテ意見ヲ
 述ベ撰擇ヲナスヲ得ストセラレタルノ女子ガ最早其禁ヲ解カル、キ
 ハ是レ既ニ女子ノ地位ニ一大進歩ヲ致シタルモノナリ之ヲ各個ノ女
 子ニ就テ見ルニ其親姻ノ男子ガ得ント欲スルモ而カモ奪フ能ハサル
 モノヲ有スルハ多少ノ利益タルベシ又良人ガ其妻ト撰擧ノ事項ヲ議
 論セサルヲ得ズ從テ投票ガ良人一人ノ事務タラズ夫妻共同ノ事務ト
 ナルコトモ亦決シテ小利益ニハアラズトス且ツヤ妻ガ其良人ヨリ獨立

シテ世事ニ付テ或ハ行爲ヲナスヲ得ルニ至ルキハ世人之ヲ見テ其妻
 ナ重シ之ヲ敬フノ度ヲ増スニ至ルベシ元來妻タルモノハ其一身ヲ以
 テ夫ノ隨使ニ供スルモノナレバ假令如何ニ一身上ノ資能ヲ有スルモ
 能ク尊敬ヲ受クルヲ得サルヘシト雖モ若シ以上ノ事アレバ夫ハ之ヲ
 尊敬スルニ至ルナリ世人ハ之ニ關シ充分ノ思慮ヲナサズト雖モコレ
 實ニ著大ナル事項ナリトス然リ而シテ此ノ如クナレバ投票其物モ亦
 其性質ヲ改良スルニ至ラン即チ夫ハ屢自己ヨリモ一層公正不偏ナル
 妻ヲシテ自己ト共ニ盡力セシメンガ爲ニ其投票ヲナスニ當リ公平ナ
 ル論據ヲ求メサルヲ得サルヘシ換言スレバ妻ノ勢力ハ屢夫ヲシテ其
 誠實ナル意見ニ背カサラシムルノ効ヲナスベキナリ勿論此勢力ハ屢
 公利ノ爲メニ用井ラレスシテ却テ一己ノ利益又ハ一家族ノ虛譽ノ爲
 メニ用井ラル、コトモ之レアルベシ然レモ妻ノ勢力ニシテ斯ル傾向ヲ

有スル場合ニハ妻ニシテ選舉權ヲ有セズトモ其勢力ハ充分ニ有害ナルベク然カモ其行ハル、ヤ一層確然タルベシ何トナレハ今日ノ法律及ヒ習慣ノ下ニ於テ妻ハ政治トハ全ク關係ナキモノナレバナリ乃チ妻ハ其心中ニ政治上ノ名譽ナルモノヲ有セズ而シテ大概ノ人ハ他人ノ名譽ニ關シテ殆ド同情ヲ有セサルヲ猶他ノ宗教ヲ奉スルモノ、宗教上ノ感情ニ付テ冷淡ナルガ如クナレバナリ今女子ニ與フルニ投票權ヲ以テセバ政治上ノ名譽ヲ思フニ至ル彼レハ政治ヲ以テ自己ガ意見ヲ述ベ得ベキ事柄ナリト思フニ至リ又自己ニシテ意見ヲ有スレバ其意見ハ政治上ニ影響セシムルヲ要スルヲ知ルニ至ルベシ彼レハ政治上ニ關シテ一身上責任アルノ思想ヲ有スベク又今日ノ如ク夫ニ對シテ如何ニ有害ナル勢力ヲ行ヒ夫ヲ説伏スルヲアルモ其責任ハ夫獨リ之ヲ負ヒ己ハ毫モ關係ナシト思フガ如キヲハ之レナキニ至ルベ

シ妻ニシテ男子ノ政治上ノ良心ニ妨害的ノ勢力ヲ行フヲナカラシムルノ策ハ只妻ヲシテ自ラ己レノ意見ヲ定メ又其事ニ關スル道理ヲ能ク理解セント務メシムルニアルノミ妻ノ間接ナル勢力ガ政治上ニ有害ナルヲ防カント欲セバ只之ヲ變シテ直接ナル勢力トナスニ在ルノミ
余ハ選舉權ガ一身上ノ條件ニ由ルト假定シテ立論シタリ然レモ我英
國及他ノ諸國ニ於ケル如ク選舉權ガ財産上ノ條件ニ基ク場合ニハ撞
着ハ一層顯著ナルヲ見ル女子ガ男子ノ選舉者ニ要スル諸般ノ資格ヲ
有スル場合乃チ一家ヲ有シ一家族ノ長タリ且ツ租稅ヲ納メ其他一切
ノ條件ヲ供フル場合ニ當リ忽チ財產主義ノ選舉法ヲ棄テ只此種ノ女
子ノ權利ヲ奪ハンガ爲メニ特別ニ一身上ノ無資格ヲ造ルガ如キハ背
理ト云フモ愚ナルトモナリ然リ而シテ此背理ノヲチナス所ノ國ニ

在リテ今王位ヲ踐ムモノハ實ニ一個ノ女子ナルヲ見又此國ヲ統御シタル最モ赫々タル君主モ亦實ニ一女子タルヲ思ヒナバ此事ノ道理ニ反シ正義ニ反スル一ハ明々火ヲ賭ルガ如クナラソ吾人ハ希望ス獨占及虐政ヲフ頽閣ノ古趾ヲ順次破壊シ去ルノ大業ガ漸ク其歩ヲ進ムルノ間ニ在テ此弊害ガ最后ニ消滅スルモノニテアラサラン一テ彼ノ「ベンザム」氏「サミュエル」氏「ヘヤ」氏及ヒ其他現世紀ニ生レ此ノ國ニ出タル最モ有力ナル政治論者ノ多數ノ（暫ク其他ヲ言ハサルモ）懷抱シタル意見ガ利己頑僻ノ念ヲ有セサル一般ノ人々ニ容ラレン一テ而シテ今三十年ヲ出テサル前ニ男性女性ノ區別ハ女子ヲシテ一國民ノ有スベキ平等ナル保護ト公正ナル特權トヲ有セシメサル充分ナル口實トナラスト信セラル、一猶皮色ノ差異ノ如クナラン一テ

第九章 撰舉ハ二重ナルベキヤ否

二三ノ代議制ニ於テハ二重ノ手續ニテ代議士會ノ議員ヲ撰舉スルノ方法ヲ採用セリ即チ先ツ只議員撰舉者ナルモノヲ撰舉シ此議員撰舉者ヲシテ國會ノ議員ヲ撰マシムルナリ此方法タル其企圖スル所ハ蓋シ人民ノ感情時ニ激昂シ爲ニ大事ヲ誤マル一アラソテ恐レ幾分力之ヲ防止セソトスルニ在リ此法ハ多數黨ヲシテ撰舉ニ勝テ得セシメ隨テ終局ノ大權ヲ握ラシムルモ此多數黨ヲシテ自ラ事ヲ行フヲ得セシメズ必ラズヤ比較上少數ナル代理者ノ手ヲ經テ之ヲ執行セシムル者ナリ而シテ議者以爲ク此等ノ代理者ハ世情激昂ノ爲メニ動かササル一彼ノ平民ヨリ少カルベシ且ヤ撰舉者ハ數多ノ人士中ヨリ撰擢シタル者ニシテ智能性質共ニ他ニ超ユルノ人々ナルベケレバ隨テ其撰舉ハ自ラ鄭重ニシテ又明敏ナルベク又此等人士ハ義務責任ノ感情ヲ懷

クフ之ヲ人民自ラ選舉スル場合ニ比スレハ一層深カルベキナリトサ
 テコノ方法タル中間ニ一ノ團體ヲ置テ以テ人民ノ選舉ヲ精當ナラシ
 ムル者ニシテ大ニ道理アル者ノ如ク何トナレバ議員タルニ最モ適任ナ
 ル人ハ誰ナルカヲ決スルハ實ニ難事ニ屬スレド自己ノ知人中ヨリ國
 會議員選舉ノ事ヲ托シテ最モ安心ナルベキ人ヲ判斷スルニハ智識能
 カヲ要スル稍少カルベキ一ハ一應尤モナルガ如キ事柄ナレバナリ
 然リト雖モ若シ人民ノ權力ニ固有ナル危害ニシテ此ノ間接ノ方法ノ
 爲メ幾分力之レヲ減スルコトヲ得ベシトモハ民主權ノ利益モ亦大ニ
 其効力ヲ減スルヲ免レズ而シテ此制ガ民主ノ利益ヲ減スルノ害ハ其
 弊害ヲ輕フスルノ利ヨリモ寧ロ一層確實ナルベシ思フニ此制度ヲシ
 テ望ミ通りノ効果ヲ奏セシメント欲セバ其實施モ亦此制度ノ精神ニ
 背カザルコトヲ要ス即チ公衆ハ此理論ニテ假定シタル如ク只代議士人

撰ノ事ヲ托スルニハ何人コソ最モ可ナルヤヲ思慮考察シテ代議士タ
 ルベキ人物ニ關シテハ全ク措テ之ヲ問ハサルヲ要スサレバ間接制度
 ニ特有ナリト人々ノ想像スル利益ヲ收メント欲セバ必ラズ人民ノ此
 氣質ヲ具フルヲ要シ人民ニシテ己レノナスベキ一ハ只中間撰舉者ヲ
 撰ムニ止テ議員其人ヲ撰ムニ非ズトノ主義ヲ取ルニ非レバ不可ナリ
 トス即チ人民ハ政治上ノ主義政策又ハ政治家ノ人物等ニ留意セズ只
 或ル人士ニ信任ヲ置キ其人ニ與フルニ自己ノ爲メ事ヲナスノ全權ヲ
 以テセザルヘカラス然リト雖モ若シ第一ノ撰舉者即チ一般人民ニシ
 テ自己ノ地位ヲ見ルト果シテ此ノ如クナルモハ之レニ投票發言ノ權
 ヲ與ヘタル一大目的ハ全ク之ヲ達スルヲ得サルベシ即チ人民ヲシテ
 公務ニ從事セシムルモ依テ以テ公共心ト政治上ノ智識トヲ養成スル
 一能ハズ人民ヲシテ政治ニ熱中セシメ又其資能ヲ政務ニ用弁シムル

ヲ得ザルナリ加之此假定タル其意義ヲ討究スルハ矛盾撞着實ニ夥
シトス夫レ公衆ニシテ最后ノ結果ニ關シ毫モ利害痛痒ヲ感セズトセ
バ如何ソソ之ニ至ルノ手續タル中間選舉ニ留意スルノ理アラソヤ甲
又ハ乙ヲシテ國會ノ代議士ヲラシメント欲スルノ念ハ德義才能共ニ
尋常ナル人々ニモアルヘキトシテ隨テ中間選舉者ヲ選舉スルノ際
ニモ斯ル人士ヲ代議士ニ撰ムベキ人物ヲ舉テ之ニ選舉ヲ托セント欲
スルノ念ハ尋常一般ノ人モ亦タ之ヲ有スベキト實ニ自然ノ結果ナリ
トス然レドモ若シ其人ニシテ毫モ何人ガ議員トナルベキヤヲ顧慮セ
ズ又ハ己レハ全ク此事ヲ度外ニ置キテ只代議士ヲ撰ムニ最モ適シタ
ル人物ヲ指名スルノ事ニノミ利害ヲ感スベキ者ナリトノ思想ヲ抱ク
場合ニ當テハ苟クモ正理公道其者ヲ切愛シ己レノ義務責任ヲ知ルノ
人ニ非ルヨリハ決シテ其任ヲ盡ス能ハサルベク而シテ此事タル高等

ノ教育ヲ受ケタル人士ニノミ望ミ得ベキ事柄ナレバ既ニ充分智能ヲ
有スル人士ナラソニハ一層直接ナル方法ニテ政治權力ヲモ與フルモ
決シテ不都合ナルベキコト理ノ最モ看易キ處ナリサレバ中間選舉
者ノ選舉ハ人民全般ニ委任シ得ベキ諸公務ノ中ニテ人民ノ感情ヲ鼓
舞スルノ最モ少ナク人民自ラ己レノ良心ヨリ其義務ヲ執行セント決
定スル場合ヲ除ケバ人民ヲシテ之レニ注意セシムルノ最モ少カルベ
シ而シテ若シ選舉者全軀ニシテ善ク政治ニ意ヲ注キ其政務ニ參與ス
ルト此ノ如ク其レ狹隘ナルモ尙之ヲ重シ之ヲ貴ブガ如キトアラバ
此人民ハ一層廣キ政權ヲ得ズシテ満足スルトハ恐ラク之レアラザル
ベシ
今ヤ暫ク一步ヲ讓リ人或ハ代議士撰任ノ事ヲ委スベキ人物ノ正廉ト
能力トヲ充分辨別シ得ベキモ智識淺薄ニシテ能ク代議士タルニ要用

ナル資能ヲ判スル能ハズトセンニ尙間接法ノ取ルニ足ラサルヲ見ル
何トナレバ若シ第一撰舉者ニシテ全ク代議士ノ資能如何ヲ判スル能
ハズ眞實其信任スル人物ヲシテ撰擇ヲナサシメント欲スル場合ニハ
此目途ヲ達スル爲メニ殊更ニ憲法上ノ條規ヲ置クノ必要ナクレバナ
リ撰舉者若シ之ヲ欲セバ只私ニ信任スル人物ニ向テ如何ナル人物ヲ
撰ムヲ可トスルヤヲ諮詢スレバ則チ足ラソノミ故ニ此場合ニ於テハ
間接直接ノ二法何レヲ取ルモ其結果同一ニシテ間接撰舉ニヨリ得ベ
キ利益ハ直接撰舉ニアツテモ皆之ヲ享受スルヲ得ベキナリ此二法ガ
各其働キヲ異ニスルハ只撰舉者ガ自ラ代議士ノ撰舉ニ關シテ判斷ス
ル處アラント欲スルモ法律上自ラ之ヲナスヲ得サルガ爲メ他人ヲシ
テ己レニ代テ撰舉ヲ行ハシムルニ過キサルノ場合ニアリ然レモ若シ
撰舉者ニシテ法律ノ定ムル制限ニ從ヒ事ヲナスヲ欲セス直接ノ撰舉

ヲナサント欲スルコト果シテ斯ノ如クナラバ撰舉者ハ更ラニ法律ノ如
何ニ係ラズ之ヲナスヲ得ベシ即チ間接撰舉ノ場合ニテモ撰舉者其撰
マント欲スル候補者ノ黨人ヲ舉ケテ以テ中間撰舉者トナセバ充分ニ
其目的ヲ達スルコトヲ得ベキナリ而シテ二重ノ撰舉ナル者ハ斯ル有名
無實ノ有様ニ至ルコト實ニ必然ノ勢ヒニシテ人民全ク政治ニ冷淡ナル
場合ニ非レバ之レナキヲ望ムモ殆ンド得可ラサルノコトナリトス合衆
國大統領撰舉ノ實際ヲ見ルモ亦實ニ斯ノ如シ名義上ニ於テハ撰舉ハ
間接ニシテ公衆一般ハ大統領ヲ投票セズ只大統領ヲ撰ムベキ中間撰
舉者ヲ撰舉スルノミナレモ實際此中間撰舉者ナルモノハ當ニ或ル候
補者ヲ投票スベシトノ盟約ヲテシテ撰舉セラル、ヲ得ルニ止リ公衆
モ亦タ其人物ヲ信任スル爲メ之ヲ舉テ中間撰舉者トナスガ如キコトナ
シサレバ中間撰舉者ニシテ偏ク國中ヲ尋テ大統領又ハ代議士タル

ニ適當ナル人物ヲ求メ出ス譯ケナラバ多少論議スベキモノアルベシト雖モ選舉者ノ撰マル、ヤ決シテ斯ル目的ニ出ル者ニアラズ且ツ世人皆アラトト等シク權力ヲ委スルニ適任ナル人物ハ之ヲ受クルヲ好マサルト最モ甚シキノ人ナルトヲ信スルニ至ラザル以上ハ到底此事ナカルベキナリ即チ中間選舉者ハ只候補者トシテ現ハレ出テタル人々ノ中ニ就テ選擇ヲナスニ止リ而シテ此等候補者ノ人物ノ如キハ公衆一般モ亦タ既ニ熟知スル處タリサレバ人々政治ニ熱中スル國ニ在テ苟クモ選舉ヲナザント欲スルノ人士ナラシムルハ必ラズ此等候補者中ニ就テ己レノ出サント欲スル人物ヲ決シ只之ニ從テ其投票ヲナスベキナリ各候補者ノ黨員ハ豫メ其候補者ヲ撰ムベキ中間選舉者ノ名籍ヲ調製スベク公衆ハ其中ニ就テ取捨ヲ決スルノミ

二重選舉ノ制ガ實際ニ於テ好果ヲ奏スル場合ハ中間選舉者ガ只選舉

ノミノ爲ニ撰出セラレズシテ猶他ニ緊要ナル職務ヲ有スルノキニアリ合衆國ニ於ケル元老院(議員撰出)ノ方法ハ實ニ此種ノ情況ヲ例證スルモノタリ元老院ハ國會ノ上院ニシテ直接ニ人民ヲ代表セズ諸州ヲ代表スルモノニシテ各州ノ有スル諸大權ヲ保護スルモノナリト思惟セラレ、ナリ而シテ合衆國ハ元ト均一平等タル諸邦ノ聯合ニナレルヲ以テ各邦ガ其内部ニ對シテ有スル主權ハ其州ノ大小輕重ニ關セズ等シク神聖ナルモノトシ從テテラウエーヤノ如キ小州ニテモ亦紐育ノ如キ大州ニテモ同シク二人ノ議員ヲ元老院ニ出サシムルノ制度ヲ採レリ此等ノ議員ハ人民自ラ之ヲ撰マスシテ州ノ立法院之ヲ選舉ス而シテ此立法院ナルモノハ元ト各州人民ノ選舉ニナレルモノガ通常取ル法律ヲ制定シ行政部ヲ制御スル等凡ソ立法議會タルモノガ通常取ル所ノ職務ハ皆此院ノ司ル所タルヲ以テ人民ノ之ヲ選舉スルニモ此等

ノ事務ヲ主眼トシ議官選舉ノ職業ノ如キハ自ラ之ヲ第二位ニ置クノ
傾キアリ從ツテコノ州立法院ハ元老院議官ヲ撰ムニ當リ大抵只廣ク
輿論ノ如何ヲ顧慮スルノミニテ全ク自己ノ判斷ニヨリ之ヲナセリ此
種ノ選舉タル實際頗ル好果ヲ得元老院ハ常ニ有名ナル政治家中最モ卓
越シタル人々ヨリ成立シ合衆國ニ於ケル諸ノ選舉法中此選舉ニ若ク
者ナキ有様ナリ

既ニ斯ル實例アル以上間接選舉ハ不利益ナリトソモハ云フ可ラズ或
ル條件ノ具備スル場合ニハ諸般ノ制度中最良ノ者ナリト云フベシ然
レモ此等ノ條件タル合衆國ノ如キ聯邦政府ノ國ニ於テハ選舉ノ事務
ヲ學ケテ其他ニ重大ナル公務ヲ有スル地方ノ團躰ニ委スルヲ得ルヲ
以テ實際或ハ具備スルコト之レアルベキモ其他ノ國ニ於テハ斯ル場合
ヲ見ルコト殆ンド是レ莫ルベシ英國ニ於テ此州立法院ト稍同一ノ地位

ニ立ツモノハ市會若クハ地方ノ事務ヲ行フ他ノ集會ナレバ今此等ノ
團躰ヲシテ下院ノ議員ヲ撰マシメタリトテ別ニ國會ノ組織ヲ改良シ
タリモ思ハレズ夫レ此等ノ團躰タル地方ノ事務ヲ行フニモ充分適當
ナリトハ云フ可ラザルモ今暫ク地方ノ事務ニハ適任ナリトシテ見ル
ニ一地方一郡邑ノ些細ナル事務ヲ行フニ適當ナル者ハ未ダ必ラズシモ
國會議員候補者ノ技量ヲ判定スルニ適當ナリトハ言フベカラズサレ
ハ此團躰ニシテ選舉ノ事務ヲ取ルモ人民自ラ之ヲナス場合ト別ニ異
ル處ナカルベク若シ又市郡ノ評議員ヲ撰ムニ當テ其人物ノ議員ヲ推
撰スルニ適當スルヤ否ヤヲ問フガ如キコトアラバ地方ノ細務ヲ取ルニ最
モ適當ナル人物ハ多ク之ガ任ニ當ルヲ得サルベシ即チ單ニ一般ノ政
務ニ關シ自己ト同主義ナル人ヲ撰マントスルモ之レガ爲メニ斯ル結
果ヲ來タスベキナリ市會ガ與フル間接ナル政治上ノ影響モ猶ホ市會

ノ選舉ヲシテ黨派上ノ争ヒタラシメ以テ其本來ノ目的ヲ離ル、ト大
 ナラシメタルニ若シ之ニ加フルニ議員選舉ノ職ヲ以テセバ其結果果
 シテ如何ソヤ自己ノ執事ヲシテ醫師ヲ撰バシムルモ自ラ之ヲ撰ブ
 ニ勝ルノ理ナシ執事ヲシテ之ヲ爲サシムルモ其執事ヲ撰ムニ當リ
 此事務ヲモ托シテ差支ナキノ人物ヲ取ルヲ要スルヲ以テ撰任ノ區域
 自ラ狹隘ヲ來タスノ不便アルニ止ルベシ
 此ニ由テ之ヲ見レバ間接選舉ノ利益ニシテ實際之ヲ收ムルヲ得ベキ
 モノハ皆直接選舉ノ下ニ於テモ之ヲ收ムルヲ得ベク人々ガ其利益ナ
 リトスルモノノ中直接選舉ニ於テ收ムルヲ得ベカラサルモノハ間接
 選舉ニ依ルモノ之ヲ達スルヲ得サルベシ之ニ反シテ間接選舉ナル者ハ
 之ニ固有セル幾多ノ著大ナル不便アリ此制度ハ政治機關ニ無用ナル
 車輪ヲ添ユルモノニシテ而シテ此事タル輕々ニ看過スベカラサルノ

點ナリトス前ニモ述ベタル如ク此制度ハ公共心ヲ養成シ政治上ノ智
 識ヲ開發スルノ方便トシテ之ヲ見レバ著シク他ニ劣ルモノニシテ若
 シ此制度ニシテ實際ニ其働キヲナシ一般人民皆議員選舉ノ事ヲ學ケ
 テ盡ク中間選舉者ニ委スルコトアレバ人民ハ其代議士ト同感同情ヲ抱
 クコトナク又代議士モ其選舉人ニ對シ義務責任ヲ感スルコト自ラ薄カル
 ベシ加之結局議員選舉ノ勝敗ヲ左右スルモノハ比較上少數ナル人士
 ニアルヲ以テ陰謀術計自ラ行ハレ易ク又此中間選舉者ノ自分地位ニ
 相應ナル諸種ノ賄賂苞苴ハ之ヲ行フコト極メテ容易ニシテ其有様猶今
 日ノ小選舉區ニ於ケルト毫モ異ル處ナク此少數人士ノ歡心ヲ得ルモ
 ノハ當撰スルコト必定ナルベキナリ人或ハ謂ハシ中間選舉者ハ一般公
 衆ニ對シテ責任ヲ負フヲ以テ此弊ナカルベシト然レモ此選舉者ハ一
 時限ノモノニシテ永久ニ公務ヲ取り公ケノ地位ニ立ツモノニアラサ

レバ假令賄賂ヲ取リテ投票ヲナスモ別ニ失フ所ナキガ故ニ之ヲシテ更ラニ躊躇セシメサルナリ勿論斯ル不正ノ事ヲナセハ再ビ選舉者ニ撰バル、コナカルベシト雖斯ル事ハ此輩が更に顧慮セザル處ナルヲ以テ毫モ之ヲ掣肘スルニ足ラズサレバ刑罰ノ力ニヨリ賄賂ヲ防クノ外別ニ依ルベキノ策ナケレト少數ナル選舉人ノ場合ニ於テ刑罰ノ此弊ヲ防クニ足ラサルコトハ實ニ從來ノ經驗ガ世人ニ宣揚シテ明々白々ナル處ナリ然リ而シテ此弊害ノ大小ハ一ニ中間選舉者ノ判斷ニ任スル範圍ノ廣狭ト相比例スルモノニシテ選舉者ニ委スルコト大ナレバ弊害ヲ來スコト愈甚シカルベク其然ラズシテ中間選舉者ガ自己ノ私益ヲ計ル爲ニ其投票ヲ利用スルヲ敢テセザルガ如キコトハ中間選舉者ガ公然某氏ヲ選舉スベキコトヲ誓ヒ之レガ爲メ單ニ第一選舉者ノ投票ヲ撰學會場ニ持參スルノ使者トシテ撰任セラル、場合ニ於テノミ之ヲ見

ルヲ得ベキナリサレバ二重選舉ノ方法ガ其効力ヲ顯スノ時ハ即チ此方法ガ惡結果ヲ生スルノ始メニシテ而シテ彼ノ合衆國元老院議員選舉ノ場合ト同一ナル情況アレバ暫ク措キ苟クモ斯ル特別ナル事情アラザル以上ハ間接選舉ノ主義ハ如何ニ適用セラル、モ必ス斯ル結果ヲ生スルコト疑ヲ容レズ

我英國ニ於テハ古來間接選舉ヲ行ヒタル例ナケレバ之ヲ駁スル爲メ更ニ議論ヲ試ムルハ英國ニ取リ蓋シ不必要ノ事ナルベク又當國ニ於テハ恐ラクハ一人ノ同意者ヲモ得ル能ハサルベキ此政策ニ對シ斯ク迄言辭ヲ費スコト實ハ一言ノ辨解ナクテハ叶ハヌコトナリ蓋シ間接選舉ノ事タル一見極メテ道理アル者ノ如ク且ツ歴史上幾多ノ實例アル者ナルヲ以テ時ニ依テハ提出セラレテ世ノ問題トナルコトナキヲ保セスサレハ英人ノミニ付テ思量スルモ決シテ默々看過ス可カラザル一大

問題ナリト云フベシ

投票ノ方法ヲ論ズ

第十章 投票ノ方法ヲ論ズ

投票ノ方法ニ關シテ最緊要ナル問題ハ公示投票及秘密投票ノ利害得失ナリ吾人ハ今此問題ヲ論スベシ

今此事ヲ論スルニ當リ二者利害ノ論議ヲシテ秘密投票ハ卑怯ナルカ大人氣ナキカニ關スル感情論ヲラシムルガ如キニアラハ是レ實ニ一大誤謬ナリト云ハサル可ラズ秘密主義モ幾多ノ場合ニ於テ正當ナルモノニシテ殊ニ或ル場合ニ於テハ必要已ムテ得サルモノナルヲ見ル且ツヤ正當ニ避クルヲ得ベキ危害ニ對シ之ガ防禦ノ道ヲ講スルハ決シテ卑怯ナリトハ云フ可ラズ又公示投票ヨリモ輩々秘密投票ヲ可トスル場合ハ一モ之レナシト云フヲ得ズ但シ吾人ハ尙ホ言ハントスルル場合ヤ政治上ノ事項ニ於テ通則ニ非ズシテ例外ナリト既ニ前ニモ一言シタル如ク制度ノ精神即チ制度ガ國民ノ心理ニ及ボ

其威觸の實ニ其働キノ主要ナル部分ヲ占ムルモノナリ秘密投票ノ制ヲ用ヅルモ其ノ機擧者ノ心中此制度ヲ解釋スルコト思フニ當ニ次ノ如クナルベシ曰ク投票ハ機擧者ノ爲メヲ謀リテ附與ヒラル、者ニ相違ナシ其ノ己ノ利益一己ノ使用ノ爲メスルモノニシテ社會公衆ノ便益ヲ計ルノ目的ニ出デタル信託ニハ非ザルナリ若シ投票ニシテ信託ノ性質ヲ有スル者ナラバ即チ公衆ニシテ其投票ヲ要求スルノ權アラズニシテ公衆ハ其投票ヲ知ルノ權ヲ有セザル筈ナリ然ラバ何ゾ秘密投票ヲ用ユルヲ要スヤト此威觸タル實ニ誤謬ニシテ且ツ有害ナルモノナレバ近年秘密投票ヲ主張スル名士ノ多數ガ皆斯ル威觸ヲ抱ケルヲ以テ之ヲ見レハ公衆ガ一般ニ斯ル念慮ヲ生スルニ至ルコト謂フナシト云フ可ラズ勿論最初此方法ヲ主唱シタル人々ハ秘密機擧ノ主義ヲ論スルコト決シテ此ノ如クニハアラサリシモ凡ソ一ノ主義ガ人

心ニ及スル所以ノ結果ハ之ヲ信奉シ之ガ流ヲ汲ムノ人士ニ於テ最モ分明ニ顯ハルモノニ對テ之ヲ構成シ之ヲ創唱シタル人々ヲ見ルモ決シテ知リ得ベキ者ニ非ラズアラト氏及同氏派ノ民主政論者ハ機擧權ハ所謂權利ニシテ決シテ信託ニハ非ザルコトヲ主張シタルガ此思想ハ深ク世人ノ心中ニ貫徹シ其弊害タル秘密制度ノ有シ得ベキ利便ニ比シテ遙カニ大ナルモノアリ抑モ他人ヲ支配シ得ルノ權利ナルモノハ如何ニ權利ノ思想ヲ解釋理解スルモ法律上ニ非ザルヨリハ何人モ決シテ之ヲ有スル能ハズ即チカ、ル權力ハ道德上ヨリ之ヲ言ハバ皆信託タルニ過キサルナリ然リ而シテ人民ガ機擧者又ハ代表者トシテ政務ヲ執行スルコトハ畢竟他人ニ對シテ威權ヲ有スル者タルニ外ナラサルヲ以テ機擧權ハ信託ニ非ズシテ權利ナリト唱道スル論者ハ其說ノ終極スル所如何ヲ充分考察セサル者ト云ハサルヲ得ズ夫レ機擧

權ナルモ果シテ權利ニシテ選舉者ノ利益ノ爲ニ存スル者ナラシム
ハ選舉者金錢ノ爲ニ之ヲ賣リ又ハ其私利ヲ計ル爲メ之ヲ用ユルコト
ルモ吾人ハ如何ナル論據ニヨリテカ能ク之ヲ非難スルヲ得ヤ勿論
人民ハ選舉權ヲ有スルハ選舉權ガ人民各自ヲ保護スル所以ノ方便ヲ
ルコト之レガ理由ノ一タルニ相違ナク是レ以テ他ヨリ虐遇苛待
ヲ受ケタル時ニシテ用ユベキ者ニシテ而シテ其同胞ノ中何人ニテモ
斯レ虐遇ヲ受ケル者アルトキ選舉者ハソノ權力ノ及ブ限リ之ヲ保護
スルヲ責メル者ト云フベシ凡ソ投票ヲナスニ當リテハ自己ノ意向ニ
ヨリテ選擇スルガ如キコトアル可クモ毫モ私意ヲ狹マサルコト猶陪審官
ノ裁決ニ於ケルガ如クナルベシ投票ノ事タル全ク義務ニ屬シ誠意公
共ノ利益ト信スル處ニ從テ之ヲナスノ責アリ然ルニ之ニ反シテ他ノ
思想ヲ抱ク人アテハ此輩ハ實ニ選舉權ヲ有スルニ適セザル者トス

其終極スル所選舉者ノ心意ヲ高ムルコトナク却テ之ヲ腐敗セシムルノ
惡果アルベシ即チ選舉者ヲシテ高尚ナル愛國心ヲ生テ公共義務ノ念
慮ヲ發セシムルニ至ラズ却テ公ケノ職務ヲ以テ一己私益ノ用ニ供セ
ントスルノ性情ヲ養成スルニ至ルベシサテ公ケノ地位ニ供ハル普通
ノ人民ガ己レノ義務ニ付テ思考スル所ハ必ラズ社會ガ之ヲ附與スル
ニ當リ思考スル所ト同一ナルベシ否社會ガ此等人民ニ期望スル標準
ヨリ下ルコトハ之レアリトモ決シテ其上ニ出ツルコトハ之レナカルベ
シ秘密投票ヲ行フキヤ選舉者ハ其投票ヲ知ルノ權ナキ一般公衆ノ爲
ニ投票ヲナスノ責ナシト信シ只己レノ思フ儘ニ投票スルヲ得ベシト
ノ見解ヲ取ラントス

上來叙述セル所タル實ニ匿名制ハ俱樂部又ハ私立協會ニ於テ之ヲ行
ヒ得ベキモ之ヲ國會選舉ニ及ボス可ラサル所以ノ最モ有力ナル理由

ナリトス夫レ一俱樂部ノ會員ノ如キハ毫モ他人ノ意向利益ヲ考量スルノ責ヲ負フコトナシ何トナレバ其投票ニヨリテ示ス所ハ只或ル人物ト協合スルヲ欲スルヤ否ヤト云フニ過キスシテ而シテ斯ル事柄ハ無論自己ノ意向ニヨリテ決スベキ者タルコト一般ニ世人ノ許認スル處ナレバナリ且ツ政治ノ事柄ニ於テハ匿名投票ハ虛偽不正ヲ來スル必然ナルニ俱樂部等ニ於テハ必ズシモ然ラザルナリ是レ又匿名投票ガ此等ノ場合ニ於テハ不可ナキノ一由ト云フベシ蓋シ此等ノ場合ニ於テハ關係者ノ地位太概相等シキヲ以テ其中ノ一人ガ他ニ對シテ汝ハ如何ニ投票シタルヤ等ノ問ヲ發シ以テ他ヲ強ユルガ如キハ爲ス可ラザルノ事ナリト思考セラルベシト雖モ國會選舉ノ場合ニ於テハ選舉者間自然主從上下ノ關係アリテ甲ハ自ラ乙ノ投票ヲ指揮スルノ權利アリト信シ投票ニ關シテ要求ヲナス等ノコトアルヲ以テ大ニ之ト趣

ヲ異ニスル者アリ而シテ此社交的關係ニシテ存在スル以上ハ其有様常ニ此ノ如クナルベク其間之ニ對シテ明答ヲナサズ又ハ遁辭ヲ設ケテ之レニ應スルモノハ其望ム如ク投票モザルモノト思惟ヒラレ種々ノ弊害續々トシテ發生スベキナリ凡ソ政治上ノ選舉ニ於テハ選舉者タルモノ自己ノ私利ヲ棄テ、公共ノ便益ヲ考慮シ充分推究討查シテ其最モ可ナリト信スル所ニ從ヒ投票ヲナスベキノ義務ヲ有スルコト猶ホ投票スルモノハ只一人ノミニシテ選舉ノ結果全クソノ人ノ意志ニ屬スル場合ト毫モ異ナル所ナシ是レ普通選舉ノ場合ニ於テモ然ルモノニシテ制限選舉ノ場合ニ於テハ猶ホ二層然ルモノトス上述スル所既ニ眞ナリトスレバ投票ノ義務ハ他ノ公務ト等シク公衆ノ目前ニ於テ履行セラレサル可ラサルコト爭フベカラサルノ結果ナリ即チ公衆中ノ各員ハ皆ニ其履行ニ關シテ利害

ヲ有スルノミナラズ若シ不正及ハ不注意ニ此事ヲ行フ者アレバ則チ自己ニ損害ヲ受ケタリト思考スルモ可ナル充分ノ權利ヲ有スルナリ尤モ此政治道徳ノ格言又ハ其他ノ格言トテモ全ク破ルヲ得サルモノニハ非ラズシテ一層重大ナル事情ノ爲メニハ之ヲ放棄シテ妨ナキト固ヨリ論ヲ俟タズト雖モ爾カモ此格言タル極メテ貴重スベキモノナレバ之ニ背キテモ可ナルガ如キ場合ハ必ズ非常ニ例外ノ性質ヲ帶ブレモフニ限ル

今若シ記名主義ヲ取リ撰舉者ヲシテ其投票ニ關シ公衆ニ對シテ責任ヲ有セシメント企圖スルハ其實此撰舉者ヲシテ或ル有力ナル一個人ニ對シテ責任ヲ有セシムルニ至ルニ實際有リ勝チノ事柄ナリ而シテ彼ノ匿名投票ノ庇護ニヨリ撰舉者全ク責任ヲ脱スルノ場合ニ於テハ撰舉者自己ノ利益ハ固ヨリ社會ノ公益ト相反對スベシト雖モ今此等

有力者が利害トスル所ヲ見レバ其一般ノ便益ト相撞着スルコト一層之ヲ甚シキモノアルベシサレバ若シ撰舉者ノ多數ニ於テ實際上述セ如キ情況アラバ匿名投票ハ之レニ比シテ蓋シ小害ヲラシ即チ撰舉者ニシテ他ノ奴隸タルノ悲境ニ沉淪セバ之ヲシテ其羈絆ヲ脱セシムル爲ニハ如何ナル方策モ忍シテ之ヲ採用セサルヲ得サルナリ故ニ小數ガ多數ノ上ニ勢力ヲ振フニ漸ク盛ナルガ如キ事情アラバ是レ實ニ秘密投票ヲ行フニ最モ理由アル場合ナリトス之ヲ事實ニ徵スルニ羅馬共和國ノ末路ニアツテハ秘密制度ノ道理ハ實ニ争フベカラサルモノナリキ當時貴族ハ年々益富トナリ從テ益々專横ヲ極メ平民ハ之ニ反シテ益々貧困トナリ他ニ依頼セテ衣食スルヲ益々其度ヲ加フルニ至レルヲ以テ撰舉權ヲシテ放縱專恣ナル人々ノ器械ヲラシムルノ弊ヲ防ク爲メ豫備ノ計ヲナスコト益々嚴重ナルヲ要セタリ又雅典ノ事跡ニ

就テ之ヲ見ルモ匿名投票ノ制度ハ大ニ有益ナル働キヲナシタルト蓋シ疑テ容レズ抑モ雅典ハ希臘ノ諸共和國中秩序最モ整然タル邦國ナリシニ相違ナシト雖モ若シ一朝奸徒アリ不正ナル投票ヲ利用スルトアラバソノ自由一時滅絶スルガ如キ不幸ヲ見ルトナシトモ云フ可ラズ且ツ雅典ノ選舉者ハ他ニ依頼屈從スルト甚シカラザレハ常ニ強迫掣肘ヲ蒙ルガ如キトハ之レナキモ尙ホ金錢ノ爲ニ其投票ヲ賣リ又ハ衆多黨ヲ結シテ喧騒ナル者ノ脅カス所トナリテ其意見ヲ枉グルガ如キトナシト云テ可ラズ而シテ斯ル場合ニ當リテ匿名投票ハ秩序ヲ保持スル爲メ大ニ有用ナル方便ニシテ雅典ヲシテ古代ノ民主國中ニ名聲ヲ揚グルヲ得セシメタル者ハ此方法與カリテ大ニ力アリト云フベキナリ

然レモ一層進歩シタル近世歐洲ノ諸邦殊ニ我英國ニ於テハ選舉者ヲ

強迫掣肘スルノ勢力ハ大ニ減少シ且ツ益衰亡ニ歸セントスルノ勢アリ而シテ此等ノ勢力ヨリ生スル弊害ヨリモ寧ロ選舉者ガ其一個ノ地位又ハ一種族ノ一員タル地位ヨリシテ不良ナル利害ノ念無分別ナル感情ヲ有スルヨリ生スル弊害ノ方却テ一層恐ルベキモノタルヲ覺ユサレバ第一ノ弊害ヲ救ハンガ爲メ第二ノ弊害ニ對スル各般ノ妨碍ヲ除去セントスルガ如キハ將ニ衰滅ニ歸セントスルノ小害ニ易フルニ愈増進セントスルノ大害ヲ以テセントスル者ニ外ナラズ此問題ニ關シテ余ハ國會改革ト題スル論文中ニ於テ聊カ所見ヲ吐露シタリ其文辭ヤ殊ニ潤飾スベキ所ナシト信スルヲ以テ今次ニ之ヲ轉載スベシ

今ヲ去ルト凡ソ三十年以前迄ハ國會議員選舉ニ關スル弊害ノ重ナル者ハ實ニ地主雇主及顧主等ノ強迫掣肘ニシテ總テ匿名投票ノ法ニ依テ除去スルヲ得ベキ者ナリキ然レモ余ハ信ス現時ニ於テハ事

態全ク之レト相反シ撰學者自己ノ私利心偏頗心ニソ一層重大ナル原因ナレト即チ余ノ知ル所ヲ以テスレバ賤ムベク有害ナル投票ハ他人ヨリ蒙ルベキ結果ヲ恐ルハニ出ル者ヨリモ却テ撰學者自己ノ利害又ハ其種族ノ利害等ニ基スルモノ多キヲ覺ユ而シテ匿名投票ハ制ヲ用ユルコトアラバ撰學者ハ自己ノ責任ヲ思フテ卑劣ノ行爲ヲ耻ルノ念慮ヲ失フベシ。

近時ニ至ル迄政府ノ全權ヲ握リタルモノハ實ニ富有ナル上等社會ノ人々ニシテ而シテ彼等ガ權威ヲ逞ニスルコト實ニ國民憂苦ノ主因ナリキ當時雇主若クハ地主ノ指揮ニ從テ投票ヲナスノ習慣ハ其由來スル所極メテ久シク牢乎トシテ拔ク可ラザルノ勢アリ只國民一般非常ノ熱心ヲ以テシテ初メテ之ヲ動かステ得ベキノミ事跡既ニ此ノ如シ此ヲ以テ此慣習ヲ破リヨノ專權ニ抗スルノ投票ハ通常正

義ニ據リ公益ヲ計ルノ意ニ出ルモノニシテ又假令其意トスル所實際此ノ如クナラザルモ其結果ヲ論スレバ必ラズヤ善良ナル投票ナリシナリ何ヲ以テカ之ヲ云フ此種ノ投票ハ當時第一ノ大弊ヲ破ラシトスルモノナレバナリ此ヲ以テ撰學者自由ニ其特權ヲ行フコト安全ナルヲ得ベクンバ其意志ヤ正義ニヨラズ其方法ヤ宜シキヲ得ザルモノアリトモ大ニ改革ノ援助トナルベキコト論ヲ俟タズ其故何ソ是レ當時國內ニ於ケル專制權ノ羈絆ヲ破ルモノナレバナリ地主輩ノ權力ヲ殺シ國家ノ制度及行政ニ於ケル各般弊害ノ原因ヲ除去スル者ナレバナリ而シテ匿名投票ノ制ハ實際用井ラレタルコト之レナシト雖社會事物ノ變化ハ實ニ此點ニ於テ匿名投票ト同一ナル作用ヲナシ且ツ將來益其度ヲ増サントスルノ勢アリ見ヨ國內政治上及社交上ノ情况ハ

大ニ其趣ヲ改メ且ツ日々絶ヘズ變遷更改スルニ非ズヤ今ヤ上等社會ハ國內ノ全權ヲ握ルモノニアラズ二十五年前ニ在テハ中等種族ハ上等種族ニ屈服シ勞働者流ハ上等及中等種族ニ附從依頼セリト雖モ今日ニ在テハ決シテ此ノ如クナラズ二十五年間ノ出來事ハ各階級ヲ各自集合ノ勢力如何計リナルヤヲ知ラシメタルノミナラズ下等社會ノ人々ヲ上流ノ人士ニ對シ一層大膽ナル反抗ヲナシ得ベキ情況ニ至ラシメリ此ヲ以テ撰舉者ノ投票ハ其長上ノ希望ト相反スル場合ニ於テモ又ハ之ト相合スル場合ニ於テモ大概ハ強迫壓制ノ結果ニ非ラズシテ全ク自己一身上ノ利害又ハ其政治上ノ意向等ヲ表示スルモノナリ何ヲ以テカ之ヲ云フ現行撰舉法ノ弊害ハ實ニ之ヲ證セリ賄賂ノ流行ハ世人ガ疾呼シテ痛論スル所ナリ是レ地方土豪ノ勢力復前日ノ如クナラザルノ證ニ非ズヤ是レ撰舉者ガ

自己ノ意向ニ從テ投票シ他人ノ意ヲ迎ヘテ事ヲナサズルノ證ニ非ズヤ余ハ許ス小郡邑ニ於テ尙卑屈ナル隸屬心ノ殘存スルコト然レモ時勢ハ之ト相善カラズ各般ノ出來事ハ絶ズ之ヲ減殺スルノ傾向アリ今ヤ小作人ハ以爲テ小作人實ニ地主ニ倚テ立ツト雖モ地主モ亦小作人ニ頼ルニ非レバ其地位ヲ保ツ能ハサルベシト隆昌ナル商人ハ思惟ステク我ハ獨立獨行ス一二ノ顧主我ニ於テ何かアラント此レヲ以テ撰舉アル毎ニ投票ハ撰舉者自己ノ意志ヲ表スルコト益多キヲ加フルナリ故ニ曰ク撰舉者ヲシテ其境遇ノ羈絆ヲ脱セシメシコトヲ力メシヨリハ軍中其心情ヲシテ私慾ノ壓制ヲ受ケザラシムルヲ切要トスト嗚呼今ニ及ンデハ撰舉者ハ又他人ノ意志ヲ是レ奉スルノ器械ニハ非ルナリ有力ナル少數人士ノ手中ニ權力ヲ付スルノ機關ニハ非ルナリ撰舉者自ラ將ニ全權ヲ握ラントス

選舉者ノ投票其長上タル他人ノ意向ニヨツテ定ラズ一ニ自己ノ意志ニヨリテ決スルヲ益多キヲ加フルルハ之ガ爲メ選舉者ハ國會議員ト同一ノ地位ニ立ツニ至リ從テ記名ノ主義又欠ク可ラザルニ至ル社會ノ全員悉ク代表セラレシムルハ則チ止ム苟モ然ラサル以上ハ彼ノ券狀黨ガ主唱スル議論即チ制限選舉ト共ニ匿名投票ヲ行フノ弊害ハ實ニ爭フ可ラザル者アリ夫以今日ノ選舉者及或ル改正案ニ依リ選舉權ヲ得ベキ人ノ大部ハ一ニ中等種族ニ屬ス而シテ其勞働者流ト全ク殊別ナル種族的利害ヲ有スルニ至ラハ毫モ地主又ハ大製造家ト異ナラザルナリ選舉權更ラニ各般ノ精熟工夫ニ及ブトセシメ彼等ハ猶庸拙王夫ト殊別ナル種族的利害ヲ有スベシ更ラニ歩ヲ進メ選舉權總テ丁年男子ニ及ブト假定セヨ即チ從來世人ガ誤テ一般選舉ト稱シタル處ノ所謂丁年者選舉權ナルモノ法律トナレ

ト假定セヨ爾カモ選舉者ハ女子ト殊別ナル種族的利害ヲ有スベキニ非ラズニ試ミニ想像セヨ特ニ女子ニ關係アル問題假令ハ女子ガ大學ヲ得業スルヲ許認スベキカ又ハ其妻ヲ虐待スルヲ夫ハ科スルニ從來ヨリモ嚴ナル刑罰ヲ以テスベキカ若クハ既婚婦ニ與フルニ財產所有權ヲ以テスベキカ等ノ問題立法院ニ提出セラレハハコトトセズ此時ニ當テ人ノ妻タリ人ノ女タルモノハ其夫タリ父タルモノカ此等ノ意見ヲ維持スルノ候補者ヲ投票スルヤ否ヤヲ知ルノ權利ナシト云フベキカ

議者之ニ答テ曰ハシ此等ノ論タル選舉權ノ頒布其平ヲ得スト假定シテ說ヲナセルモノナリ今夫ノ選舉權ナキニ輩能ク選舉者ノ意ヲ動カシ之ヲシテ一層正直ニ且ツ一層有益ニ投票セシムルヲ得ベシトセハ此等ノ輩ハ現在選舉權ヲ有スルモノヨリモ一層選舉者タル

適スルモノニ非ラズヤ他人ヲシテ自己ニ對シ責任ヲ感セシムルノ入決シテ撰舉者タル能ハサルノ理ナシ須ク自ラ撰舉權ヲ有スベシ而シテ此輩既ニ撰舉權ヲ有スル以上ハ匿名投票ノ庇護ヨリ他ノ有力者又ハ勢力アル種族ノ不當ナル威迫ヲ避クベシト此論ヤ一見頗ル取ルベキ處アルニ似タリ而シテ余モ亦一度之ヲ然リトセリ然レモ今ヤ余ハ以爲ラク是レ誤レリト夫レ撰舉者ヲ左右スルニ適スルノ人モ未ダ其理由ヲ以テ直ニ自ラ撰舉者タルニ適スベシト云フ可ラズ身自ラ撰舉者タルモノハ其權力ヤ大ナリト云フベシ撰舉者ヲ左右シテ間接ニ其意ヲ動カス者ハ其權力ヤ稍小ナリト云ハザルベカラズ其小ナル者ヲ托シテ可ナルノ輩未ダ必ズシモ其大ナルモノヲ委シテ安全ナルヲ期ス可ラズ今之ヲ例證セシ彼ノ勞役者中極メテ貧困極メテ粗鹵ナルモノノ意向ヲシテ投票者並ビニ

立法議員ニ影響ヲ與アルノ一勢力ヲラシムルニ極メテ有益ナリ然リト雖モ彼等ノ品行彼等ノ智識ニシテ今日ノ如クナル以上ハ之ニ撰舉權ヲ付シテ以テ重大ナル勢力ヲ有セシムルニ極メテ有害ナルニ非ズヤ抑モ撰舉權ヲシテ漸次擴張セシメ時機ノ熟スルニ及ブテ圓滑ニ之ヲ行ハシムルモノハ實ニ撰舉權ナキノ輩ガ撰舉者ニ及ボス間接ノ勢力漸次増加スルニ由ル此種ノ勢力方亦タ効益アリト謂フベシ否是レニ止ラズ別ニ一層深遠ナル理由ノ政治上考察ニ缺ク可ラザル者アリ曰ク記名主義及公衆ニ對シテ責任アルヲ感スルノ念慮ナルモノハ公衆ガ精確ナル判斷ヲナスノ能力ナキ場合ト雖モ猶其用ヲナス即チ是レナリ夫レ公論ナルモノハ衆說ヲシテ一ニ之ニ屈從雷同セシムルヲ得テ始メテ之ノ効アルモノニハ非ルナリ衆目ノ下ニ

立チ他人ニ對シテ自己ノ辨護ニ從事シ以テ衆論ノ切瑳ヲ受クルハ俗見ニ反シテ事ヲ行フ者ニ於テ最モ必要トスル所志氣ヲ振作シ決意ヲ確固ナラシムルノ實ニ之レニ過クルモノナシ是レ豈ニ公論ノ賜ニ非スヤ且ツ衆論ノ排スル所トナルヲ期シ猶且ツ之ヲ行ハシテ欲スルモノハ一時非常ノ激情ニ依ルニ非ル以上ハ必ズヤ確然タル豫圖アル者ナラサル可ラズ既ニ確然タル豫圖アリ其人ヤ必ラズ深沈事ヲ輕ンゼザルノ人ナルベシ此種ノ人ニシテ之ヲナス其非常ノ惡人ニ非ルヨリハ必ラズ深ク内ニ感スル所アリ誠悃ノ精禁スルニ由ナクシテ外ニ發スルモノナラズンバアラズ今暫ク之ヲ措クモ單ニ其行爲ニ關シ公衆ニ辨明ヲナスヲ要スルノ一事又以テ相當ナル辨明ヲ得ルノ事柄ニ非レバ人ヲシテ爲サシツサルニ足ル事ヲ嗚呼公示主義ナルモノハ人ヲシテ如何ニスルモ理由ヲ見出ス

能ハシテ事ヲナスヲ得サラシメ又凡テ行爲ヲナス前ニハ必ラズ先ヅ之ヲ辨解スル所以ノ理由ヲ考ヘシムル丈ケニテモ猶計ル可ラザルニ大益アリト云フベシ然レモ雖モ議者更ニ云ハシテ將來各人皆投票ヲナスノ能力ヲ有スルニ至リ男子トナク女子トナク皆選舉權ヲ得ルニ至ラハ最早種族立法ニ危害アラサルベシ其時ニ至テハ選舉者ハ即チ國民全體ナルヲ以テ皆一般ノ利害ヲ利害トスルニ至ラン勿論一個ノ意向又ハ種族ノ利害ニ從テ投票ヲナス者モ多少之レアルベシト雖多數ハ決シテ斯ル思想ヲ有セザルベシ此場合ニ於テ選舉者ハ又選舉無資格者ニ責任ヲ負フノ要ナキヲ以テ匿名投票ノ制ハ他人ヨリ蒙ルベキ不當ノ勢力ヲ防クノミニテ極メテ有益ナルベシト余ハ之レニモ一致スル能ハザルナリ余ハ人民皆選舉權ヲ享クルニ

適シ且ツ一般選舉實際行ハル、ニ至ルコアルモ猶匿名投票ノ制ヲ以テ採用スベキ者ナリトハ思考ヒズ今少ク其理由ヲ述ベシ第一ニ匿名投票ナルモノハ斯ル場合ニ於テハ之ヲ行フノ必要アリト信スルコト能ハサルナリ試ミニ其時ノ情況ヲ思考セヨ人民ハ必ラズ皆十分ノ教育ヲ受ケテ丁年ニ達シタルモノハ皆選舉權ヲ有スベシ然レモ現時ノ實情ヲ察セヨ選舉權ヲ有スルモノハ少數ノ人士ニ止リ人民ノ多數ハ殆ンド無教育ノ情況ニアルコトアラズヤ然レモ今日ト雖モ輿論ノ勢力ハ甚ダ強大ニシテ終局倚據スルニ足ルモノハ輿論ヲ措テ他ニ求ムベカラサルコト各人ノ熟知スル所ナリ果シテ然ラバ各人皆テ讀書執筆ヲ善クシ各人皆投票ヲ有スルノ社會ニ於テハ輿論ノ勢力ノ強大ナルコト夫レ果シテ如何ゾヤ而シテ此社會ニ於テ猶地主及ヒ富豪ノ輩他人ノ意ニ逆フテ威迫ヲ行フコアルベシト曰フガ

如キニ至リテハ實ニ空想ナリト云ハサル得ズ匿名投票制ノ當時ニ於テ無用ナルベキ實ニ斯ノ如シ然レモ記名投票制ノ必要ニ至テハ毫モ其度ヲ減セザルナリ夫レ各人ハ皆テ社會ノ一員ニシテ且大概社會公衆ト反對ナル利害ノ位置ニ立タルモノニ非ズト云フノミニテ各人ハ其同胞ノ輿論ガ之ヲ獎勵誡飭スルナキモ猶能ク十分ニ公共ノ義務ヲ盡スベキカ之レ決シテ望ムベカラサルノ事ナリ若シ之ヲシテ望ムベシトセバ萬人ノ視ル所悉ク誤レリト云ハサル可ラズ蓋シ各人が公共ノ利害ヲ思フノ念慮ハ甚ダ不充分ナルモノナレバ外部ノ刺衝獎勵ニシテ存セサルキハ假令之レト反對ナル私利心アラサルモ概シテソノ人ヲシテ公共ニ對スルノ義務ヲ盡サシムルニ足ラズ論者ハ曰ク人々皆々選舉權ヲ有スルキハ匿名記名ニ法ノ中何レヲ取ルモ必ズ誠實ニ其投票ヲ行フヘシト然レモ社會全體皆撰

學者ナルハ投票ニ當リ社會ノ公益ト相反スル利害ノ念ヲ懷ク
 アル能ハスト云フガ如キ議論ハ反覆之ヲ審査セバ單ニ外面ノミ
 シテ其實ナキノ説タルヲ見ルベシ夫レ社會ハ全體トシテハ其共同
 ノ利害ナルノミ他ニ利害ヲ有スルヲ能ハサルベキモ社會ヲ組成ス
 ル各個人ハ則チ然ラズ凡ソ人ノ利害ナルモノハ其利害ヲ有スル悉
 皆ノ事柄ヨリ成立スルナリ各人ノ感情ヲ種々繁多ナリ而シテ各人
 ノ利害モ亦極メテ錯雜繁多ナルヲ猶其感情ト相均シクソノ欲スル
 所又ソノ欲セサル所或ハ私利心ニ起ルアリ或ハ他ノ一層高尚ナ
 ル思想ヨリ生スルアリサレバ此等種々ノ利害ノ念慮中特ニ其一ヲ
 取リ之ヲ以テ其人ノ利害トスル處ナリト言フヲ得又其人ヤ必ズ自
 己ノ利害中甲ヲ措テ乙ヲ撰テ等ノコアルベキヲ以テ其取捨ヲ如何
 ナク見テ始メテ其人ノ善惡邪正ヲ判スルヲ得ベキナリ今夫レ選舉者

多數ハ其利害ニ就テ取捨ヲナスニ二途ヲ有スルナラン私利ヲ旨
 トシテ之ヲナスモノ及ヒ公益ヲ主トシテ之ヲナスモノ即チ之レヲ
 リ二者ノ中撰擧者ガ公言スルヲ辭セサル者ハ只後者アルノミ然レ
 其真意如何ト云ハ、之ニアラズシテ却テ公言ヲ憚ルノ前者ニア
 ルナリ人民ノ意此ノ如シ而シテ匿名投票ノ制行ハレシカ人民ハ私
 利ヲ謀ルガ爲メ惡意怨恨等ノ爲メ若クハ一身ノ競争心ヨリ不誠
 實ニシテ且ツ卑劣ナル投票ヲナスコト之ヲ記名投票制ノ時ニ比シテ
 大ニ其度ヲ加フベシ米國聯邦中ノ或ル部分ニ於テハ公債ヲ募テ償
 却セザル者アリ不徳義モ亦甚ダント云フベシ然レ此等ノ州ニシ
 テ記名制度ヲ行ヒ放縱自恣ナル撰擧者ヲシテ正義誠實ナル人士ノ
 行ヲ見テ以テ内ニ愧ツル所アラシメバ幾分カ此輩ノ行爲ヲ掣肘シ
 テ背理ノ政ナカラシムルコト望ムベカラストヒヤ彼ノ匿名投票ハ

實ニ此利益ヲ犧牲ニスルモノナリ故ニコノ方法タル今日論者ガ喋々スル所ヨリモ一層手強キ理由アル特別ノ場合ニアラザレバ決シテ行フベカラズトス

投票ノ方法ニ關シテハ此他猶論辨ヲ要スルノ點數多アリト雖何レモ匿名記名ニ法ノ利害ノ如ク多言ヲ費シテ細論スルヲ要セザルナリ意フニ「ヘヤ」氏ガ案出シタル一個人代表ノ方法ヲ取ルキハ投票紙ヲ用ユルニ必要ナルニ至ルベシ然レモ余ハ信ズ此場合ニ於テハ公設ノ投票場ニ於テ選舉者ヲシテ投票紙ニ署名セシムルニ極メテ必要ナリト但シ便宜ノ場所ニ投票場ノ設ケアラザルキハ衆人皆至ルヲ得ルノ公廨ニ於テ責任アル官吏ノ面前ニテ署名ノ事ヲ行ハシムベキナリ彼ノ選舉者ノ自宅ニ於テ投票紙ニ記入シ郵便ヲ以テ之ヲ送達スルヲ許スカ又ハ官吏ヲシテ之ヲ集メシムルノ方法ハ余ノ極メテ危険ナリト信

スル所ナリ果シテ此ノ如クナラバ賄賂ヲ行フ者ハ自身私カニ選舉者ガ其望ヲ果タスヤ否ヤヲ監視スルヲ得ヘク威嚇ヲ恣ニスルモノハ選舉者ヲ強井テ己レノ面前ニテ其意ノ如ク記入發送セシムルヲ得ヘシ而シテ事一タヒ定マレバ復之ヲ如何トモスル能ハサルベキナリ且ツヤ投票者ノ眞情ヲ熟知スル人々傍ニアルキハ自己ノ意ヲ托ケテ卑屈ノ投票ヲナス能ハズ又余ニシテ誠實ナル投票ヲナサバ同黨員若クハ説ヲ同フスルモノハ必ラズ余ヲ諒トスルナラント思フキハ自ラ人意ヲ強フスルモノナレモ自宅ニテ投票ヲ記入セバ此ニ利益ハ全ク之ヲ收ムルヲ能ハザルベシ

投票場ハ各選舉者ヲシテ容易ニ之ニ赴クヲ得セシメンガ爲メ成ル可ク多數ニ設クルヲ要ス而シテ如何ナル口實ヲ以テスルモ候補者ガ私費ヲ以テ選舉者ニ旅費ヲ給スルヲ許ス可ラズ只病ム者ハ醫師ノ診

斷書ヲ添ヘテ國家又ハ地方ノ公費ニテ乗車セシテ要求スルヲ得セシムベシ投票ノ場所投票事務員及其他撰學ニ必要ナル萬般ノ器具ハ皆公費ヲ以テ之ヲ供フルヲ要ス候補者ニ對シテハ撰學ノ費用ヲ要求ス可ラサルノミナラズ候補者假令撰學ニ關シテ費ス處アラントスルモ一定ノ小額ヲ除クノ外ハ決シテ之ヲ許ス可ラサルナリ「ヘヤー」氏ハ曰ク凡ソ候補者名簿ニ其姓名ヲ録スルモノハ各五拾磅ノ金額ヲ出サシムルヲ可トスト氏ノ意タル到底勝利ヲ得ルノ望ナク又勝利ヲ得ル爲メ實際盡力スルノ意ナキモノガ單ニ名聲ヲ博ヒシガ爲メ又ハ前後ヲ顧ミズシテ無謀ニ候補者トナリ僅々數票ヲ得之ガ爲メ却テ熱心ナル希望者ノ票數ヲ減シ其當撰ヲ妨クル等ノ弊アルニヨリ之ヲ防止セシト欲スルニ在リ余思フニ廣告揭示等ノ方法ニヨリ候補者ノ意ヲ撰學者ニ知ラシムル爲メ要スル費用ハ實ニ候補者又ハ其黨員ガ支出セ

ザルヲ得ザル處ニシテ而シテ之レガ要求者アル毎ニ悉ク公費ヲ以テ之ヲ支辨スルコトハ出來得ベカラザルノ件ニ屬ス「ヘヤー」氏ノ主唱スル五十磅ノ出金(若シ足ラサレバ百磅トナスモ可ナリ)ヲ以テ此費途ニ使用スルコトヲ得バ能ク諸入費ヲ償フニ足ルベシ若シ夫レ候補者ノ朋友相計リ會合ヲ開キ又ハ投票ヲ求ムルガ爲メ費ス處アラントスルキハ之ヲ防止スルノ方法アラズト雖モ候補者自ラ金ヲ出シテ此種ノ用ニ供シ又ハ其用途ノ如何ヲ論ゼス五十磅(又ハ百磅)ノ外ニ費ス處アルキハ之ヲ以テ不法ノ處置トシ之ヲ刑科ニ處シテ不可ナルヲ見ズ然リ而シテ社會ノ輿論虛偽ノ陳述ヲ措テ答メサルノ時ニ於テハ則チ止ム苟クモ之ヲ非難スルノ徵多少見ルベキノ場合ニ在テハ須ク各議員ヲシテ議席ニ就クノ際宣誓シテ陳述セシムベシ曰ク余ハ撰學ニ關シ直接ト間接トヲ論セズ五十磅以上ノ金額ヲ費シタルコトナク且ツ余ハ亦之

ヲ費スヲ欲セズト而シテ若シ其陳述ニシテ虚偽ナルヲ分明ナラシムカ
 其宣誓ニシテ實ナキヲ瞭然ナラシムカ偽誓ハ罪ニ問フテ之ヲ處斷スベ
 シ之ヲ罪シテ寛假スルコトナクシテ立法院ガ此事ヲ輕視セサルノ實ヲ
 公衆ニ示シ輿論ヲシテ又同一ノ感ヲ抱クニ至ラシメ以テ從來ノ如ク
 此社會ニ對スル大罪ヲ誤認シテ恕スベキ小過ナリトスルノ弊ヲ救フ
 ヲ得ベシ虚偽ヲ罪スルノ習慣一タビ生ズルニ至レバ宣誓ハ箝束ノ力
 アルモノト思考セラル、ニ至ルヤ疑ヲ容レズ
 凡ソ輿論ガ虚偽ノ言ヲナシテ實ヲ吐カザルノ人ヲ恕シテ問ハザルハ
 只其隱匿スル事項既ニ輿論ノ寛假スル處タルノ時ニ於テノミ然ルモ
 ノトス而シテ撰擧上ノ賄賂ニ關シテハ此事極メテ顯著ナルヲ覺ユ實
 ニ今日ニ至ルマテ政治家中誠意熱心ニ賄賂ヲ防止セント企圖シタル
 モノハ未ダ嘗テ之レアラズ其故何ゾ彼等ノ心撰擧ヲシテ費用ナカラ

シムルヲ欲セザレバナリ蓋シ撰擧ニシテ費用多クシテ貧者ハ之ニ預
 ルヲ得ザルヲ以テ富豪ノ輩ヨリ之ヲ見レバ競争者ノ多數ヲ排除シ去
 ルノ利益アリ此ヲ以テ其事ノ有害ナルニ論ナク從來ノ情勢ヲ保持ス
 ルノ効アリトシテ遂ニ之ヲ改ムルヲ欲セサルナリ是レ實ニ何レノ黨
 派ノ代議士ニモ固着シテ離レサルノ通弊ニシテ彼等ノ心情ノ不正ナ
 ルハ蓋シ此一點ニアリ彼等ハ自己ノ種族即チ富豪ノ輩ノミ投票セラ
 レテ他種族ノ者議院ニ出テザルヲ確然タル以上ハ之ヲ以テ足レリト
 シ何人が投票スルカニ關シテハ殆ンド顧慮スル處ナシ彼等ハ知レリ同
 種族ノ人々ハ互ニ同感同情ヲ有スルヲ以テ充分倚據スルニ足ルベキ
 ヲ彼等ハ又知レリ貧賤ヨリ起テ遠ニ富豪ヲ致シタル者ハ自然辭遜屈
 從ノ情アルヲ以テ一層信據スルニ足ルベキヲ此ニ於テカ貧者ニ陷
 ハスニ利ヲ以テシ平民的ノ人物ヲノ代議士タルヲナカラシムルヲ得

三百四十二

バ極メテ平民的ノ選舉ヲ行フモ猶能ク自己種族ノ利害感情ヲ保護スルヲ得ベシトナセリ抑モ此等富豪ノ爲ニ之ヲ計ルモ弊害ヲ以テ弊害ト平均セントシテ利益ヲ以テ利益ト結合セントカメサルハ憐ムニ堪タルノ政策ナリト云ハサルヲ得ズ即チ貧富兩族ヨリ最良ノ議員ヲ協合シ共ニ相提携シテ全軀ノ利益ヲ計ラフコソ最モ望シキ目的ナレ今一國政治上ノ組織ニ於テ政治上ノ職官ヲ以テ一種ノ恩賜惠與トシ之ニ從事セント欲スルモノハ自己ノ利益ノ爲メ之ヲ求ムベク金錢ヲ出シテ之ヲ買フモ亦可ナリト云フガ如キヲ行ハレノニハ其仕組ハ道德上極メテ有害ナル結果アルベシ夫レ人誰レカ勤勞甚シキノ職務ヲ行ハンガ爲メ好シテ多額ノ金ヲ擲ツ者アラシヤ「プラト」ノ言ニ曰ク政權ヲ委スベキノ人ハ一身上之レヲ行フヲ嫌フ最モ甚シキノ人ニアリ而シテ此等適當ナル人物ヲシテ政務ニ勤勞セシムルニ足ル所以

三百四十三

ノモノハ只姦邪ノ徒政ヲ專ラニスルヲ恐ル、ノ念ニアリト茲ニ三四ノ紳士アリ其人々タル從來慈善ノ事ニ金ヲ費シタルノ聞エナキニ今ヤ其姓名ノ後ニ「ロ」國會代議士ノ略語ノ二字ヲ書セシテ望ミ爭テ重資ヲ散シ互ニ其多寡ヲ競フノ狀アラバ選舉者ハ之ヲ見テ果シテ如何ナル感アルベキカ選舉者ハ此等紳士ガ此ノ如ク費ス處アルハ一ニ選舉者ノ利益ヲ計ルニ出テ毫モ私利ノ念ナカルベシト思考スベキカ而シテ若シ選舉者一朝代議士ノ職ヲ以テ一ノ利益アル恩賜トシ此等ノ紳士ハ此利益ヲ博取セント欲シテ競争スル者ナリト思考スルニ至ランカ選舉人ハ自己ノ投票事務ニ付テ如何ナル道德上ノ責任ヲカ感スベキ彼レ政治家口ヲ開ケバ即チ曰ク選舉者ノ常ニ清廉ナランコトヲ望ム單ニ熱心家ノ夢想ニ過キズト然レモ政治家自ラ潔白ナルヲ欲スルニ至ラズンバ選舉者ノ清廉得テ望ム可ラサルナリ選舉者ノ道義的

感情ハ一ニ候補者ノ志操如何ニヨル候補者議席ヲ得ンガ爲ニ金ヲ費
ヤス間ハ撰擧ノ事務ヲシテ私利的ノ取引ヲラザラシメント欲スルモ
得ベカラサルナリ候補者ノ意見及ヒ社會ノ風潮ガ代議士ノ務メヲ以
テ一ノ義務ナリトセズ之ヲ以テ一身上ノ恩惠ナリトスル以上ハ尋常
ノ撰擧者ヲシテ代議士ノ撰擧モ亦タ義務ノ事ニ屬シ適任ノ人ニ非レ
バ投票ヲ與フ可ラズトノ理ヲ了得セシメント企圖スルモ到底ソノ效
ナカルベシ

上ニ述ヘタル議論即チ撰擧ノ爲メ候補者ヨリ費金ヲ要求ス可ラズ候
補者又金ヲ費サントスルモ之ヲ許ス可ラズトノ道理ヲ推スルハ更ニ
一ノ結論ヲ得ルナリ此結論タルヤ一見全ク反對ノ傾向ヲ有スル者ノ
如シト雖モ其實同一ノ目的ニ出ツル者タリ即チ世ノ論者ハ貧富貴賤
ニ論ナク各人ヲシテ皆代議士タルヲ得セシメントガ爲メ屢國會議員ニ

俸給ヲ與ヘンコトヲ主張スルモコレ決シテ非ナルコト是レナリ勿論我ニ
三ノ殖民地ニ於ケルガ如ク無給ヲ以テ之ニ從事スベキ適當ナル人物
ヲ得ルコト殆ソド難キ場合ニハ支給ヲナスモ可ナリト雖モ其支給ハ俸
給ニハ非ラスシテ時間ヲ要シ金錢ヲ費スノ手當報酬タルベシ俸給ヲ
與フルキハ就職ヲ望ムモノ増加シ撰擧ノ範圍廣濶トナリ自ラ適任ノ
者ヲ得ベシト云フノ論ハ人ヲ誤ルノ說ナリ代議士ノ職務ニ付スルニ
充分ナル俸給ヲ以テスルモ此報酬タルヤ熱心ニ他ノ營利事業ニ從事
スルノ輩ヲシテ轉業セシムルニハ足ラサルベシ然リ而シテ俸給ヲ與
フルキハ代議士ノ職務ハ一ノ職業トナリ之ニ就職スルモノ其金錢上
ノ報酬ヲ主眼トシ服務スルコト猶ホ他ノ職業ニ於ケルト同一ナルニ至
ルベク且ツヤ代議士當選ノ事タルニ他人ノ意志ニ屬シ其成功ヲ必
ス可ラザルヲ以テ投機的事業ニ附従スル不道德ノ氣風漸ク此間ニ勢

カチ振フベシ茲ニ於テカ下等ナル冒險者ハ争フテ之ヲ得ンヲ望ム
 ベク既ニ代議士タルヲ得タル六百五十八員ト之ヲ得ンヲ期スル幾
 千ノ人々ハ常ニ選舉者ノ投票ヲ得ンヲ求メ之ガ爲メニハ正ト不正
 トニ論ナク爲シ得ベキト爲シ得可ラザルトヲ問ハズ如何ナル事柄ヲ
 モ約束スベク之レガ爲ニハ無智無識ノ賤民ニ媚ヒテ其歡心ヲ得ン
 ヲ争フベシ其終極スル處ハ只巧妙ナル諂諛家ニ六百五十八個ノ賞品
 ヲ呈スルニ止ラン國民中最慧敏ナル欺騙家詭辨家ニ國會ノ議席ヲ與
 フルニ止ルベシ嗚呼有害ナル浮薄佞媚ノ風ヲ長セシムルト此ノ如ク
 甚シキモノハ專制政治ノ下ニアツテモ猶且ツ見ザル處ナリ豈ニ恐ル
 ベキノ至リナラズヤ

若シ資能卓越ナル人士アリ代議士タル大任ニ堪ユルト他人ノ遠ク及
 ハザル處ナリト雖ドモ其人ヤ財産又ハ職業等ヨリ自立スルニ足ルノ

收入ヲ得ズ隨テ無給ニテ公務ニ服スル能ハザル場合アラバ須ク公衆
 ノ寄附ヲ以テ其人ヲ支持スベシ即チ其名士ハ猶彼ノアンドロニエー
 ベルノ如ク國會ニアル間ハ其選舉區ノ扶助ニヨリテ生計ヲナスコト
 アルベシ此方法ハ毫モ非難スベキ點アルヲ見ズ何トナレバ此ノ如キ異
 常ノ榮譽ハ決シテ彼ノ唯々諾々只命是レ奉スルノ徒ニ附與セラル、
 一ナカルベケレバナリ即チ公衆ハ諂諛ノ方法如何ニ巧妙ナレバトテ
 特ニ其人物ニ媚ヒラレシガ爲メ公費ヲ以テ其人ヲ支持スルガ如キ愚
 チナサザルベシ故ニ斯ル義捐アルハ必ラズ衆ニ絶スルノ資能アリ他
 チ驚カスノ才幹アル人物ニ限ルベク而シテ此ノ如キ資能才幹ハ未ダ
 全然代議士タルニ適スルノ證據ナリトスルヲ得ズト雖モ幾分カ之ヲ
 推測スルノ原因トナスニ足ルベク少クトモ獨立ノ意見思想ヲ有スル
 ノ保證トナスヲ得ベシ

第十一章 國會ノ期限ヲ論ス

敢テ問フ國會ノ議員ハ幾多ノ年月ヲ經過スルノ后改選ス可キ者ナルヤト此問題ニ關スル理論ハ頗ル明白ナル者ナレ其適用ニ至テハ極メテ困難ナリト云ハサルヲ得ス一方ヨリ云ヘバ議員ヲシテ永ク其地位ヲ保タシムル時ハ自己ノ責任ヲ忘レ其職務ヲ輕視シ私利ヲ主トシテ之ヲ處置スルニ至リ且ツ自カラ其撰擧者ト相合シテ評議スベキ務メテ怠ルノ患ヒアルヲ以テ期限永キニ過キテ此等ノ弊ヲ來スコナカラシムルヲ要シ又他ノ一方ヨリ云ヘハ公衆監督ヲ空フセサル限リハ代議士ヲシテ其一國ノ意見及ヒ判斷ヲ自持セシムルト極メテ必要ナルヲ以テ其技倆ヲ振ヒ其才幹ヲ顯ハスニ足ルノ歲月ヲ與ヘ充分ニ其資能ヲ顯ハサシメテ而后ノ始メテ改撰ヲ行フヲ要ス二個ノ理論ヲ調和ノ實際如何ニ議員ノ年限ヲ定ム可キカ是レ實ニ一定ノ規則ヲ以テ

律ス可カラサルノ事ニ屬ス憲法上民主ノ權力薄弱ナルカ又ハ卑屈ニ過クル場合ニ於テハ代議士ハ官府的貴族的ノ空氣ヲ呼吸シ自然民主的ノ氣風ヲ失シ撰擧者ノ希望ヲ忘レ其利害ニ冷淡ナルニ至ルヲ以テ代議士ノ氣質性情ヲシテ常ニ正道ヲ離ル、コナカラシムル爲メ屢々撰擧ヲ行フテ其委任ヲ新ニスルヲ要スルナリ此ノ如キ場合ニアツテハ三年ノ任期モ猶ホ長シト云フベク之ヲシテ三年ノ上ニ出デシムルガ如キニ至テハ全然許認ス可カラス若シ夫レ事能之ニ反シ平民主權ヲ握リテ且ツ益々其權威ヲ増進セントスルノ勢アリ之ヲ獎勵シテ權柄濫用ノ弊ヲ醸サンヨリハ寧ロ之ヲ箝束掣肘スルヲ必要トスルノ時ナランニハ詳言スレバ公開主義充分ニ行ハレ且ツ日刊ノ新聞紙アルカ爲メ代議士ノ行爲ハ大トナク小トナク皆直チニ撰擧者ノ知ル處トナリ其議論スル處トナリ其判斷スル處トナリ而シテ之レニ由テ撰擧者

間ニ於ケル代議士ノ勢力或ハ増進シ或ハ減少ス可キヲ瞭然タルノ時
 又此新聞紙ヲ機關トシテ撰學者ノ感情及ヒ其他ノ民主的勢力ガ絶ヘ
 メ代議士ノ心思ヲ制控左右スルノ時ナランニハ議員撰擧ノ期限ハ充
 分ニ長カラシムテ要ス若シ五年以下ナルキハ代議士ヲシテ怯懦屈從
 ナラシムルノ弊アル可シ四十年前ニアツテハ毎年國會ヲ解散ス可シ
 トノ議論改革論者ノ得意ニ主唱スル處ナリシガ今日ニ至テハ人ノ之
 ニ注意スルモノナク之ヲ言フ者亦極メテ稀ナリ是レ我英國政治上ノ
 景況ニ大ナル變化アリタルガ爲メニシテ決シテ偶然ニ非ス又茲ニ一
 ノ熟慮ス可キ事アリ任期ノ長短ニ論ナク最后ノ一年間ハ國會議員ノ
 地位猶年々國會ヲ解散スル場合ト異ラサルヲ即チ是ナリ此故ニ若シ
 期限ニシテ甚々短縮ナルキハ實際毎年解散ノ國會ト同一ナル時限其
 割合ヲ大ニセシ現在ハ七年ノ期限ニシテ永キニ失スルガ如キ觀アレ

能之レテ變スレバトテ差シタル利益ノ生スルアルヲ見ズ况ソヤ一層
 ノ短期ハ議員タル者ヲシテ常ニ撰擧者ハ歡心ヲ得ントスルノ意向ヲ
 失ナハシメザルニ於テオヤ
 人或ハ思ハシ議員就職ノ年限ハ長短何レヲ可ナリトスルモ各個ノ議
 員ハ撰擧ノ日ヨリ起算シテ其年限ノ經過シタルキニ於テ始メテ其職
 ヲ辭スルヲ至當トス可ク從テ悉ク全議員ヲ更新スルコトアル可カラズ
 ト然レモ此說タル弊害極メテ多ク其利トスル處ニ比スレバ其實却テ
 遙ニ大ナルヲ見ル此方法ヲ取ル時ハ議員ノ多數ガ國民ニ有害ナル針
 路ヲ取ルコトアルモ速ニ之レヲ排除シ去ルニ由ナカル可シ且ツヤ大宰相
 ニノ自己ノ爲メ又ハ衆望ノ爲メ議院全軀ヲ改新セント欲セバ隨意ニ
 之レヲヤシ得ベシトセバ自カラ議會ノ感情ヲシテ撰擧者ノ感情ト全
 ク背馳スルガ如キコトナカラシムルノ效能アル可キモ之ニ反シ一般改

選ノ事ナキハ漸々議院ニ入ル少數ノ人々ハ全軀ノ性質ヲ變改スル能ハズシテ却テ之ニ化セラル、チ免レサルベク議院ノ意見永遠ニ國民ノ意見ト相反スルヲ必ズシモ之レナキヲ保セス夫レ卓見アル名士ヲシテ其議席ヲ失フコトナク能ク耳ニ逆フノ忠言ヲナスヲ得セシムルハ實ニ必要ナルコト固ヨリ論ヲ俟タズト雖也議院ノ意見ヲシテ大體ニ於テ國民ノ感情ト相一致セシムルコトハ又極メテ必要ナリトス代議士會一部改撰法ノ不可ナルハ實ニ之ニ止マラズ凡ソ代議ノ制度ニ於テハ主義ヲ異ニスルモノ時々各其全力ヲ出シテ其勢力ノ如何ヲ示シ以テ國民意思ノアル所ヲ明カニシ各黨派各議論ノ強弱ヲ確定スルコト極メテ必要ナリ而シテ此事タル議員全軀ノ更新アルニ非レバ充分ニ其目的ヲ達スルコト能ハサル者ニシテ佛國ノ二三憲法中ニ規定シタル如ク五分一又ハ三分ノ一等議員ノ一大部分ヲ一時ニ更改スルノ制度ヲ取

ルニ能ク充分ニ之ヲ行フヲ得サル可シ
 行政部ニ許スル議院解散ノ權力ヲ以テスルノ理由ハ後章代議政府ニ於テ行政部ノ組織及ヒ職務ヲ討究スルニ當リ之レヲ考察ス可シ

第十二章 代議士ヲシテ選舉人ニ誓約セシムルノ得失ヲ論ス

借問ス立法院ノ代議士ハ其選舉人ノ訓令ニヨリテ檢束セラルベキ者ナルカ一説ニ由レバ議員ハ選舉人ノ感情ヲ表スルノ機關ナリトシ他ノ説ニ從ヘハ自己ノ感情ヲ表示スベキモノナリトス甲ハ代議士ヲ以テ選舉人ヨリ國會ニ派遣セラレタル使節タルニ過キズトシ乙ハ之ヲ駁シテ代議士ハ特別ノ代理者ニシテ皆ニ選舉者ニ代テ事ヲナスノ權カアルノミナラズ別ニ選舉者ニ代テ須クナスベキノ事ヲ判定スルノ權カチ有スルモノナリト云フ二説共ニ之ヲ信奉スルノ徒ナキニ非ス

二説又實際各二三代議政府ノ採取スル處トナレリ和蘭ニテ聯邦制度ヲ行ヒシヤ其國會ノ議員ハ實ニ一使節タルニ過キサリシナリ當時此主義ヲ行ハルヤ極メテ甚シク其極選舉人ノ訓令中ニ規定ナキ重大ナル問題起ルハ議員ハ歸テ其選舉者ニ諮詢スルコト猶外國派遣ノ使

節ガ其本國政府ニ謀ルガ如クナリシナリ然レモ我英國及其他數多ノ代議政國ニ於テ之ト相反シ法律及習慣ニ共ニ代議士ニ許スル自ラ正義ト信スル所ニヨリテ投票ヲナスノ權カチ以テ之ヲ其意見ハ假令如何ニ選舉人ノ意見ト相反スルモ世間猶之ト反對ナル思想ノ存スルアリテ實際幾多人士ノ間ニ重大ナル勢力チ有シ國會ノ代議士ト雖モ猶此種ノ意見ヲ抱クモノナリトセズ從テ議員中ニハ人望ヲ博セント欲シ又ハ再選ヲ希望スル等ノ念慮チモ重大ナル問題ニ關シテ選舉人等一種決然タル意見チ有スル場合ニハ自己ノ意見ヲ棄ルモ之ヲ表示スルニ非レバ良心ニ背クト思考スルモノ亦往々ニシテ之レアリ今全ク成法上並ビニ一國民ノ因襲上ヨリ離レ代議士ノ義務ニ關スル此等二種ノ思想中何レカ其當を得タルヤヲ釋ヌル處アラントス

抑モ此問題タルヤ余輩ガ從來論究シタル諸疑問トハ大ニ其趣ヲ異ニ

何れ政府も此等ノ原則ニシテ實際履行セザルハ能ク其永續ヲ期ス能ク憲法の道義ノ原則トシテ如何ナル者ヲ即チ權力ヲ有スル人々ノ處理ニ存スル因習陋ノ思想ニシテ此等ノ人々ヲシテ其權力ヲ行フニ當リ戒慎スル處アラシムルモ云フ權力一方ニ集リテ其平ヲ得ずル政体即チ純粹ナル君主政純粹ナル貴族政又ハ純粹ナル民主政ニ於テハ政府ヲ制控セテ弊害ノ極ニ至ラシメサルモノハ只此等ノ原則アリシテ權力ニ平衡未ダ完全ナラザル政府ニ在テハ時ニ最強權力者ノ意思ヲ制控セテ下金圖ヲ爲スルモナキニ非ルベシト雖モ最強權力者其力能ク之ヲ壓服シテ少クトモ一時ハ無難ナルヲ得ベシサレバコトニ場合ニ於テ之ガ行爲ニ制限ヲ付ス候キモハ唯獨ノ輿論ガ承認維持スル憲法の道德ノ原則ニ止ルカハ彼ノ諸種ノ權力互ニ其平ヲ得相集テ政ヲナスル政体ニ至テハ主權分割セラレテ數人ノ分有ニ

取テ而シテ之ガ分有者ハ只一ノ方法ニ依テ他人ノ侵略ヲ防クヲ得一ノ方法トハ何レヤ自他人ノ勢力互ニ相平均シテ侵蝕スル欲セハ乙又同一ノ勢力ヲ以テ之ニ備フルガ故ニ互ニ相容忍自制スル處アリ他人非常ノ行爲ヲナスニ非レバ非常ノ權力ニ訴フルヲナサズ此ノ如クニシテ始テ能ク平和ヲ維持スルヲ得ルナリ故ニ曰ク此場合ニ於テ憲法ガ其存立ヲ保ツテ得ルハ一ニ憲法の道德ノ原則ガ遵奉セラルト否トニ由ルト憲法の道德ノ必要其レ此ノ如シ今代議士誓約ノ問題ノ如キハ代議政府ノ存否如何ヲ決スル重要條件ノ一ニハアラズト雖其働キヲシテ有益ナラシムルト否トニ關シ實ニ重大ナル關係アルモノナリ法律ハ選舉者ガ選擇ヲナスノ規定標準ヲ定メテ之ヲ選舉者ニ強ニルヲ能ハズ然レモ法律ガ認メテ以テ選舉者ガ準據スベキノ原則トスル所ノモノ如何ニヨリ實際大ナル差違ヲ生スルナリ故ニ此

問題ニ包含スル議論ノ範圍如何ト云ハ其實ニ法律ハ代議士ヲ以テ其
選舉人ヨリ訓令ヲシテ或ル意見ヲ固執スルモノナリト認ムベ
キカ否ヤニ關スル考究ナルニ外ナラズ

今此書ニ述ナル天賦ノ原則ヨリ推究スルモ此問題ニ關シ如何ナル
結論ヲ得ベキヤハ此著述ヲ讀ムル、人ノ疑ハサル處ナルベシ凡ソ政
府ニハ工天要件アル者ニシテ其ニ等シク欠ク可ラサルコト余輩ガ最初
ヨリ論定シタル處ニ及余輩ガ常ニ留意着眼シタル處ナリ政府ガ其
目的トスルニ對シ人民ニ對シテ責任ヲ有スルコト及ビ之レト共ニ政務ヲ
行フニ適シタル智能ノ主ヲ出來得ベキヲ探擧メテ政府ノ用ヲラシ
ムルコト即チ主ニ述ベタル二大要件ニシテ而シテ此三者中第三ノ目的
ニシテ果シテ必要ナルモノトモハ之ガ爲メ豫メ其計ヲ爲スル必要アリ
ルコト固ヨリ論ヲ俟タズ抑モ卓拔ナル性情ト深遠ナル考究トハ時ニ高

遠來ニ異ルル卓見ヲ出スコトアルガ爲ニ有用ナルモノナリト若シ之レ
ヲ悉ク以テ全ク費用ナシト云ハサルヲ得ズ果シテ然ラバ智識衆ニ絶ス
ルノ代議士ヲ有スルヲ目的トスル以上ハ此等ノ代議士ハ時トシテ凡
庸ノ擧擧者ト異ナルノ見テ懷クコトアルベク而シテ此等ノ場合ニ於テ
ハ代議士ノ見却テ正ナル多シト見做サシムルヲ得ズ故ニ曰ク擧擧者
其代議士ニ向テ全ク自己ノ意見ト同一和合セシコトヲ望ム之ヲ以テ代
議士ガ地位ヲ保ツルニ一條件トシテガ如キハ切ニ擧擧者ノ爲ニ取ラサ
ル所ナリト

此問題ニ關スル原則ハ上述セル處迄ハ實ニ瞭然明白ナルモノナリ然
レモ其適用ニ至テハ實際幾多ノ困難アリ故ニ余輩ハ論述ヲ始ムルニ
先キ其困難ノ大ナルコトヲ訴ヘザルヲ得ズ擧擧者ハ自己ヨリ一層教育
アル人トシテ擧ムルベキト肝要ナリト雖擧擧セラレタル紳士ハ及之ト等

選挙者ニ對シテ責任ヲ有スル下ヲ要ス即チ選挙者ハ代議士ガ其
 職任ヲ行フノ方法ニ關シテ查察判定スル處ニ在リ然レドモ選挙者
 ハ如何ニシテ之ヲ判スベキヲ必ラズヤ自己ノ意見ヲ以テ標準トナス
 ノ外道士ナルベキ者最初代議士ヲ選挙スルニ當リテモ亦之ニ據ルノ
 外ナルルベシ夫レ燦爛タル才藝ノ如キハ固ヨリ以テ選擇ノ準據トナ
 スニ足ラザルカモ然ルニ尋常人士ガ他人ノ技能ヲ判スルハ試法ハ極
 メテ不完全ナルモノモシテ大槪辨論文辭ヲ能クスルヤ否ヤヲ注目シ
 テ其述ヲ以テ勝者言其説ク處ニ論ニ至リテ殆トモ之ヲ注意スルコトナ
 ン人辨論ニ長ズルモノ交辭ニ巧ナルモノ未チ必ズシモ有爲卓識ノ士
 ト云テ可ラズ選挙者ノ私見既ニ取ルニ足ラズトモハ政治上ノ技能ヲ
 判断スルニ標準果シテ如何然レドモ今假ニ一歩ヲ議ニ選挙者ハ必ズ常
 ニ最適任ナル人物ヲ確定シ得ルトスルモ選挙者ハ代議士ニ委スルニ

選挙者ノ意見ヲ顧ミズ之ニ代テ隨意ニ判断ヲナスノ權ヲ以テスベキ
 道理ナキナラバ試ミテ思フコト最モ適任ナル候補者ハ保守ノ説ヲ唱
 へ選挙者ハ之ニ反シテ改進ノ見ヲ抱クコトモ之レアラソ又ハ候補者改
 進黨ニ在リテ面シテ選挙者保守黨ナルコトモ之レアルベシ此等ノ場合ニ
 於テハ此候補者ノ技能ハ毫モ選挙者ニ益ナク候補者ノ資能ハ只選挙
 者ガ非ナキト信ズル政策ヲシテ益實行セシムルノ効アルニ止マラシ
 是ニ於テ乎選挙者ハ其誠意誠心ヨリ或ハ思惟セシ僕僕ノ士ニ依テ代
 表セラレルコト固ヨリ肝要ナルモ代議士ニシテ吾人ニ是ナリト信スル處
 ヲ行ハシムルコト是レ最肝要ナリト選挙者ハ又望マシテ吾人ハ最モ有爲
 ニ代表セラレルコトノミナラズ其特別ナル道徳上ノ意見及思慮見解ノ代
 表セラレシムルコトヲ欲スト抑モ社會ニ各人が抱懷スル處ノ意見ハ其如何
 ナル思想ナルヲ論ナク等シク立法院ニ發露セラルルコトヲ要ス面シテ憲

法ハ之ヲ爲メ計テナセシメト思考セテルニ以テ選舉者ハ萬事ニ就テ先ツ自己ノ思想ヲテ適當ニ代表セシメテ切望スルナラバク其他或ル場合ニ於テハ代議士ヲ檢束シテ選舉者ノ利害若クハ選舉者ガ公益ト信スル處ニ從テシムルニ必要ナラズモ亦之レアルベキナリ勿論其國ノ政治上ニ有様ニシテ公平不偏ナル候補者ヲ選擇スルニ塞モ障礙ナク選舉者ノ事ヲ知ルニ必要ナラズモ亦之レアルベキナリ再々之レ雖田現時ノ狀勢ニテハ選舉費用ノ巨多ナルヲ社會一般ノ情死トシテ爲難選舉者ハ大概常ニ其候補者ヲ自己ノ種族ヨリ選出スルニ能ハズ必ズ之ヲ社會上ニ地位已ト大ニ懸隔スル從テ全ク自己ト反對セシ種族ノ利害ヲ有スル上流人士中ヨリ之ヲ選バサルヲ得ズ今日ノ情勢此ノ如ク選舉者ヲ選舉者ニ向テ全ク代議士ヲ判斷ニ委スベシト云テ者其テ之ヲ其書中等以下ニ位スル選舉者ガ代議士ヲ投票スルノ際

只三三人ノ間ニ選擇ヲナサハルヲ得ザルニ當リ其投票スル人物ヲ自ラ以テ富者ノ專横ヲ免ルニ必要ナリトスル政策ニ對シ誓約セシムルガ如クアルモ是レ固ヨリ當然ニシテ決シテ之ヲ非難スルヲ得ザルナリ且チ選舉者中幾部分ノ人士ハ自黨員ノ多數ガ撰定シテ代議士ヲ甘受セザルヲ得ザルガ如ク常ニ之レヲ決メシ此ノ如ク場合ニ於テハ自ラ候補者ヲ撰ビテ之ガ當選ヲ望ムニ得可ラサルベシト雖モ自黨ノ候補者中投票數僅ニ不足ニシテ此等選舉者ノ投票ヲ得ザルニ當選スル能ハサルモ亦無キニ非ルベシ此場合ニ於テ此等ノ選舉者ノ候補者後來ノ行爲ニ對シ幾分ノ勢力ヲ行ハント欲セハ候補者ニ向テ自己ノ欲スル或ル條件ニ誓約スルニ非レバ汝ヲ投票セズト述ベ以テ其行爲ヲ檢束スルベキナリ

以上述ベタル種々ノ議論ハ互ニ親密ナル關係ヲ有シ自ラ相牽連錯綜

夫レモナリ撰擧者ハ自己ヨリモ一層賢明ナル人士ヲ撰ツテ代議士
 トシ其人ノ意見ニ依テ支配セラレシメテ甘ンゼサル可ラズト雖モ又
 一方ニ於テハ撰擧者意見ヲ有スル以上ハ其判斷ヲナスニ當リ候補者
 カ自己ト同意見ナルヤ否ヤヲ考慮ノ中ニ加ヘザラント欲スルモ得可
 ラズルノ事情アリ從テ撰擧者ノ義務ニ關シテハ一定ノ原則ヲ設クル
 事能ハサルナリ然リ而シテ實際ノ結果如何ヲ查察スレバ政治上ノ德
 義ニ關スル精密ナル理論ノ如何ハ其影響スル處却テ少クシテ寧ロ撰
 擧者全軀ノ意向俊卓ナル才能ヲ尊信スルヤ否ヤニ由ルモノ多キヲ見
 ル凡ソ英才俊能ノ價值ヲ感スルコト鋭敏ナルノ人士ハ此等偉人ノ存ス
 ル處直ニ之ヲ認ムルモノニシテ假令ヒ其人ト全ク意見ヲ異ハスルモ
 尙キ其大器ナルヲ許スモノナリ而シテ此等ノ徒一タヒ英才偉人ノア
 ルヲ認ムルコト如何ナル不利ヲモ顧ミス之ヲ得ンコト切望シ假令自

己ニ意見アルモ其賢人君子トシテ尊奉スルノ人ニ向テ之ヲ強弁之ガ
 行爲ヲ制束スルガ如キコトナキナリ然ルニ一方ニハ又之ト全ク反對ニ
 テ何人ヲモ尊信仰望セザルノ氣象アリ此氣風ハ他人ノ意見ハ何レモ
 自己ノ意見ニ優ラズトナシ卓越セル人士ノ見テ以テ尋常群民ガ抱ク
 所ト異ナラズトスル者ナリ而シテ若シ撰擧者ノ意向ニシテ此第二種
 ニ屬セシメハ撰擧者ハ自己ト感情ヲ同クスル者若クハ少クトモ撰擧
 者ト感情ヲ同クスト公言スル者ニ非レバ之ヲ撰擧セサルベク其候補
 者ニシテ撰擧者ノ感情ヲ表示セザルニ至レバ直ニ之ヲ退職セシムル
 ニ至ルベシ此故ニ政治上ノ名譽ヲ得ント熱望スルノ輩ハ爭テ人民ノ
 行爲感情ニ倣ハシテ欲シ及ブベキ丈ケ平民ノ意向ト相近似セシメテ
 求ムルニ至ルナリ
 今翻テ純粹ナル民主政體ハ人民ノ意向感情ニ如何ナル影響ヲ與ウル

カヲ查察スルニ民主政體ハ選舉者ノ感情ヲシテ前述セル模型ノ如ク
 ナラシムルノ傾向頗ル強大ナルモノニシテ尊信仰望的ノ精神ハ此政
 體ノ下ニ在リハ益々沮喪減耗スルヲ免レズ抑モ此政體ハ社會上ノ地位
 ニ對シテ尊信ヲナスノ念ヲ一掃スルガ如キハ其影響ノ善良ナル部分
 ニシテ弊害ト云フ則チ其難民主政體ハ元ト其本義トスル處甲ヲ以
 テ乙ヨリ多分ノ權利ヲ得ルモノトモ非ズ各人ヲ以テ平等ナリト見
 做スモノナレバ從テ俊傑ナル才能ヲ有スル名士モ此政體ノ下ニ在テ
 ハ充分ナル尊信仰望ヲ受クル能ハサルヲ患サシトモ余ガ高等ノ教
 育ヲ受テタル人士ノ意見ヲシテ教育少キ人カノ意見ハ此ニ多分ノ尊
 重ヲ受テタルモノト主張スルモノハ其理由數多アリト雖此事ノ如キ
 又其一理由ヲ得テ余ハ主張ス高等ナル教育ヲ受テタルコト判然タル
 人カハ特ニ數個ノ投票ヲ與フベシト此事タル直接ナル結果ノ有無

相關セズ只一般ノ感情ニ刺衝ヲ與フル丈ケニテモ極メテ有益ナリ必
 要ナルモト云フベシ
 若シ選舉者ニシテ人々ノ才能價値ニハ非常ニ相違アルコト充分了知
 セバ選舉者ハ決シテ最適任ナル人物ヲ判別スルノ徵憑ヲ欠カサルベ
 シ第一ニ之ガ表示ヲナルベキモノハ實際ノ公務ニ服事シタル履歴ヲ
 以テ第一ノ要ノ地位ヲ占メタルコト此等ノ地位ハ在テ偉大ノ功業ヲ遂ケ
 タルコト幾多ノ政策ヲ畫圖シ皆其宜シキヲ得好果ヲ奏シタルコト幾多ノ
 豫言ヲオシ履驗シテ事實之ニ反スルガ如キハ殆ボ稀ナルコト意見ヲ
 述テ公衆ニ訓戒スル所アリ之ニ從テ好果ヲ來シ之ニ逆テ弊害ヲ
 醸シタルコト等是レ皆以テ徵憑トナスニ足ル者ナリ勿論此等ノ徵憑ヲ
 以テ不確實ノ點アルニ相違シト雖吾輩ガ今求ムル處ハ普通ノ判別力
 ヲ有スル人カニ適當ニ得ベキ徵憑ナルヲ以テ是亦タ已ムヲ得ザルコト

ト云フベシ但シ人々判断ヲナスニ當リテハ假令一個ノ徵憑ニシテ瞭然タルモ他ノ徵憑ノ之ヲ確ムルナクレバ重キヲ之ニ措テ猥リニ輕信スルガ如キコトアル可ラズ且事業ノ効果及價值ヲ秤量スルニ當リテハ其事柄ニ精通セル不偏不黨ノ人士ノ公論ニ充分注意スルヲ要ス上述セル試法ハ只實務ニ當テ既ニ其技倆ヲ試ミタル人々ニノミ適用スルヲ得ベキモノナリ然レモ假令實際ニ之ヲ試ミサルモ推考上ニ其才能ヲ試ミタル人々ハ又此種類ノ中ニ算入セサルヲ得サルモノト又公開ノ演說又ハ新聞紙ニ於テ政務ヲ談論シ其論述スル處頗ル見ルベクシテ充分ニ政務ヲ討究シタルノ實ヲ顯シタル人々ノ如キハ政治論客トシテ技倆ヲ顯ハシ以テ充分信任スルニ足ルコトヲ示シタルモノニシテ實務的政治家ト其實毫モ異ル處ナシ抑モ從來全ク政治上ニ其才能ヲ試ミサル人々ヲ撰擧スルノ必要アラバ其時ニ當テ須ク取ルベ

キノ標準ハ一身上其人ヲ熟知セル人々ノ間ニ於ケル聲譽及ビ既ニ地位名聲ヲ得タル人士ガ其人ヲ信任シ稱揚スル度如何等ニ在リ撰擧者ニシテ充分ニ資能才幹ノ重ゾズベキヲ知り且熱心ニ之ヲ求めバ以上ノ如キ試法ニヨリテ尋常以上ノ人々ヲ得ル決シテ難カラズ且至ク公務ヲ委任シ其自由ノ判断ニ從テ之ヲ處理セシメテ可ナルガ如キ人物ヲ得ルコトモ亦往々ニシテ之レアルベシ此ノ如キ人物ニ對シ智能劣等ナル撰擧者ヨリ我訓令ニ從テ汝ノ判断ヲ棄ツベシト要求スルカ如キコトアラバ是レ實ニ凌辱侮慢ノ甚シキモノニシテ其不可ナル固ヨリ論ヲ俟タズト雖モ若シ公平無私ニ之ヲ求めテ俊卓ノ人物ヲ得サルハ此ニ於テ乎撰擧者他ニ豫備ノ策ヲナスモ亦可ナリトス何トナレバ智能己レニ勝レル名士ヲシテ自己ノ用ヲラシムルガ爲メニアラサル限リハ撰擧者ヲシテ自己特殊ノ意見ヲ棄テシメテ望ム可カラサルコト

ナレバナリ然レモ此時ニ於テモ撰擧者ハ須ク記憶スベシ一タビ撰マ
 レテ代議士トナリ身ヲ委シテ其職ニ從フモハ從來ノ認見ヲ匡正スル
 ノ機會多ク多數撰擧者ト同一ノ地位ニ下ルガ如キコトハ寧ロ稀有ニ屬
 スルコトヲ是レ實ニ撰擧者ガ代議士ニ強テ其説ヲ變ヘサルベシ若シ説
 ヲ變フルコトアラハ其職ヲ辭スベシト誓約セシムルガ如キコトアル可ラ
 サル所以ナリトス若シ夫レ未ダ世ニ知ラズ又名士ノ確然之ヲ保證
 スルモノナキ人物ガ始メテ撰擧セラル、場合ニハ撰擧者ガ第一ノ要
 件トシテ自己ト感情ヲ同フスルコトヲ望ムモ亦理由アルコトニシテ之
 ナキヲ欲スルモ得可ラズ只代議士トナレルモノ説ヲ變スルコトアルモ
 其目的誠實ニシテ私意ニ出デズ且變説ノ理由ヲ公然明示スル場合ニ
 於テハ撰擧者之ヲ恕シ其信任ヲ引去ルガ如キコトナクシテハ則チ可ナリ
 然レモ代議士ニシテ既ニ實務ニ當テ智能ヲ顯シ又秀拔ナル氣質ヲ有

スルコト世人亦之ヲ許スノ人ナリトスルモ撰擧者ノ意見ハ此場合ニ於
 テモ猶全ク等閑ニ付セラレベキモノニ非ズ智能優等ナル人士ヲ尊信
 スルハ可ナリト雖モ其極自棄シテ己ノテ願ザルニ至テハ其當ヲ失ス
 ルモノト云ハサルヲ得ズ其極自己ノ意見ヲ放棄シテ悔非ザルニ至テ
 ハ是レ實ニ其中正ヲ得タルモノニ非ズ但シ其差異ノ點ニシテ政治ノ
 綱領大主義ニ關スルモノニ非ル場合ニハ撰擧者ハ假令決然タル自己
 特有ノ感情ヲ有スルトモ宜シク自損自抑シテ一步ヲ讓ルベシ須ク思
 惟スベシ賢明秀拔ナル人士ガ自己ト意見ヲ異ニスル場合ニハ十中七
 ハマテハ自己ノ意見正シカラサルモノナリ又假令然ラズトスルモ此
 等ノ人物ヲシテ代議士タラシムルハ他ノ重大ナル諸事ニ就テ非常ニ
 利益アルベキヲ以テ此利益ヲ受クル爲メ左程重要ナラザル此等ノ點
 ニ就テハ自ラ忍ヒテ其意見ニ任スベシト然ルニ此等ノ場合ニ於テ撰

舉者ハ往々計茲ニ出テズシテ意見ヲ異ニスル諸點ニ關シテハ秀拔ナル名士ヲシテ自己ノ持論ヲ放棄セシメ以テ撰舉者自身ノ説ヲ貫クノ利ト名士ヲシテ自己ヲ代表セシムルノ便トテ兩ツナガラ收メント企ルニアリ然レモ卓拔ノ士ハ決シテ此等ノ調和策ニ屈從スルコトアル可ラズ若シ之レアラバ是レ自己ノ本務ニ背クモノト云ハサルヲ得ズ代議士ハ充分ニ心意ノ自由ヲ持スルノ義務アリ而シテ群盲喧噪シテ一ノ主義ヲ攻撃スルコトアルモ之ヲ固持シテ動かザルハ此義務中最モ神聖ナルモノ、一ニ居ル何ソ之ニ背テ他ノ意見ニ屈服ス可ンヤ故ニ曰ク俊卓正廉ノ士ハ其自ラ是ナリト信スル處ヲ行フノ自由ヲ充分ニ有セシコトヲ固執スベシ之ヲ得ルニ非レバ他ノ用トナルヲ諾ス可ラズト然レモ又一方ニ於テハ撰舉者ハ此等ノ名士が如何ナル方針ヲ取テ公務ニ從ハント欲スルカヲ知ルノ權利アリ名士其意見ヲ吐露シタルニ

撰舉者其中ノ二三ヲ不可トスルコトアラバ名士ハ宜シク撰舉者ヲ慰諭スベシ諸君ハ余ガ二三ノ意見ヲ非トスレモ余ハ猶諸君ノ代議士タルニ足ル者ナリト而シテ撰舉者若シ具眼ノ人ナランニハ其技能才幹ヲ嘆稱シ之ガ爲メ二三意見ノ支吾ノ如キハ之ヲ論スルコトナク舉テ代議士ノ任ニ當ラシムベキナリ

然レモ或ル種類ノ意見ノ差違ニ至テハ撰舉者ハ之ヲ看過スルコト能ハサルベシ凡ソ自國ノ政治ニ關シ多少ノ利害痛痒ヲ感スルモノハ其誰タルヲ論セズ皆國務ニ關シテ一定ノ見識ヲ有スベク而シテ此見識ヲ極メテ貴重スル處ニシテ奪フ可ラサルコト猶其生血ノ如クナルベキナリ之ヲ信スルヤ厚ク之ヲ見ルヤ重シ故ニ事情ノ爲メ便宜ノ爲メニ之ヲ枉クル能ハス如何ニ卓拔ナル人アリトモ其人ノ判斷ニ之ヲ一任スルガ如キハ斷シテナス能ハサル所ナルベシ此ノ如キ見識ニシテ人

民全肺若クハ其一大部ニ存スルヲアラソカ此等ノ見識ハ須ク勢力ヲ有シテ政治ヲ左右スル所アルベキナリ其政治ヲ左右スベキハ當ニ此等ノ見識ガ眞理ニ基タル者ナルベシト思ハルガ爲メノミコハ非ズ斯ル見識ガ存在スルト云フ事實ノミコチモ既ニ之ニ勢力ヲ與フベキノ理由アルナリ一ノ人民ヲ治メント欲スルモノハ先ヅ其人民ガ善惡邪正ニ關シテ有スル根本ノ思想ニ通曉シ之ニ從テ事ヲ行フヲ要ス若シ人民ノ思想ニ逆テテ政ヲ施サバ其思想タル假令ヒ幾多ノ點ニ於テ誤謬アルモノナリトモ決シテ能ク人民ヲ統治スルヲ得ザルナリ治者被治者ノ相調和セザル可ラザル此ノ如ク人民ノ思想見識ノ等閑視ス可ラザルヤ此ノ如ク既ニ此道理ヲ知ラバ撰擧者ニ求ムルニ自己ノ根本思想ト反對ノ意見ヲ有スル代議士ニ甘セシテ以テ之ヲ可ラザルヤ曠然ナリト云フベシ故ニ撰擧者ト名士ト互ニ其見ヲ異ニスルノ事件

世上ノ論議カラザルノ時ニ於テ撰擧者其名士ヲ以テ代議士トシ其技能ヲ用フルトアルモ一旦之ニ關スル問題世上ノ論議トナリ甲論乙駁勝敗何シニアラヤ判然カラザルトアルハ直ニソノ議員ヲ退職セシメテ決シテ之ノ不可ナル所以ヲ見ズ余ハ今上述セル議論ノ意味ヲ明カニセシメ爲メ實地ノ人物ヲ假リテ之ヲ述ベバ彼ノコチアルヲアルトシ氏ノ如キハ頻リニ侵略主義ノ不可ヲ主唱スルモノナリト雖モクチイミヤ戰爭ノ時ニ當テハ國民學ヲ開戦ノ必要ナルヲ信シタルヲ以テ之ヲシテ議席ヲ得セシメ非戰論ヲ唱ヘシムルモ毫モ議決ニ影響ヲ及ボスナシ故ニ之ヲシテ依然就職セシムルモ不可ナキナリ然レモ支那ノ戰爭ノ時ノ如キハ開戦非戰何レニ決スルヤ一時判然カラザリシヲ以テ撰擧者開戦ヲ可トセハ此等名士ヲ退職セシムルモ決シテ其理由ナシトナザルナリ

上來述へ來リタル處ニ由テ之ヲ見レハ余輩ハ左ノ條々ヲ斷定スルヲ得ヘシ

社會上ノ情況其宜シキヲ得サルカ又ハ弊制ノ行ハル、カ爲メ選舉者カ選擇スルノ區域甚ク狭ク自己ノ利益ニ反對ナル念慮ヲ有スヘキ人々ヲ以テ代議士トナサザルヲ得ザルカ如キ場合ナラハ暫ク措キ事情苟モ然ラザル以上ハ代議士ヨリ誓約ヲ要求ス可ラス

選舉者ハ候補者ノ政治上ノ意見及感情ヲ充分ニ知了セシテ求ムルノ權アルモノナリ否留ニ之ヲ求ムルノ權アルノミナラズ候補者ノ意見ニシテ選舉者ガ懷抱スル政治主義ノ大綱領ニ反スルモハ之ヲ排斥スルノ責ヲ有スルヲ往々ニシテ之レアルモノトス

選舉者ニシテ候補者ノ智能才識ヲ信スルヲ愈々厚ケレバ之ト同時ニ選舉者ハ假令候補者自己ト反對ナル意見ヲ述ヘ反對ナル方針ヲ取テ

事ヲナス一アルモ其政治ノ大綱領ニ關スルモノニ非ルヨリハ須ク容忍シテ之ヲ許スベシ

隨意ニ萬事ヲ處理スルノ權力ヲ委任スルニ足ルベキ卓拔ノ士ヲ得ンガ爲メ選舉者ハ須臾モ之ガ尋求ヲ怠ル可ラズ選舉者ハ須ク思惟スベシ斯ル名士ヲ國會ニ出ス爲メ爲シ得ベキタケノ盡力ヲナスハ是レ其同胞國民ニ對スル義務ナリト選舉者ハ宜シク考慮スベシ選舉者ノ意見ニ雷同スル凡庸ノ士ニ由テ代表セラレンヨリモ寧ロ此種ノ名士ニ由テ代表セラル、ニ如カズ其才能智識ガ實際ニ利益ヲ生スルハ確然必定ニシテ相互ノ意見相支吾スル諸點ニ關シテハ選舉者是ニシテ代議士非テハ未ダ必ス可ラザレバナリト

余ハ選舉制度ノ成法的組織ガ前數章ニ於テ斷定シタル諸原則ト一致スト假定シテ此問題ヲ論シタリ然レモ猶代議士ヲ以テ使節トスル理

論ノ誤謬ニシテ其實際ノ働キノ有害ナルヲ實ニ此ノ如シ只此場合ニ於テハ其弊害タル一定ノ範圍ニ止ルヲ見ルノミ若シ夫レ代議制度ノ精神ヲ保護スル所以ノ諸方法ニシテ憲法ノ承認スル所トナラズ少數代表ノ法及高等ノ教育ヲ受ケタルモノニ多數ノ投票ヲ與フルノ制ニシテ一モ備ラサルノ場合アラシカ此時ニ當テハ原則トシテ代議士ニ自由ノ判斷ヲ與フルノ必要ハ其極點ニ達シ如何ナル語ヲ以テ其必要ヲ説クモ決シテ誇大過當ノ弊ニ陥ルナキヲ信スルナリ此時ニ當テ此主義ヲ取ラサラシメ九國會ニ於テ發言セラル、モノハ只多數黨派ノ私見ニ止リ其他ノ意見ハ毫モ發言セラレ、コト得サルヘシ勢力アル種族獨リ實權ヲ握リ他ノ種族ハ毫モ代表セラレズ毫モ發言スルヲ得ザル所ノ似而非民政ニ於テ最モ偏頗ナル種族的立法ト最モ危險ナル政治トノ無智無識トノ弊害ヲ免ル、所以ノモノハ只無教育ナル人士ガ

教育アル代議士ヲ撰ミテ其意見ヲ尊信スルノ氣質如何ニ依ルノミ今撰舉者ハ幾分カ之ヲ欲スルノ念アリト思慮スルモ不可ナキニ似タリ而シテ諸般ノ弊害ヲ除カシ、此念慮ヲ最モ充分ニ養成スルノ一事ニ由ルト云フベキナリ然レモ權力ヲ得ルモノハ自然之ヲ濫用スルニ至ルモノニシテ從來ノ事蹟皆然リ焉、此有力種族ノミ獨リ然ラズト云フヲ得ンヤ今此有力種族ハ政治上ノ全能權ヲ附與セラレテ而シテ猶ホカ、ル方法ニ依リ自己ノ意見意志ニ著大ナル制限ヲ付スルヲ甘シズト云ハ、此等種族ハ殊ニ他ニ此シテ賢明慧敏ナルモノナリ但シ余ハ敢テ云ハシトス此種族モ亦權力ノ腐敗スル處トナルヘシト

第十三章 第二院ヲ論ズ

代議政體ノ理論ニ關スル問題ヤ多シ然レモ世人ガ好テ談論辨難スル
 一ニ局議院ノ問題ノ如キモノハ他ニ其比アルヲ見ズ此事タル歐洲大
 陸ニ於テ殊ニ然リトス(世ノ學者ハ此問題ニ注目スル一緊要ノ度之ニ
 十倍スル幾多ノ問題ヨリ甚シク此問題ニ關スル意見ノ如何ニヨリテ
 其人ノ有限民主政論者タルカ將テ無限民主政論者タルカヲ判スルガ
 如キ有様ナリ然レモ余ヲ以テ之ヲ見レバ他ニ制束ナキ民主政ニ於テ
 ハ假令ヒ第二院ヲ設クルモ充分ナル制束ヲ行フ一能ハザルベシ余ハ
 寧ロ思考ス若シ憲法ニ關スル他ノ諸疑問ニシテ悉ク其正解ヲ得バ國
 會ノ一局ト二局トノ如キハ左程緊要ナラザル事項ナルベシト
 今茲ニ二局アリトスレバ其組織ハ各同一ナルカ將テ同一ナラザルカ
 ノ二途ヲ出テサルベシ若シ其組織ニシテ同一ナリトセシカ兩院共ニ

同一勢力ノ左右スル處タルベク一院ニ於テ多數ヲ得ルモノハ他ノ院
 ニ於テモ亦多數ヲ得ベキナリ但シ一院ノ議員大概皆甲黨ニ屬シ之ニ
 反シ他ノ議院ニテハ甲乙兩黨殆ソド相半バナルガ如キ場合ニ於テ一
 議案ノ通過ニ兩院ノ可決ヲ得ルヲ要スルモハ全議員ノ四分一少シク
 以上ニ過キサル人數ノ爲メ議案通過ヲ得サルガ如キコトアルヘク之レ
 ガ爲メ大ニ改良進歩ヲ障礙スル一往々ニシテ之レアルベク之ニ反シ
 若シ一院ノミナルモハ半數以上ヲ得レバ直ニ通過スルヲ得ルヲ以テ
 此患ナキヲ保スベシ然レドモ今假定シタル如キ場合ハ只理論上有ル
 可シト云フニ止リ組織ヲ同ラスル議院ニ於テ實際容易ニ起ルベシト
 ハ思ハレズ一院ニ於ケル多數ガ一議案ヲ否決スル場合ニハ通常他ノ
 院ニ於テモ又此議案ニ反對ナル議員アルベク其數ヤ假令比較上少數
 ナリトモ又決シテ僅々ニハ非ルベキナリサレバ之レガ爲メニ妨害ヲ

受クベキ改革案ハ大概ノ場合ニ於テハ全院ニテ辛フシテ多數ヲ占ムルニ過ギサルベク其結果ノ最モ惡シキ場合ニテモ只暫時ノ間議案ノ通過ヲ遲引セシムルカ又ハ國民ノ意志ヲ確メシメ爲メ議院ヲ解散シテ更ラハ擧者ヲ訴フルルニ至ル等ニ過キサルベシ通過ノ遲延ハ不利ナキ國民ニ訴フルハ利ナリ故ニ此場合ニ於テハ利害略相償フト云フヲ得ベシ

世人屢ニ二局制ヲ以テ輕躁ナル議決ヲ妨ゲ再度ヲ熟考討議ヲナサシムルノ利便アリト云フト雖余ハ之ヲ以テ論スルニ足ラズトナスモノナリ大抵ノ議會ハ其議事規則ニ於テ議決ノ前二回以上ノ討議ヲナスヲ必要トスルニ非ズヤ余ハ思考ス其一個人タルト議會タルトヲ問ハズ苟クモ權力ヲ握ルモノニテモ他ヲ顧慮スルヲ要セズト自信スルキハ其心自然中止ヲ失スルモノニシテ而シテ此事實タル實ニ二局制

ヲ以テ可ナリトスル理由ノ最モ手強キ者ナルベシト抑モ何人ノ承諾ヲモ要セズシテ自己ノ私意ヲ行フヲ得ルノ權ハ假令一時ノ間アリトモ一團體ノ人ニ與フ可カラサル者ナリ然ルニ茲ニ一議會アリ議員ノ一跡多數ヲ占メ共ニ連合シテ運動シ院內ニ於テハ常ニ勝利ヲ得ルヲ必定ナリトセン今他ニ憲法上ノ權力者ナク此院ノ多數黨ハ何人ノ意見ヲモ顧慮スルヲ要セズトセハ其忽チニシテ專橫放恣トナルヤ必ズリ昔羅馬人ハ謂ヘラク執政長官ノ任期ハ一年ニ過キズ而カモ猶專橫放恣ニ陷ルコトナカラシメシガ爲メ豫メ之ガ備ヲナスヲ要スト是ニ於テカ其執政長官ヲ二人トセリ此道理移シテ以テ國會ニ二局ヲ要スルノ論ヲ明ニスルヲ得ベシ且ヤ政治上ノ實務殊ニ自由制度ノ施政ニ於テハ互ニ相容忍讓與シテ調和ヲ計リカメテ反對黨ノ感觸ヲ害セザラシムコト要ス而シテ若シ國會ニ二局アリテ互ニ相讓與スル所アルハ

大ニ此有用ナル習慣ヲ養生スルヲ得ベシ此習慣ヤ今日ト雖モ實ニ有
 要ナリ將來ニ於テ立法院ノ組織一層民主的トナルニ至ラハ世人ノ其
 必要ヲ感スルヤ一層甚シキニ至ラフ
 サテ兩院ハ必ズシモ其組織ヲ同フスルヲ要セズ兩院ノ目的タル蓋シ
 或ハ他ヲ掣肘スルニ在ルモノナレハ一院民主的ナリトスルキハ他ノ
 院ハ自然平民ヲ制束スルノ目的ヲ以テ組織セラレントス然レモ此二
 院ガ實際効力ヲ奏スルト否トハ一ニ院外ニ於テ其意見ヲ補助スルモ
 ノアルト否トニ依ル此ノ院ニシテ若シ國中ニ存スル或ハ大勢力ヲ依
 據トスルニ非サルキハ充分根據ヲ有スル他ノ議院ニ對シテ權力ヲ振
 フ能ハサルベシ故ニ曰ク貴族主義ノ議員ハ只社會ノ狀況貴族のナル
 場合ニ於テノミ權力ヲ有スルヲ得ベシト我英國ノ憲法ニ於テモ上院
 一度最強ノ權力ヲ占メ下院只之ヲ檢束スルニ過ザルガ如キヲアリキ

然レモ其時ハ是レ貴族獨リ院外ニ於テ實權ヲ有シタルノ時ナリレナ
 リ去レハ社會ノ狀況眞ニ平民的ナル場合ニ於テヤ貴族院ハ實際平民
 ノ行爲ヲ制スルノ効アリト思ハレヌ夫レ一方ノ權力他方ニ比シテ薄
 弱ナルキニ當リ弱者ヲノ勢力ヲ弱シムルニハ如何ナル方法ヲ取ルベ
 キカ互ニ相對陣シ各々其全力ヲ集メテ雌雄ヲ決スルハ此時ニ於テ取
 ルベキノ策ニ非ス計若シ此ニ出テバ其結果弱者ノ全敗ニ在ルヤ必セ
 リ二院相對シ甲ヲ以テ乙ヲ制スルノ策此場合ニアツテ不利ナル所以
 以テ見ルベシ然ラハ則テ如何スベキ其策タル只一個ノ團軀ヲナサス
 孤立ノ地位ニ立タサルニ在リ公衆ノ反對ナル地位ニ立タスシテ自ラ
 公衆ノ一部ヲ占ムルニ在リ絡始協同シテ運動ヲナスヲ得ベキ諸原素
 テ味方ニ引入ルニ在リ衆說ニ反スル一團軀トシテ現ハレ一般ノ攻
 撃ヲ招クガ如キヲナサス種々ノ原素ヨリ成ル大團軀ノ一原素トシ

テ運動スルニ在リ此ノ如クナレハ能ク他人ヲシテ自己意見ノアル所ヲ知ラシメ之ヲシテ其説ヲ變ゼシムルヲ得ベシ故ニ曰ク民主的ノ憲法組織ニ於テ主權者ノ專恣ヲ檢束セシト欲スル勢力ハ須ク民主院内ニ其運動ヲナスヲ要スト

凡ソ憲法上最強ノ權力ニ抵抗シ之ヲ檢束スルノ勢力ハ何レノ政體ニ於テモ必ず欠クベカラサルモノニシテ余ハ實ニ之ヲ以テ政治ニ關スル最要ナル原則ノ一ナリト思考ス去レバ代議ノ制ヲ有スル國民ニシテ其歴史上ノ因習ヨリ第二院則チ貴族院ヲ擇テ此反抗勢力ヲ充テシト欲セバ則チ爾カナスニ於テ充分ノ理由アリ然レバ余ヲ以テ之ヲ見レハ二局制ハ其性質反抗勢力ノ最上乘ナルモノニ非サルナリ其最効果アル者ニ非ルナリ今二院中ノ一ハ人民ヲ代表スルモノニシテ一ハ單ニ一種族ヲ代表スルカ又ハ何人ヲモ代表セサルモノナリトスレバ

余ハ平民社會が實權ヲ握ルノ場合ニ於テ第二院ヲ以テ實際民主院ノ謬見ヲ抗抵スルノ能力ヲ有スベシト思料スルヲ得ス慣習ノ念慮アルカ爲メ第三院ハ尙其存立ヲ保ツヲ得ベキモ決シテ有力ナル檢束者ニ能ハサルベキナリシレバ第三院獨立ノ意志ヲ行フアルモ其意思ハ民主院ノ輿論ト同一ナラザルヲ得サルベク其チス處ニ民主院偶々過失アルニ當リ之ヲ矯正スルヲ以テ満足スルカ又ハ民主院ト相競シ力メテ人民ノ望ニ合フベキ議案ヲ議決スルニ過キサルベシ

是ヲ以テ眞ニ多數ノ專權ヲ檢束セシト欲セバ民主院ニ於ル權力ニ分配シテ公平ナラシムルノ外他ニ道ナシトス但シ之レヲ行フノ方法ニ至テハ余輩先ニ之ヲ論述シタルヲ以テ復テ贅セズ

已ニ前章ニ於テモ述ベタル如ク假令數上ノ多數黨國會ニ多數ヲ制シテ全ク全權ヲ握ルトモ少數黨又之ト同一ナル權力ヲ得其人數ニ比例

此之國會ニ代表セラルンニハ國中第一流ノ人士ノ多數ハ他ノ議員ト
 同一着權利ニヨリ國會ニ出席スルヲ得ベク此等ノ名士國會ニ在レハ
 假令團結シテ一脈ヲナサズ又忌ムベキ特權ヲ有スルコトナキモ其勢力
 亦有大ルキ果シテ其人ハ比例外ニ出テ最有効ナル反抗勢力タルヲ得
 ベキニシテ其目的不爲ニハ又第三院アルヲ要ス第ニ院ハ之ガ目
 的ヲ助ケズシテ幾分力之ヲ防遏スルノ傾向ヲ有スルモノナリ但レ上
 述ノ理由ニ基キ一國民ガ第二院ノ説立ヲ主張シタル場合ニハ此第
 二院ヲ組成スル元素ハ則チ多數黨ニ黨派利害ニ反對ニ多數黨ノ誤認
 下懸點トシテ反對ヲ試ムルモ決シテ一族黨ノ利益ヲ計ルガ如キ者ナラ
 ば其下墜ニシテ其限リナルモ斯ル條件ハ英國ノ貴族院ニハ存在セザル
 事明白ナリトス夫ハ人爵ト富榮トハ以テ人民ヲ威嚇スルニ足ラサル
 以上貴族院ノ勢力微々トシテラザラント欲スルモ豈ニ得ベクンヤ

民主議會ヲ檢束掣肘スベキ老成着實ナル一團躰ヲ組織スルニハ種々
 ノ方法アリト雖モ其ノ最良ナルモノハ羅馬元老院ノ如キ仕組ニ在ル
 ガ如ク古來公務ヲ行ヘル團躰多シト雖モ其不絶沈重ニシテ且少明敏
 ナリトシテ羅馬元老院ノ如キモノ之レアラズ抑々一般公衆ヲ代表スル
 民主議會ノ短處トスル處ハ實ニ一般公衆自躰ノ短處ト等シク專門
 熟練及智識ヲ有セザルノ一點ニ在リ故ニ之レガ適當ナル矯正策ハ只
 特ニ専門ノ熟練ト智識トヲ有スル一團躰ヲ設ケテ以テ之ヲ救フニ在
 リトス若シ甲院ニシテ人民ノ感情ヲ代表セバ乙院ハ則チ實地ノ經歷
 ナリテ其智識才識ヲ代表スルヲ要ス若シ一院ニシテ人民ノ院ヲラハ
 他ノ院ハ須ク政治家ノ院ナルベシ宜シク顯要ノ職ヲ奉シタル總テノ
 政治家ヲ以テ組成スベシ果シテ如此ナルハ其用ヲ單ニ民主院ヲ
 掣肘スルニ止マラザルベシ當ニ之ガ檢束者タルノミナラズ又之ガ鼓